「とうきょう こども アンケート」報告書

（令和6年調査）

令和6年 11 月

東京都子供政策連携室

目次

調査報告書要旨

1. 調査の概要 1
2. 主な調査結果 2

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的 13
2. 調査の項目 13
3. 調査の設計 13
4. 検討会議 13
5. 調査機関 13
6. 各調査対象の設問数 14
7. 回収結果 14

標本抽出方法 15
標本サイズの配分 15
抽出 16
報告書の見方 17

Ⅱ. 調査結果

1. 子供編

問1. あなたの性別は何ですか。 18
問2. あなたの住んでいる区市町村はどこですか。 19
問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。
（A　あなたが遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある） 20
（B　あなたが困っていたら近所の人が助けてくれる） 22
（C　近所の大人たちはあなたにやさしい） 24
（D　大人たちがあなたの話をきちんと聞いてくれる） 26
（E　子供にとって大切なことを決めるときにあなたが参加できる） 28
（F　近所の人たち同士がお互いに助け合っている） 30
問4. あなたは普段、放課後や休みの日に何をして遊びますか。 32
問5. あなたが安心して遊べる場所はどこですか。 36
問6. あなたは普段、誰と遊びますか。もっともよく遊ぶ人を選んでください。 40
問7. あなたは、週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。 43
問8. 過去 1 年以内に、あなたの住む地域で、危険な目にあったことはありますか。 45
問9. あなたは東京が好きですか。 48
問 10. 問 9 で、その選択肢を選んだ理由は何ですか。 50
問 11. あなたが、20 年後に一番叶えたいことは何ですか。 55
問 12. 問 11 の答えについて、それが将来的に叶えられていると思いますか。 58
問 13. あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。 60

問 14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。 62
問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。
（A 将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う） 64
（B ボランティアをしたいと思う）.....66
（C 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある） 68
（D 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友人と積極的に議論している） 70
（E 未来の社会を良くするために何か行動しようと思う）.....72
（F 自分の行動で社会を変えられると思う） 74
（G 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う）.....76
問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。
（A 学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ） 78
（B 学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい）.....80
（C 学ぶことが楽しい）.....82
（D 良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない） 84
問 17. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。.....86
問 18. 自分の描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。.....89
問 19. 学習や進路に関して、どのようなサポートがあればよいと思いますか。 92
問 20. あなたは学校に所属または就労（アルバイトを含む）していますか。.....95
問 21. あなたは学校または職場が好きですか。.....97
問 22. 学校について、不満に感じることはありますか。.....99
問 23. 学校が嫌いで休むことはありますか。.....103
問 24. 1 か月のうち、学校に行かないで休む日はどれくらいありますか。.....105
問 25. あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A 自分にとって居心地が良い）.....107
（B 自分の意見が言える） 109
（C 自分の意見が採用される）.....111
（D 自分のことを自分で決められる） 113
（E 安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる）.....115
（F 規則や運営に対しても自分たちの意見を言える） 117
（G 規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される）.....119
問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A 毎日たくさん笑っている）.....121
（B 今の自分は幸せだ）.....123
（C 今の自分の生活に満足している）.....124
（D 今の自分が好きだ） 126
（E 人生を楽しんでいる）.....128
（F 自分は他人から必要とされている） 130
（G 勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある） 132
（H 自分には、夢や目標がある） 134
問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。

（A　自分の考えをしっかり持つことは大事だ）……136
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）……138
問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。
（A　家事）……140
（B　育児）……142
（C　仕事）……144
（D　介護）……146
問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。
（A　パソコン）……148
（B　スマートフォン）……150
（C　タブレット）……152
（D　インターネット接続（Wi-Fi など））……154
（E　家庭用ゲーム機）……156
（F　テレビ）……158
問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）……160
（B　家では安心して過ごしている）……162
（C　私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている）……164
（D　保護者は私の話を聞いてくれる）……166
問 31.「保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらないのは、なぜですか。……168
問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　友達との関係は良好である）……171
（B　家族との関係は良好である）……173
（C　学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である）……175
（D　地域の人との関係は良好である）……177
問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は、どれですか。……179
問 34. 最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）……184
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）……186
（C　意欲的で、活動的に過ごした）……188
（D　ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）……190
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）……192
問 35. あなたは今、悩んでいることはありますか。……194
問 36. あなたは過去 1 年以内に、嫌な経験をしたことがありますか。（インターネット上での経験は除きます。）……198
問 37. あなたは過去 1 年以内に、インターネット上で嫌な経験をしたことがありますか。……201
問 38. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談する相手は誰ですか。……204
問 39. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いますか。……207
問 40. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（A　起きる時間）……209
（B　寝る時間）……211

問 41. あなたが平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間は
どれくらいありますか。 215
問 42. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。 217
問 43. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。 219
問 44. あなたは、生成AIを使用していますか。 221
問 45. あなたは以下の言葉についてどれくらい知っていますか。
（A 性自認） 223
（B 性的指向） 225
（C LGBTQ） 227
2. 保護者編
問1. あなたと、お子様の関係はどれですか。 229
問2（1）. お子様と同居している方を教えてください。 230
問2（1）. お子様のきょうだいが同居している場合は、その人数を記入してください。 232
問2（2）. お子様と同居している方は、お子様自身とあなたを含めて合計で何人か、記入してください。 233
問3. あなたとお子様が現在住んでいるお住まいを教えてください。 234
問4. 現在のお住まいに、お子様の部屋はありますか。 237
問5. 現在、あなたは配偶者/パートナーと同居していますか。 239
問6. あなたの年齢を教えてください。 241
問7. あなたの就業状況について、どれがあてはまりますか。 242
問8. あなたの一週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、
「1日」～「7日」と答えた方は、一日あたりの平均就業時間を教えてください。
（A 一週間あたりの平均就業日数） 245
（B 一日あたりの平均就業時間） 247
問9. あなたの一週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、
一日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。
（A 一週間の在宅勤務時間割合） 249
（B 一日あたりの往復の平均通勤時間） 251
問 10. あなたは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日はどれくらいありますか 253
問 11. 配偶者/パートナーの年齢を教えてください。 255
問 12. 配偶者/パートナーの就業状況について、どれがあてはまりますか。 256
問 13. 配偶者/パートナーの一週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、
「1日」～「7日」と答えた方は、一日あたりの平均就業時間を教えてください。
（A 一週間あたりの平均就業日数） 259
（B 一日あたりの平均就業時間） 261
問 14. 配偶者/パートナーの一週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、
一日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。
（A 一週間の在宅勤務時間割合） 263
（B 一日あたりの往復の平均通勤時間） 265
問 15. 配偶者/パートナーは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日は
どれくらいありますか。 267

問 16. あなたと配偶者/パートナーとの関係について次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A 配偶者/パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる）.....269
（B 配偶者/パートナーのことを信頼している）.....271
問 17. あなたと配偶者/パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会は
どれくらいありますか。.....273
問 18. ご家庭内の会話での日本語と他の言語の使用割合はどれくらいですか。.....275
問 19. 使用している日本語以外の言語について、全てお答えください。.....276
問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。
（1. あなたの割合）.....278
（2. 配偶者/パートナーの割合）.....280
（3. その他の割合）.....282
問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。
（1. あなたの割合）.....284
（2. 配偶者/パートナーの割合）.....286
（3. その他の割合）.....288
問 21A. あなたと配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足していますか。.....290
問 21B. あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。.....292
問 22. ご家庭内に障害・病気などにより、介護や日常生活の補助（食事、入浴など）が必要な方は
いますか。また、主に介護・補助をされている方はどなたですか。
（A 介護・補助が必要な方）.....294
（B 主に介護・補助をされている方）.....295
問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。
（A 毎日たくさん笑っている）.....298
（B 今の自分は幸せだ）.....300
（C 今の自分の生活に満足している）.....302
（D 今の自分が好きだ）.....304
（E 人生を楽しんでいる）.....306
（F 自分は他人から必要とされている）.....308
（G 自分には夢や目標がある）.....310
（H 子育てを楽しんでいる）.....312
問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A 明るく、楽しい気分で過ごした）.....314
（B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）.....316
（C 意欲的で、活動的に過ごした）.....318
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）.....320
（E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）.....322
問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。
（A 時間的なゆとり）.....324
（B 経済的なゆとり）.....326
（C 体力的なゆとり）.....328

（D　精神的なゆとり）……330
（E　生活全般のゆとり）……332
問 26. あなたが今、子育てに関して楽しいと感じていることは何ですか。……334
問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　子育てや教育の費用）……337
（B　子育ての相談相手の不足）……339
（C　子供の健康や発達・発育）……341
（D　子供の成績や学力）……343
（E　子供の進学や就職）……345
（F　子供の問題行動）……347
（G　子育てと仕事や家事の両立）……349
問 28. あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。……351
問 29. あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は誰ですか。……355
問 30. あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は何人いますか。……359
問 31. あなたは、直近1年間の普段の生活で、お子様を一人にしなければならない時など、
家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思いましたか。……361
問 32. あなたは、直近1年間の普段の生活で、お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、
預けられなかったことはありましたか。……364
問 33. お子様についてあてはまる症状や状況をお選びください。……366
問 34. お子様は過去1年以内に嫌な経験をしたことがありますか。……368
問 35. お子様が通う学校について、保護者であるあなたは満足していますか。……371
問 36. お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由は何ですか。……373
問 37. あなたの住む地域または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　子育てに良い場所である）……377
（B　進んで周りの人達を助けようとする）……379
（C　地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い）……381
（D　信用できる）……383
（E　同じ価値観を持っている）……385
（F　異なる世代間の交流が盛んである）……387
問 38. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）に友達や親戚はいますか。……389
問 39. あなたは、平日（仕事などがある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（A　起きる時間）……391
（B　寝る時間）……393
問 40. あなたが平日（仕事などがある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を
見ている時間はどれくらいありますか。……397
問 41. あなたや配偶者/パートナーは、お子様とどの程度話しますか。
（A　あなた）……399
（B　配偶者/パートナー）……401
問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　お子様は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）……403

（B　お子様は家では安心して過ごしている）……405
（C　お子様の人生について、保護者も一緒に考えて決めている）……407
（D　保護者はお子様の話を聞いている）……409
問 43（1）. あなたが、これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたことは何ですか。……411
問 43（2）. 今後、お子様と一緒に行きたい場所や体験させたいことは何ですか。……414
問 44. あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか。……418
問 45. お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか。……421
問 46. それは、お子様の希望と合っていると思いますか。……424
問 47. お子様の将来の夢や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことだと考えていますか。……426
問 48. あなたの世帯の世帯年収は、次のうちどれですか。……429
問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。
（A　学費（教材費などを除く））……431
（B　教材費や給食費、通学費など、学費以外の学校にかかる費用）……433
（C　塾や習い事に関する費用）……435
（D　部活（クラブ活動）に関する費用）……437
（E　食費）……439
（F　住居費）……441
（G　旅行やレジャーなどにかかる費用）……443
（H　靴や洋服などの服飾費用）……445
（I　パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用）……447
問 50. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。……449
問 51. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。……451
3. その他
（1）ギャップ分析
【子供と保護者の差】
・20 年後に一番叶えたいこと……453
・社会に出て働くタイミング……454
・将来像や進路を難しくしている問題……455
・家族と一緒に心地よい時間を過ごしている……456
・家では安心して過ごしている……457
・私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている……458
・保護者は私の話を聞いてくれる……459
・過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）……460
【男女の差】
・20 年後に一番叶えたいこと……461
・将来的に叶えられているか……462
・将来、子供を育てたいか……463
・将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を育てたいか……464
・社会に出て働くタイミング……465
・将来像や進路を難しくしている問題……466

・家庭における男女の役割・家事 467
・家庭における男女の役割・育児 468
・家庭における男女の役割・仕事 469
・家庭における男女の役割・介護 470
(2)テーマ別
【子供の意見表明】
・自分の考えを他の人にしっかりと言える×学校や職場で自分の意見が言える 471
・自分の考えを他の人にしっかりと言える×学校や職場で自分の意見が採用される 472
・自分の考えを他の人にしっかりと言える×今の自分が好きだ 473
【安全安心】
・今の自分は幸せだ×今、悩んでいること 474
・今、悩んでいること×過去1年以内の嫌な経験(インターネット上での経験を除く) 475
・過去 1 年以内の嫌な経験(インターネット上での経験を除く)×今、悩んでいること 476
・過去 1 年以内の嫌な経験(インターネット上での経験を除く)×今の自分が好きだ 477
【学校生活】
・学校や職場は自分にとって居心地が良い×学校や職場で自分の意見が言える 478
・学校や職場は自分にとって居心地が良い×学ぶことが楽しい 479
・学校について不満に感じること×学校や職場は自分にとって居心地が良い 480
・過去 1 年以内の嫌な経験(インターネット上での経験を除く)×学校または職場が好きか 481
【学び・成長】
・学ぶことが楽しい×自分の行動で社会を変えられると思う 482
・学ぶことが楽しい×自分には、夢や目標がある 483
【居場所・遊び】
・居場所(自宅以外と自宅のみ)×今の自分が好きだ 484
・居場所(インターネット空間の有無)×過去1年以内のインターネット上での嫌な経験 485
・週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日×テレビやスマホなどの画面を見ている時間 486
・もっともよく遊ぶ人×自分は他人から必要とされている 487
【地域社会】
・(保護者)子育てに良い場所である×(子供)地域の人との関係は良好である 488
・(保護者)進んで周りの人達を助けようとする×(子供)地域の人との関係は良好である 489
・地域の人との関係は良好である×社会課題について関心がある 490
【子育て】
・「子育てと仕事や家事の両立」の悩み×住む地域に友達や親戚はいますか 491
・「子育てと仕事や家事の両立」の悩み×子育てを楽しんでいる 492
・(保護者)子育てを楽しんでいる×(子供)将来、子供を育てたいか 493
(3)他調査比較
【CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020】＜地域とのつながり＞ 494
【CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020】＜家庭内の関係性＞ 496
【日本財団「18 歳意識調査『第 62 回-国や社会に対する意識(6カ国調査)-』」＜社会貢献意欲＞ 498
【PISA 2022】＜生活への満足度＞ 500

【内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」】＜社会貢献意欲＞ 501
【第 13 回（令和 5 年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】＜学校で勉強したことが役立つか＞ 503
【第 13 回（令和 5 年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】＜希望する進路＞ 504
【第 10 回（令和2年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】【第 13 回（令和5年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】＜スマートフォン所有状況＞ 506
【第9回（令和元年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】【第 11 回（令和3年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】【第 13 回（令和5年）21 世紀出生児（平成 22 年出生児）】＜起きる時間・寝る時間＞ 507
【第 17 回（平成 30 年）21 世紀出生児縦断調査(平成 13 年出生児)】＜最近2週間の精神状態＞ 510
【スポーツ庁「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」】＜スクリーンタイム＞ 512
(4) 重回帰分析 515

調査報告書要旨

1. 調査の概要

(1)調査の目的

本調査は、都内に居住する子供たちとその保護者の方々の日頃の暮らしや悩み、困りごとについて、福祉や教育など、従来の行政分野の枠組みにとらわれることなく子供たちに関する実態や意識を把握し、今後の子供政策を検討するために、令和5年度から継続的に実施している。

調査結果については、庁内各局で共有するとともに、今後も継続的に調査を行うことで、単年の結果だけでなく経年の変化も分析し、より強固なエビデンスに基づいた実効性のある政策の推進につなげていく。

(2)調査の実施方法

① 調査地域　東京都全域

② 調査対象　小学3年生、小学5年生、中学2年生、17 歳の子供とその保護者、3歳児の保護者

③ 標本ｻｲｽﾞ　10,500 世帯(計 19,500 人)

④ 抽出方法　住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法

⑤ 調査方法　郵送法(郵送配布・郵送回収、WEB(インターネット)回答併用)

⑥ 調査時期　令和6年5月7日(火曜日)から令和6年5月 31 日(金曜日)まで

(3)回収結果

区分	3歳	小学3年生		小学5年生		中学2年生		17歳		合計
	保護者	子供	保護者	子供	保護者	子供	保護者	子供	保護者	
発送数	1,500	2,050	2,050	1,900	1,900	2,150	2,150	2,900	2,900	19,500
回収数	839	1,018	976	942	891	849	839	995	945	8,294
回収率	55.9%	49.7%	47.6%	49.6%	46.9%	39.5%	39.0%	34.3%	32.6%	42.5%

(4)経年比較の留意点

①「全体」の経年変化を見る際には、標本サイズ及び構成割合が令和5年調査から変動していることに留意が必要である。

②原則、令和5年調査と設問の表記及び条件分岐が同じ場合に、経年比較を行っている。

③経年比較を行った設問については、比較の結果、5%水準で有意かつ5ポイント以上差がついている箇所について解説している。なお、11 段階評価の設問の場合は、平均値で比較し、5%水準で有意の箇所について解説している。

○幸福度【子供】(P.123)

今の自分は幸せかについて、「0」(まったくあてはまらない)～「10」(とてもあてはまる)の 11 段階評価で、「10」と回答した子供が約4割、平均値は 7.89。
いずれの学年でも「10」(とてもあてはまる)が最も高いが、学年が上がるにつれて減少傾向。

図表 1-93　B 今の自分は幸せだ＜単一回答＞

○子供の幸福度との関係

子供の幸福度への影響を確認するため、各学年の設問から選定した 16 項目を説明変数として学年ごとに重回帰分析を行った結果、いずれの学年でも「家族」と「学校」に関する以下の設問が幸福度に影響があるという結果が得られた。 (P. 515)

①「家族との関係」と幸福度【子供】(P.174)

「家族との関係は良好である」に「10」(とてもあてはまる)と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が8割以上。

図表 1-143　子供の幸福度(「家族との関係は良好である」の回答別)

②「学校または職場が好きか」と幸福度【子供】(P.98)

学校または職場が「とても好き」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が8割以上。

図表 1-70　子供の幸福度(「学校または職場が好きか」の回答別)

○家族との関係【子供】(P.173)

家族との関係が良好かについて、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供は5割以上、平均値は8.71。
前年と比べ、小5で平均値が 0.22 高くなっている。

図表 1-142　B 家族との関係は良好である＜単一回答＞

○学校または職場が好きか【子供】(P.97)

学校または職場が好き(「とても好き」+「好き」)と回答した子供は7割以上。
前年と比べ、小5で「好き」が 6.4 ポイント増加。

図表 1-69 学校または職場が好きか＜単一回答＞

○学校や職場の居心地【子供】(P.107)

学校や職場が自分にとって居心地が良い(「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」)と回答した子供は8割以上。

図表 1-77 A 自分にとって居心地が良い＜単一回答＞

○学校や職場の居心地と意見表明との関係【子供】(P.478)

学校や職場が自分にとって居心地が良い(「あてはまる」)と回答した子供の約9割は、学校や職場で自分の意見が言える(「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」)と回答。
居心地が良くない(「あてはまらない」)と回答した子供では、学校や職場で自分の意見が言える子供は4割を下回る。

図表 3-26. 学校や職場は自分にとって居心地が良い × 学校や職場で自分の意見が言える

○意見表明と自己肯定感との関係【子供】(P.473)

自分の考えを他の人にしっかりと言える(「そう思う」)子供では、「今の自分が好きだ」に「10」(とてもあてはまる)と回答した割合が4割以上で、平均値は 7.90。

図表 3-21. 自分の考えを他の人にしっかりと言える × 今の自分が好きだ

○大人が話を聞いてくれる【子供】(P.26)

住んでいる街で、大人があなたの話をきちんと聞いてくれると思う(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)子供は8割以上。
前年と比べ、「そう思う」は小5で 8.0 ポイント、中2で 9.7 ポイント、17 歳で 13.2 ポイント増加。

図表 1-9　D 大人たちがあなたの話をきちんと聞いてくれる＜単一回答＞

○子供の参加【子供】(P.28)

住んでいる街で、子供にとって大切なことを決めるときにあなたが参加できると思う(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)子供は7割以上。
前年と比べ、いずれの学年でも「そう思う」が 10 ポイント程度増加。

図表 1-11　E 子供にとって大切なことを決めるときにあなたが参加できる＜単一回答＞

○ほっとできる居場所【子供】(P.179)

ほっとできる居場所としては、小3・小5では「自分の部屋以外の家の中」が、中2・17 歳では「自分の部屋」が最も高い。
学年が上がるにつれて、「地域(図書館、公民館、児童館、公園など)」が大きく減少。
17 歳では「自分の部屋」、「自分の部屋以外の家の中」に次いで、「インターネット空間」が続く。

図表 1-148 あなたにとっての居場所(ほっとできる場所、安心できる場所)＜複数回答＞

(%)

		n	自分の部屋	自分の部屋以外の家の中	祖父母・親戚の家	友達の家	学校の教室	教室以外の学校内の場所	(17歳)職場・アルバイト先
全体		3,804	67.6 (2位)	71.6 (1位)	46.4 (3位)	27.5	38.4	26.1	0.8
学年	小3	1,018	45.7	80.8 (1位)	56.5 (2位)	31.9	49.9 (3位)	28.1	−
	小5	942	60.4 (2位)	78.6 (1位)	57.6 (3位)	38.5	46.4	32.9	−
	中2	849	80.4 (1位)	64.4 (2位)	41.9 (3位)	25.3	31.4	22.9	−
	17歳	995	85.9 (1位)	61.6 (2位)	29.3	14.5	24.9	20.2	3.1

		地域(図書館、公民館、児童館、公園など)	学習塾・習い事の場所	インターネット空間(SNS、YouTube、オンラインゲームなど)	飲食店・商業施設	その他	居場所はない	無回答/不明	居場所がある(計)
全体		29.7	22.0	23.8	11.2	1.9	0.6	0.7	98.7
学年	小3	44.6	32.5	15.2	15.7	2.0	0.6	1.4	98.0
	小5	40.1	31.0	20.2	9.9	1.7	0.1	0.8	99.0
	中2	20.5	15.3	29.8	10.8	1.9	1.3	0.4	98.4
	17歳	12.4	8.3	31.1 (3位)	8.1	1.9	0.5	0.2	99.3

○社会課題への関心【子供】(P.68)

社会課題(SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など)について関心がある(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)子供は、約7割。中2・17 歳でも7割前後で、関心は高い。

図表 1-43　C 社会課題(SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など)についての関心がある<単一回答>

○自分の行動で社会を変えられる【子供】(P.74)

自分の行動で社会を変えられると思う(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)子供は約5割。
前年と比べ、小3で「そう思う」が 6.4 ポイント増加。

図表 1-49　F 自分の行動で社会を変えられると思う<単一回答>

○家庭における仕事分担に対する男女ギャップ【子供】(P.469)

家庭における仕事の分担について、「男女で同じように担うべき」と回答した割合が約7割。
中2、17 歳ともに 10 ポイント以上男性の方が低い。

・図表 3-17 【性別】家庭における男女の役割・仕事 ＜単一回答＞

○家庭における育児分担に対する男女ギャップ【子供】(P.468)

家庭における育児の分担について、「男女で同じように担うべき」と回答した割合が約8割。
中2、17 歳ともに 10 ポイント以上男性の方が低い。

図表 3-16 【性別】家庭における男女の役割・育児 ＜単一回答＞

○地域の子育てのしやすさ【保護者】(P.377)

住んでいる地域が、子育てに良い場所であると思っている(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)保護者は約9割。
前年と比べ、3歳、中2の保護者で「そう思う」が5ポイント以上増加。

図表 2-135　A 子育てに良い場所である ＜単一回答＞

○子育てを楽しんでいる【保護者】(P.312)

「子育てを楽しんでいる」に「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者は約2割、平均値は 7.35。
前年と比べ、3歳の保護者では「10」が 6.6 ポイント、平均値が 0.33 高くなっている。

図表 2-79 H 子育てを楽しんでいる ＜単一回答＞

○育児分担の満足度【保護者】(P.292)

自身と配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)保護者は約6割で、3歳の保護者の満足度が最も高い。

図表 2-59 ご家庭内での育児分担の満足度 ＜単一回答＞

Ⅰ．調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、都内に居住する子供たちとその保護者の方々の日頃の暮らしや悩み、困りごとについて、福祉や教育など、従来の行政分野の枠組みにとらわれることなく子供たちに関する実態や意識を把握し、今後の子供政策を検討するために、令和5年度から継続的に実施している。

調査結果については、庁内各局で共有するとともに、今後も継続的に調査を行うことで、単年の結果だけでなく経年の変化も分析し、より強固なエビデンスに基づいた実効性のある政策の推進につなげていく。

2. 調査の項目

①子供/保護者自身について
②子供の安全安心について
③子供の遊び場・居場所について
④子供の学び・成長について
⑤子育て家庭支援について
⑥子供の意見表明、参加、権利擁護について
⑦社会的情勢の変化による影響について
⑧基本情報　　等

3. 調査の設計

（1）調査地域　東京都全域

（2）調査対象　小学3年生、小学5年生、中学2年生、17 歳の子供とその保護者、3歳児の保護者

（3）標本ｻｲｽﾞ　10,500 世帯（計 19,500 人）

（4）抽出方法　住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法

※ 層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって都内をブロックに分類し（層化）、各層で抽出地点を抽出（一段目）し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して、地点ごとに一定数のサンプル抽出（二段目）を行うものである。

（5）調査方法　郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB（インターネット）回答併用）

（6）調査時期　令和6年5月7日（火曜日）から令和6年5月 31 日（金曜日）まで

4. 検討会議

子供に精通した学識経験者等（外部委員）及び子供政策連携室職員（内部委員）により構成された「令和6年子供に関する定点調査『とうきょう こども アンケート』検討会議」（以下「検討会議」という。）を設置した。

検討会議委員の意見を踏まえ、調査票を設計し、具体的な調査方法等を決定した。

なお、検討会議委員（外部委員）は以下のとおりである。

池本 美香（株式会社日本総合研究所 上席主任研究員）
土屋 隆裕（横浜市立大学データサイエンス学部 教授）
西田 淳志（公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長）
松原 康雄（明治学院大学名誉教授）
森田 明美（東洋大学名誉教授）
渡辺 由美子（特定非営利活動法人キッズドア理事長）

（五十音順・敬称略）

5. 調査機関

株式会社日本リサーチセンター

6. 各調査対象の設問数

	子供	保護者
3歳児		46 問
小学3年生	40 問	51 問
小学5年生	40 問	51 問
中学2年生	44 問	51 問
17 歳	45 問	51 問

7. 回収結果

調査対象		発送数(A)	総回収数 (B)			回収率 (B／A)
				郵送回収	WEB 回収	
子供	小学3年生	2,050	1,018	620	398	49.7%
	小学5年生	1,900	942	521	421	49.6%
	中学2年生	2,150	849	398	451	39.5%
	17 歳	2,900	995	370	625	34.3%
保護者	3歳児	1,500	839	323	516	55.9%
	小学3年生	2,050	976	560	416	47.6%
	小学5年生	1,900	891	467	424	46.9%
	中学2年生	2,150	839	373	466	39.0%
	17 歳	2,900	945	404	541	32.6%
合　　計		19,500	8,294	4,036	4,258	42.5%

標本抽出方法

調査対象 ： 東京都内の区市町村に居住する、小学3年生、小学5年生、中学2年生、
17 歳の子供とその保護者、3歳児の保護者

標本ｻｲｽﾞ ： 10,500 世帯（計 19,500 人）

地 点 数 ： 200 地点

抽出方法 ： 層化二段無作為抽出法

【層化】

都内を次の 7 ブロックに分類した。

地域名	該当区市町村名
①センターコア	千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・渋谷区・豊島区・荒川区
②区部東部・北部	北区・板橋区・足立区・葛飾区・江戸川区
③区部西部・南部	品川区・目黒区・大田区・世田谷区・中野区・杉並区・練馬区
④多摩東部	武蔵野市・三鷹市・調布市・小金井市・小平市・東村山市・国分寺市・狛江市・清瀬市・東久留米市・西東京市
⑤多摩中央部北	立川市・昭島市・福生市・東大和市・武蔵村山市・羽村市・瑞穂町
⑥多摩中央部南	八王子市・府中市・町田市・日野市・国立市・多摩市・稲城市
⑦多摩西部・島しょ	青梅市・あきる野市・日の出町・檜原村・奥多摩町・大島町・利島村・新島村・神津島村・三宅村・御蔵島村・八丈町・青ヶ島村・小笠原村

標本サイズの配分

各地域別の層による各学年の人口（令和5年1月時点）に対して、10, 500 の標本を比例配分した。

抽出

１． 令和2年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。

２． 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left[\frac{\text{調査区における 19 歳以下の人口の合計}}{\text{地域に配分した調査地点数}} = \text{抽出間隔}\right]$$

を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。

３． 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、令和2年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。

４． 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・各学年の世帯数・標本サイズ・調査地点数は、次のとおりである。

属性 / 地域	3歳児	小学3年生	小学5年生	中学2年生	17 歳	合計
①センターコア	20,252	20,179	18,677	17,792	15,743	92,643
	318	392	345	369	470	1,894
	37					
②区部東部・北部	17,781	20,329	20,056	20,761	19,676	98,603
	279	395	371	430	587	2,062
	39					
③区部西部・南部	27,513	29,639	28,548	28,269	26,253	140,222
	432	576	528	586	784	2,906
	55					
④多摩東部	12,525	14,041	13,874	13,875	13,131	67,446
	197	273	256	287	392	1,405
	27					
⑤多摩中央部北	4,176	4,883	4,900	5,229	5,037	24,225
	66	95	91	108	150	510
	10					
⑥多摩中央部南	11,673	14,498	14,649	15,643	15,093	71,556
	183	281	271	324	451	1,510
	28					
⑦多摩西部・島しょ	1,582	1,977	2,085	2,225	2,198	10,067
	25	38	38	46	66	213
	4					
合　計	95,502	105,546	102,789	103,794	97,131	504,762
	1,500	2,050	1,900	2,150	2,900	10,500
	200					

（注）上段は各学年の人口（令和5年1月時点）、中段は標本サイズ、下段は調査地点数である。

報告書の見方

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

(1)比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。また、小数点以下第2位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は「0.0」、回答者がいなかった選択肢については「－」と表示している。

(2)基数となるべき実数は n として掲載した。その比率は n の件数を 100%として算出した。

(3)1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が 100%を上回ることがある。

(4)複数の選択肢を合わせた表記の回答割合は、各選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、各選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。

(5)回答の基数が 50 人未満の場合は標本誤差が大きくなるため、原則、本文の分析の対象にしていない。また、5ポイント以上の差異が見られない場合は、解説で当該集計結果に触れていない場合がある。また、派生的設問において、基数が少ない属性が多い場合は、解説を行わない場合がある。

(6)各設問に記載している設問番号及び図表中の選択肢は、特に記載のない限り子供に関しては 17 歳、保護者に関しては 17 歳保護者の質問票の番号である。

(7)「全体」の経年変化を見る際には、以下のとおり**標本サイズ及び構成割合が令和5年調査から変動していること**に留意が必要である。

【標本サイズ・構成割合の変化】

子供

		小学3年生	小学5年生	中学2年生	17 歳	全体
R6調査		1018	942	849	995	3,804
構成割合		26.8%	24.8%	22.3%	26.2%	100.0%
R5調査		544	594	526	374	2,038
構成割合		26.7%	29.1%	25.8%	18.4%	100.0%

保護者

	3歳児	小学3年生	小学5年生	中学2年生	17 歳	全体
R6調査	839	976	891	839	945	4,490
構成割合	18.7%	21.7%	19.8%	18.7%	21.0%	100.0%
R5調査	816	641	667	603	477	3,204
構成割合	25.5%	20.0%	20.8%	18.8%	14.9%	100.0%

(8)原則、**令和5年調査と設問の表記及び条件分岐が同じ場合**に、経年比較を行っている。

(9)経年比較を行った設問については、比較の結果、**5%水準で有意かつ5ポイント以上差がついている箇所**について解説している。なお、**11 段階評価の設問の場合は、平均値で比較し、5%水準で有意の箇所**について解説している。

(10)「幸福度」については、子供調査票の問 22(小学3年生、小学5年生)、問 25(中学2年生)、問 26(17 歳)の「B　今の自分は幸せだ」の 11 段階評価を3段階に区分し、**8～10 を「幸福度高(8～10)」、4～7を「幸福度中(4～7)」、0～3を「幸福度低(0～3)」と便宜的に区分**している。

(11)自由記述は、一部の回答者のコメントを掲載している。また、原則として原文のまま掲載することとしているが、商品名・サービス名については最小限の範囲において一般的な名称に書き換えを行っている。

Ⅱ. 調査結果

1. 子供編

（子供：共通）問1. あなたの性別は何ですか。（1つだけ）

【全体】

「男性」が 48.3%、「女性」が 49.9%、「その他、（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」が 1.3%である。

【学年別】

経年比較でみると、小5で「男性」が 5.4 ポイント減少している。

図表 1-1 性別＜単一回答＞

（子供：共通）問2．あなたの住んでいる区市町村はどこですか。（1つだけ）

図表 1-2 区市町村＜単一回答＞※五十音順

		調査数（人）	割合（%）
調査数		3,804	100.0
あなたの住んでいる区市町村はどこですか	青ヶ島村	－	－
	昭島市	34	0.9
	あきる野市	28	0.7
	足立区	194	5.1
	荒川区	43	1.1
	板橋区	165	4.3
	稲城市	21	0.6
	江戸川区	218	5.7
	青梅市	37	1.0
	大島町	－	－
	大田区	194	5.1
	小笠原村	－	－
	奥多摩町	－	－
	葛飾区	97	2.5
	北区	76	2.0
	清瀬市	17	0.4
	国立市	27	0.7
	神津島村	－	－
	江東区	133	3.5
	小金井市	43	1.1
	国分寺市	36	0.9
	小平市	72	1.9
	狛江市	43	1.1
	品川区	103	2.7
	渋谷区	59	1.6
	新宿区	100	2.6
	杉並区	175	4.6
	墨田区	43	1.1
	世田谷区	197	5.2
	台東区	36	0.9
	立川市	60	1.6

		調査数（人）	割合（%）
あなたの住んでいる区市町村はどこですか	多摩市	47	1.2
	中央区	36	0.9
	調布市	81	2.1
	千代田区	13	0.3
	豊島区	60	1.6
	利島村	－	－
	中野区	74	1.9
	新島村	－	－
	西東京市	84	2.2
	練馬区	230	6.0
	八王子市	190	5.0
	八丈町	－	－
	羽村市	18	0.5
	東久留米市	18	0.5
	東村山市	44	1.2
	東大和市	18	0.5
	日野市	62	1.6
	日の出町	17	0.4
	檜原村	－	－
	府中市	72	1.9
	福生市	22	0.6
	文京区	80	2.1
	町田市	147	3.9
	御蔵島村	－	－
	瑞穂町	16	0.4
	三鷹市	62	1.6
	港区	62	1.6
	三宅村	－	－
	武蔵野市	30	0.8
	武蔵村山市	17	0.4
	目黒区	53	1.4

（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（A　あなたが遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある）

【全体】

「そう思う」が 51.0％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.0％であり、遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんあると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 86.0％である。

【学年別】

「そう思う」が小3では 61.4％、小5では 62.5％、中2では 47.8％で最も高い。17 歳では「どちらかといえばそう思う」が 44.1％で最も高い。

経年比較でみると、「そう思う」は小5では 6.6 ポイント、中2では 10.5 ポイント増加している。また、17 歳では「そう思わない」が 5.5 ポイント減少している。

図表 1-3　A　あなたが遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 77.8%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 18.2%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-4　子供の幸福度(「あなたが遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある)」の回答別)

（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（B　あなたが困っていたら近所の人が助けてくれる）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 41.0％で最も高く、次いで「そう思う」が 31.6％であり、あなたが困っていたら近所の人が助けてくれると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 72.6％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。

経年比較でみると、「そう思う」は中2では 5.8 ポイント増加している。

【区市町村別】

市町村部では「そう思う」が区部に比べて 5.3 ポイント高い。

図表 1-5　B　あなたが困っていたら近所の人が助けてくれる＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「困っていたら近所の人が助けてくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 77.7%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 17.2%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-6　子供の幸福度(「あなたが困っていたら近所の人が助けてくれる」の回答別)

（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（C　近所の大人たちはあなたにやさしい）

【全体】

「そう思う」が 46.8％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 38.4％であり、近所の大人たちはあなたにやさしいと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 85.2％である。

【学年別】

「そう思う」が小3では 57.2％、小5では 56.3％、中2では 42.9％で最も高い。17 歳では「どちらかといえばそう思う」が 50.8％で最も高い。

経年比較でみると、「そう思う」は小5では 8.8 ポイント、中2では 5.8 ポイント増加している。また、17 歳では「どちらかといえばそう思わない」が 6.2 ポイント減少している。

【区市町村別】

市町村部では「そう思う」が区部に比べて 6.1 ポイント高い。

図表 1-7　C　近所の大人たちはあなたにやさしい＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「近所の大人たちはあなたにやさしい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 75.5%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 17.8%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-8　子供の幸福度(「近所の大人たちはあなたにやさしい」の回答別)

（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（D　大人たちがあなたの話をきちんと聞いてくれる）

【全体】

「そう思う」が 45.4％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 39.2％であり、大人たちがあなたの話をきちんと聞いてくれると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 84.6％である。

【学年別】

「そう思う」が小3では 53.1％、小5では 55.5％、中2では 42.6％で最も高い。17 歳では「どちらかといえばそう思う」が 48.9％で最も高い。

経年比較でみると、「そう思う」は小5では 8.0 ポイント、中2では 9.7 ポイント、17 歳では 13.2 ポイント増加している。また、「どちらかといえばそう思わない」が小5では 5.4 ポイント、17 歳では 5.5 ポイント減少している。

図表 1-9　D　大人たちがあなたの話をきちんと聞いてくれる＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「大人たちがあなたの話をきちんと聞いてくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の78.7%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 27.7%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-10　子供の幸福度(「大人たちがあなたの話をきちんと聞いてくれる」の回答別)

（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（E　子供にとって大切なことを決めるときにあなたが参加できる）

【全体】

「そう思う」が 37.5％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 37.2％であり、子供にとって大切なことを決めるときにあなたが参加できると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 74.7％である。

【学年別】

子供にとって大切なことを決めるときにあなたが参加できると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は小5が最も高く 80.0％である。

経年比較でみると、「そう思う」はいずれの学年でも増加しており、小3では 9.0 ポイント、小5では 11.9 ポイント、中2では 10.3 ポイント、17 歳では 13.0 ポイント増加している。また、小3と中2では「どちらかといえばそう思わない」がそれぞれ 5.6 ポイント、6.4 ポイント減少しており、17 歳では「どちらかと言えばそう思わない」が 11.6 ポイント減少し、「そう思わない」が 7.2 ポイント減少している。

図表 1-11　E　子供にとって大切なことを決めるときにあなたが参加できる＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「子供にとって大切なことを決めるときにあなたが参加できる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 78.2%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 17.5%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-12　子供の幸福度(「子供にとって大切なことを決めるときにあなたが参加できる」の回答別)

（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（F　近所の人たち同士がお互いに助け合っている）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 39.4％で最も高く、次いで「そう思う」が 33.6％であり、近所の人たち同士がお互いに助け合っていると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 73.0％である。

【学年別】

近所の人たち同士がお互いに助け合っていると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は小5が最も高く 78.8％である。

【区市町村別】

市町村部では「そう思う」が区部に比べて 5.3 ポイント高い。

図表 1-13　F　近所の人たち同士がお互いに助け合っている＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「近所の人たち同士がお互いに助け合っている」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の78.1%が幸福度【高】(8～10)であり、「そう思わない」と回答した子供の 14.1%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-14　子供の幸福度(「近所の人たち同士がお互いに助け合っている」の回答別)

（子供：共通）問4．あなたは普段、放課後や休みの日に何をして遊びますか。（いくつでも）

【全体】

「YouTube や SNS、その他のインターネット情報を見る」が 75.5％で最も高く、次いで「マンガや本を読む」が 49.1％、「DVD や動画配信サービス、録画番組を見る」が 46.8％、「スポーツや体を使う遊び」が 46.0％、「友人などとおしゃべり」が 45.8％である。

【学年別】

「YouTube や SNS、その他のインターネット情報を見る」は学年が上がるにつれて増加傾向にあり、17 歳では 91.1％である。

経年比較でみると、小5、中2、17 歳で「DVD や動画配信サービス、録画番組を見る」が 7.7 ポイントから 9.7 ポイント減少している。また、17 歳では「オンラインゲーム」が 6.9 ポイント、「友人などとおしゃべり」が 11.6 ポイント、それぞれ減少し、小5では「オンラインゲーム」が 7.4 ポイント減少している。

図表 1-15 普段、放課後や休みの日に遊んでいること＜複数回答＞

(%)

			n	マンガや本を読む	テレビ（リアルタイム）を見る	DVDや動画配信サービス、録画番組を見る	YouTubeやSNS、その他のインターネット情報を見る	オンラインゲーム	オフラインのゲーム（家庭用ゲーム機やボードゲーム、カードゲームなど）、玩具	スポーツや体を使う遊び
全体		令和6年	3,804	49.1	41.5	46.8	75.5	38.3	38.5	46.0
		令和5年	2,036	60.0	50.6	52.5	75.6	44.1	43.3	50.4
学年	小3	令和6年	1,018	48.8	47.0	47.4	61.0	22.2	50.8	57.6
		令和5年	542	60.9	54.6	46.9	58.3	27.1	53.5	61.3
	小5	令和6年	942	50.6	43.4	42.6	66.0	38.1	48.9	54.7
		令和5年	594	61.1	51.2	50.5	68.2	45.5	50.3	56.6
	中2	令和6年	849	51.0	42.9	49.1	85.0	48.4	33.6	44.9
		令和5年	526	59.9	52.1	56.8	89.0	53.4	37.1	46.8
	17歳	令和6年	995	46.2	33.0	48.1	91.1	46.3	20.4	26.8
		令和5年	374	57.0	41.7	57.8	93.6	53.2	25.9	30.2
区市町村	区部		2,441	49.2	42.3	46.4	75.5	38.1	37.6	46.3
	市町村部		1,363	48.9	40.1	47.5	75.3	38.7	40.2	45.5

			公園の遊具	友人などとおしゃべり	その他	遊んでいない（R6のみ）	無回答/不明	遊んでいる（計）
全体		令和6年	29.0	45.8	10.9	0.6	0.3	99.1
		令和5年	32.5	58.6	6.1		0.2	99.8
学年	小3	令和6年	56.5	37.8	12.3	－	0.7	99.3
		令和5年	58.7	53.0	12.4		－	100.0
	小5	令和6年	44.5	44.8	11.4	0.6	0.3	99.0
		令和5年	45.5	59.3	3.4		0.5	99.5
	中2	令和6年	9.9	51.8	9.7	0.4	0.2	99.4
		令和5年	11.6	61.8	4.4		0.4	99.6
	17歳	令和6年	2.5	49.9	10.2	1.2	0.1	98.7
		令和5年	3.5	61.5	4.0		－	100.0
区市町村	区部		29.8	45.6	10.5	0.5	0.5	
	市町村部		27.5	46.4	11.6	0.6	0.1	

※遊んでいる（計）は「マンガや本を読む」～「友人などとおしゃべり」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「普段、放課後や休みの日に遊んでいること」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「遊んでいる(計)」と回答した子供の 64.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-16　子供の幸福度(「普段、放課後や休みの日に遊んでいること」の回答別)

【自由記述】

その他（普段、放課後や休みの日に遊んでいること）
バルーンアート（子供・小3）
絵をかいてすごしている。（子供・小3）
ピアノやべんきょう（子供・小3）
友人とあそぶ（子供・小3）
おり紙、お絵かき（子供・小3）
マンガをかく（子供・小5）
習い事（子供・小5）
りょこうかおでかけ（子供・小5）
油絵（子供・小5）
じゅくやじゅくの宿題（子供・小5）
スマホ（子供・中2）
勉強（子供・中2）
編み物（子供・中2）
犬のお散歩、1時間ぐらい。（子供・中2）
家族とのお出かけ（子供・中2）
カラオケ（子供・17 歳）
部活（子供・17 歳）
絵を描く（子供・17 歳）
映画、バイト（子供・17 歳）
友達とランチ、買いものなど（子供・17 歳）

（子供：共通）問5．あなたが安心して遊べる場所はどこですか。（いくつでも）

【全体】

「自宅」が 93.7％で最も高く、次いで「公園」が 51.7％、「祖父母・親戚の家」が 45.6％、「友達の家」が 43.7％、「学校の校庭・グラウンド」が 42.4％で続いている。

【学年別】

いずれの学年でも「自宅」が最も高い。「インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）」は学年が上がるにつれて増加傾向である。

【区市町村別】

市町村部では「ショッピングモール」が区部に比べて 6.0 ポイント高い。

図表 1-17 安心して遊べる場所＜複数回答＞

(%)

		n	自宅	友達の家	祖父母・親戚の家	学校の校庭・グラウンド	公園	児童館	図書館
全　体		3,804	93.7	43.7	45.6	42.4	51.7	23.9	27.4
学年	小3	1,018	93.3	45.1	53.4	59.8	67.0	33.4	37.7
	小5	942	95.1	51.3	55.8	52.5	65.4	34.4	32.4
	中2	849	93.3	44.1	41.8	34.2	47.8	20.0	22.1
	17歳	995	93.2	34.7	31.0	22.1	26.4	7.6	16.6
区市町村	区　部	2,441	93.7	43.0	44.9	43.1	51.9	24.1	28.2
	市町村部	1,363	93.7	44.9	46.7	41.2	51.4	23.6	26.0

		プレーパーク・冒険遊び場	地域にある広場・空地	近所の路上	ショッピングモール	娯楽施設（映画館、カラオケ、ゲームセンター、ボウリング場など）	インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）	その他	安心して遊べる場所はない
全　体		9.7	12.5	8.2	22.6	34.0	27.0	1.9	0.3
学年	小3	14.3	14.8	8.5	14.7	25.3	15.7	1.8	0.4
	小5	10.1	13.5	8.8	14.8	21.4	21.2	2.7	0.3
	中2	10.0	13.2	9.0	30.7	38.3	33.3	1.9	0.4
	17歳	4.3	8.7	6.7	31.3	51.3	38.7	1.4	0.3
区市町村	区　部	9.5	12.5	7.5	20.5	33.3	27.0	1.8	0.2
	市町村部	10.1	12.7	9.5	26.5	35.4	27.0	2.1	0.5

		無回答/不明	安心して遊べる場所がある（計）
全　体		0.2	99.4
学年	小3	0.2	99.4
	小5	0.3	99.4
	中2	0.1	99.5
	17歳	0.2	99.5
区市町村	区　部	0.3	99.5
	市町村部	0.1	99.4

※安心して遊べる場所がある（計）は「自宅」～「インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「安心して遊べる場所」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「安心して遊べる場所がある(計)」と回答した子供の 64.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-18　子供の幸福度(「安心して遊べる場所」の回答別)

【自由記述】

その他（安心して遊べる場所）
学童(子供・小3)
教育支援センター(子供・小3)
学校の中(子供・小3)
体いく館や教室など(子供・小3)
区の施設(子供・小5)
本屋(子供・小5)
学校(子供・小5)
マンションのキッズルーム(子供・小5)
放課後デイサービス(子供・小5)
スイミングスクール(子供・小5)
バレエ学校(子供・中2)
部活動をする部屋(子供・中2)
塾(子供・中2)
放課後デイサービス(子供・中2)
フリースクール(子供・中2)
カフェ(子供・17 歳)
学校の教室(子供・17 歳)
体育館(子供・17 歳)
美術館・博物館(子供・17 歳)
公民館(子供・17 歳)

（子供：共通）問6．あなたは普段、誰と遊びますか。もっともよく遊ぶ人を選んでください。（1つだけ）

【全体】

「学校・職場の友達」が 75.9％で最も高く、次いで「きょうだい」が 10.4％、「親／保護者」が 4.7％である。「誰とも遊ばない（ひとりで遊ぶ）」は 4.5％である。

【学年別】

いずれの学年でも「学校・職場の友達」が最も高い。また、「きょうだい」は学年が上がるにつれて減少傾向である。

図表 1-19 普段もっともよく遊ぶ人＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「普段もっともよく遊ぶ人」の回答別に子供の幸福度をみると、「誰とも遊ばない（ひとりで遊ぶ）」と回答した子供は幸福度【低】（0～3）が 19.3％である。

図表 1-20　子供の幸福度（「普段もっともよく遊ぶ人」の回答別）

【自由記述】

その他（普段もっともよく遊ぶ人）
家ぞく(子供・小3)
きんじょのともだち(子供・小3)
いとこ(子供・小3)
おばあちゃん(子供・小3)
しんせき(子供・小5)
いとこ(子供・小5)
祖父母(子供・中2)
親戚と遊ぶ(子供・中2)
おばさん(子供・中2)
彼氏(子供・17 歳)

（子供：共通）問7．あなたは、週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。なお、部活動は含みますが、学校の授業は含みません。（1つだけ）

【全体】

「週3日～4日程度」が 24.7%で最も高く、「週1日～2日程度」が 23.1%、「週5日～6日程度」が 18.5%と続く。

【学年別】

「毎日」の割合は学年が上がるにつれて減少傾向であり、「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」は増加傾向である。

図表 1-21 週に30分以上外で遊んだり体を動かしたりする日＜単一回答＞

※中2と 17 歳は令和5年調査と設問の表記が異なるため、全体、中2、17 歳は経年比較していない。

【子供の幸福度】

「週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日」の回答別に子供の幸福度をみると、「毎日」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 75.4%で、「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 45.8%である。

図表 1-22　子供の幸福度(「週に30分以上外で遊んだり体を動かしたりする日」の回答別)

（子供：共通）問8．過去 1 年以内に、あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）で、次のような危険な目にあったことはありますか。（いくつでも）

【全体】

過去1年以内に住む地域で危険な目にあったことがある中では、「自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった」が22.9％で最も高く、次いで「車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった」が 15.3％、「知らない人に声をかけられた」が 10.9％、「知らない人に睨まれた」が 9.0％、「知らない人から怒られた」が 8.2％で続いている。「危険な目にあったことはない」は 55.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「危険な目にあったことはない」が最も高い。「自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった」は学年が上がるにつれて増加傾向である。

図表 1-23 過去1年以内に住む地域で経験した危険な目＜複数回答＞

(%)

		n	車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった	自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった	知らない人に声をかけられた	知らない人に睨まれた	知らない人から怒られた	知らない人から暴力を受けた	知らない人に連れ去られそうになった／連れ去られた
全　体		3,804	15.3	22.9	10.9	9.0	8.2	0.5	0.2
学年	小3	1,018	13.1	17.6	12.4	7.5	5.8	0.9	0.2
	小5	942	12.5	21.4	9.4	9.6	9.3	0.5	0.3
	中2	849	15.4	25.4	11.5	11.4	10.2	0.1	－
	17歳	995	20.0	27.4	10.4	8.0	7.7	0.4	0.3
区市町村	区　部	2,441	14.5	23.8	10.6	9.3	8.3	0.5	0.3
	市町村部	1,363	16.7	21.2	11.5	8.5	8.0	0.4	－

		その他	危険な目にあったことはない	無回答／不明	危険な目にあったことがある（計）
全　体		1.3	55.4	2.9	41.7
学年	小3	1.8	59.9	2.7	37.4
	小5	1.5	55.0	5.2	39.8
	中2	1.3	54.1	2.5	43.5
	17歳	0.7	52.4	1.3	46.3
区市町村	区　部	1.4	55.5	2.7	41.7
	市町村部	1.2	55.2	3.2	41.6

※危険な目にあったことがある（計）は「車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった」～「知らない人に連れ去られそうになった／連れ去られた」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「過去1年以内に住む地域で経験した危険な目」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「危険な目にあったことがある(計)」と回答した子供は幸福度【高】(8～10)が 59.7%なのに対して、「危険な目にあったことはない」と回答した子供は幸福度【高】(8～10)が 67.4%である。

図表 1-24　子供の幸福度(「過去1年以内に住む地域で経験した危険な目」の回答別)

【自由記述】

その他（経験した危険な目）
知らない人がうしろからついてきた(子供・小3)
知らない人にしゃしんをとられた気がした(子供・小3)
ストーカーされた(子供・小3)
知らない人が後を尾けてきた。(子供・小3)
人にぶつかりそうになった(子供・小3)
はだかの男の人がいた(子供・小5)
ちかんにあった(子供・小5)
知らない人に写真を撮られた(子供・小5)
知らない人が叫んでいた(子供・小5)
コンビニで買った物を公園で盗まれた(子供・小5)
自転車が盗まれるところを見た(子供・中2)
知らない人についてこられた(子供・中2)
空き巣未遂(子供・中2)
知らない人がついて来た(子供・中2)
知らない人に避けようとしたのにぶつかられた(子供・中2)
知らない犬に（元気な犬）飛びつかれそうになった(子供・17 歳)
痴漢(子供・17 歳)
知らない人が自分の周りを行ったり来たりしていた(子供・17 歳)
知らない人がさけんでいた。(子供・17 歳)
火災がおきた(子供・17 歳)

（子供：共通）問9．あなたは東京が好きですか。（1つだけ）

【全体】

「好き」が 65.3％で最も高く、次いで「どちらかといえば好き」が 27.9％であり、東京が好きと思っている（「好き」と「どちらかといえば好き」の割合）子供は 93.2％である。

【学年別】

いずれの学年でも「好き」が最も高いが、学年が上がるにつれて減少傾向である。

経年比較でみると、中2、17 歳では「好き」がそれぞれ 5.3 ポイント、8.4 ポイント増加している。

図表 1-25 東京が好きか＜単一回答＞

※好き（計）は「好き」及び「どちらかといえば好き」の割合。

好きではない（計）は「好きではない」及び「どちらかといえば好きではない」の割合。

【子供の幸福度】

「東京が好きか」の回答別に子供の幸福度をみると、「好き」と回答した子供は幸福度【高】(8～10)が 73.2%である。

図表 1-26　子供の幸福度(「東京が好きか」の回答別)

（子供：共通）問 10. 問 9 で、その選択肢を選んだ理由は何ですか。（いくつでも）

※上記の設問を、問9で「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した子供と、「好きではない」または「どちらかといえば好きではない」と回答した子供で分けて集計した。

【全体】

問9で「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した子供の理由をみると、「施設（公共施設・商業施設・飲食店など）の数」が 55.9％で最も高く、次いで「遊ぶ場所の数」が 52.2％、「交通の便」が 49.7％である。

【学年別】

小3、小5では「遊ぶ場所の数」が最も高い。中2では「施設（公共施設・商業施設・飲食店など）の数」が 65.4％で最も高く、17 歳では「交通の便」が 79.6％で最も高い。

図表 1-27 東京が好きな理由＜複数回答＞

(%)

		n	交通の便	施設（公共施設・商業施設・飲食店など）の数	自然・公園の量	遊ぶ場所の数	いろいろな人がいる	街並み	治安
全　体		3,545	49.7	55.9	34.6	52.2	33.7	31.5	19.5
学年	小3	963	24.1	38.9	51.1	54.3	40.6	25.3	19.4
	小5	866	36.6	48.0	48.6	55.4	36.5	36.5	27.6
	中2	791	60.2	65.4	24.1	49.2	29.6	37.0	19.6
	17歳	925	79.6	73.0	13.2	49.5	27.6	28.5	11.8
区市町村	区　部	2,272	51.6	55.5	33.1	53.1	33.9	31.5	19.1
	市町村部	1,273	46.2	56.8	37.2	50.5	33.4	31.5	20.0

		その他	無回答/不明
全　体		4.9	0.5
学年	小3	6.2	0.3
	小5	6.4	0.8
	中2	4.0	0.4
	17歳	2.7	0.3
区市町村	区　部	4.7	0.3
	市町村部	5.2	0.7

【子供の幸福度】

図表 1-28　子供の幸福度（「東京が好きな理由」の回答別）

【全体】

問9で「好きではない」または「どちらといえば好きではない」と回答した子供の理由をみると、「自然・公園の量」が37.6％で最も高く、次いで「治安」が 31.7％、「いろいろな人がいる」が 30.7％である。

図表 1-29 東京が好きではない理由＜複数回答＞

(%)

		n	交通の便	施設（公共施設・商業施設・飲食店など）の数	自然・公園の量	遊ぶ場所の数	いろいろな人がいる	街並み	治安
全　体		202	12.9	12.4	37.6	19.8	30.7	28.7	31.7
学年	小3	44	2.3	13.6	43.2	22.7	29.5	4.5	20.5
	小5	41	7.3	9.8	34.1	17.1	24.4	26.8	22.0
	中2	53	13.2	13.2	45.3	24.5	37.7	28.3	37.7
	17歳	64	23.4	12.5	29.7	15.6	29.7	46.9	40.6
区市町村	区　部	134	12.7	11.9	41.0	22.4	31.3	28.4	29.9
	市町村部	68	13.2	13.2	30.9	14.7	29.4	29.4	35.3

		その他	無回答/不明
全　体		16.8	－
学年	小3	20.5	－
	小5	29.3	－
	中2	7.5	－
	17歳	14.1	－
区市町村	区　部	17.2	－
	市町村部	16.2	－

【子供の幸福度】

図表 1-30　子供の幸福度（「東京が好きではない理由」の回答別）

【自由記述】

その他（東京が好き／好きではない理由）
【好きな理由】
町の人がやさしいからあん心できる(子供・小3)
イベントがあることがよい(子供・小3)
友達がいっぱいいる(子供・小3)
何も不満がないから。(子供・小5)
人々のやさしさ(子供・小5)
はらじゅくやしぶやがあるから！！(子供・小5)
人が多いから友達がたくさんできる。(子供・小5)
横浜が近い(子供・中2)
FC東京(子供・中2)
都会って感じだから(子供・中2)
虫が少ない(子供・中2)
食べ物おいしい(子供・中2)
自分が住んでて住みやすいから(子供・17 歳)
日本の首都であるから(子供・17 歳)
生まれ育った場所だから(子供・17 歳)
生活が便利(子供・17 歳)
有名だから良いものがある(子供・17 歳)
【好きではない理由】
人間関けいにつかれた（学校での）(子供・小3)
おばあちゃんの家の近くが良いから(子供・小3)
田舎じゃないから(子供・小3)
おちつかない(子供・小3)
海外が好きだから(子供・小3)
人が多すぎる。(子供・小5)
ゴミが多い。環境が悪い(子供・小5)
じゅくがめんどうだから(子供・小5)
路上喫煙などがいや(子供・小5)
福井県の方が好き(子供・中2)
混み合い過ぎている(子供・中2)
大阪が好き（両親の実家）(子供・中2)
電車が混むから(子供・17 歳)
少しダサい(子供・17 歳)
人が多すぎること(子供・17 歳)
空気が汚い(子供・17 歳)

（子供：共通）問 11. あなたが、20 年後に一番叶えたいことは何ですか。（1つだけ）

【全体】

「好きな仕事をしている」が 36.4％で最も高く、次いで「経済的に豊かな暮らし（十分なお金があって豊かな暮らし）をしている」が 19.1％、「趣味や余暇（自由に使える時間）を楽しんでいる」が 18.6％である。

【学年別】

いずれの学年でも「好きな仕事をしている」の割合が最も高い。

経年比較でみると、小5では「好きな仕事をしている」が 11.5 ポイント減少し、「経済的に豊かな暮らし（十分なお金があって豊かな暮らし）をしている」が 10.3 ポイント、「趣味や余暇（自由に使える時間）を楽しんでいる」が 5.8 ポイント増加している。また、17 歳で「好きな仕事をしている」が 6.0 ポイント減少し、「経済的に豊かな暮らし（十分なお金があって豊かな暮らし）をしている」が 6.5 ポイント増加している。

図表 1-31 20年後に一番叶えたいこと＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「20 年後に一番叶えたいこと」の回答別に子供の幸福度をみると、「結婚している／パートナーと暮らしている」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 72.4%であり、「子供を育てている」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 71.4%である。

図表 1-32　子供の幸福度(「20 年後に一番叶えたいこと」の回答別)

【自由記述】

その他（20年後に一番叶えたいこと）
自然をまもりたい(子供・小3)
社会のためにできることをしたい。(子供・小3)
家ぞくとしんせきと楽しくすごしてわたしはけっこんしている。(子供・小3)
科学をしている(子供・小3)
すきな国地いきですきなしごとをしてくらしている(子供・小3)
元気で笑顔(子供・小5)
芸能人と会うこと(子供・小5)
子供を育てたり仕事をしたりしている。(子供・小5)
犬と暮らす(子供・小5)
平和に暮らしてる(子供・小5)
色々な国にいってみたい(子供・中2)
いじめをなくすこと(子供・中2)
自由に生きる(子供・中2)
充実した日々を送っている(子供・中2)
友達とシェアハウス(子供・中2)
自分のやりたいこと、自分にとって楽しいと思える仕事をしている(子供・中2)
自分のしたいことをしている(子供・17 歳)
自信を持っている大人になっている(子供・17 歳)
子どもの模範になる人間にならる(子供・17 歳)
自分と周りの人が心身ともに健康でいる(子供・17 歳)

（子供：共通）問 12.【問 11 で「好きな仕事をしている」～「趣味や余暇を楽しんでいる」「その他」と答えた方にお聞きします。】
問 11 の答えについて、それが将来的に叶えられていると思いますか。（1つだけ）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 44.4％で最も高く、次いで「そう思う」が 38.3％であり、20 年後に叶えたいと思っていることが、将来的に叶えられていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は 82.7％である。

【学年別】

小3では「そう思う」が 46.4％で最も高く、小5、中2、17 歳では「どちらかといえばそう思う」が最も高く、それぞれ 46.0％、43.5％。48.0％である。

図表 1-33 将来的に叶えられているか＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「将来的に叶えられているか」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」で幸福度【高】(8～10)が 76.9%である。

図表 1-34　子供の幸福度(「将来的に叶えられているか」の回答別)

（子供：17 歳、中2）問 13. あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。（1つだけ）

【全体】

「まだ分からない」が 40.7％で最も高く、「子供を2人育てたい」が 27.5％、「子供を育てたいとは思わない」が 14.5％と続く。

【学年別】

中2、17 歳ともに「まだ分からない」の割合が最も高く、中2では 44.8％と 17 歳より 7.6 ポイント高い。次いで中2、17 歳ともに「子供を2人育てたい」が続いている。

経年比較でみると、中2で、「まだ分からない」が 5.6 ポイント増加している。

図表 1-35 将来、子供を育てたいか＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「将来、子供を育てたいか」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供を 3 人以上育てたい」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 75.2%、「子供を育てたいとは思わない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 15.4%である。

図表 1-36　子供の幸福度(「将来、子供を育てたいか」の回答別)

（子供：17 歳、中2）問 14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。
（1つだけ）

【全体】

「子供を2人育てたい」が 33.6％で最も高く、次いで「まだ分からない」が 29.8％、「子供を3人以上育てたい」が 15.7％である。

【学年別】

中2では「まだ分からない」が 33.2％で最も高く、17 歳では「子供を2人育てたい」が 34.9％で最も高い。

図表 1-37 将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供を3人以上育てたい」では幸福度【高】(8～10)が 68.3%、「子供を育てたいとは思わない」では幸福度【低】(0～3)が 16.7%である。

図表 1-38　子供の幸福度(「将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか」の回答別)

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（A　将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う）

【全体】

「そう思う」が 49.6％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 36.4％であり、将来社会のために役立つ仕事をしたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 85.9％である。

【学年別】

いずれの学年でも「そう思う」の割合が最も高く、小3では将来社会のために役立つ仕事をしたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 89.8％である。

図表 1-39　A　将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「将来、社会のために役立つ仕事をしたい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.2%で、「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 15.2%である。

図表 1-40　子供の幸福度(「将来、社会のために役立つ仕事をしたい」の回答別)

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（B　ボランティアをしたいと思う）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 37.8％で最も高く、次いで「そう思う」が 27.1％であり、ボランティアをしたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 64.9％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、ボランティアをしたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は減少傾向である。

経年比較でみると、小3で「そう思う」が 5.1 ポイント増加し、ボランティアをしたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は 8.7 ポイント増加している。

図表 1-41　B　ボランティアをしたいと思う＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「ボランティアをしたい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が75.7%である。「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が52.6%で、幸福度【低】(0～3)が10.9%である。

図表 1-42　子供の幸福度(「ボランティアをしたい」の回答別)

子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（C　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 37.9％で最も高く、次いで「そう思う」が 31.1％であり、社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 69.0％である。

【学年別】

社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は小3で 64.8％、小5で 72.7％、中2で 70.8％、17 歳で 68.3％である。

図表 1-43　C　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）についての関心がある＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 70.0％である。「そう思わない」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 59.7％で、幸福度【低】（0～3）が 9.0％である。

図表 1-44　子供の幸福度（「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある」の回答別）

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（D　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友人と積極的に議論している）

【全体】

「どちらかといえばそう思わない」が 30.3％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.9％である。社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友人と積極的に議論していない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）子供は 55.0％である。

【学年別】

小3では「どちらかといえばそう思う」が最も高く、小5、中2、17 歳では「どちらかといえばそう思わない」が最も高い。

経年比較でみると、小3で「そう思わない」が 5.0 ポイント減少している。

図表 1-45　D 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について
家族や友人と積極的に議論している＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友人と積極的に議論している」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 73.6％である。「そう思わない」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 59.2％で、幸福度【低】（0～3）が 8.7％である。

図表 1-46　子供の幸福度（「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友人と積極的に議論している」の回答別）

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（E　未来の社会を良くするために何か行動しようと思う）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 42.5％で最も高く、次いで「そう思う」が 28.4％である。未来の社会を良くするために何か行動しようと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 70.9％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、未来の社会を良くするために何か行動しようと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は減少傾向である。

経年比較でみると、小3で「どちらかといえばそう思う」が 5.9 ポイント増加し、未来の社会を良くするために何か行動しようと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 7.6 ポイント増加している。

図表 1-47　E　未来の社会を良くするために何か行動しようと思う＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「未来の社会を良くするために何か行動しようと思う」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 76.4%で、「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 11.5%である。

図表 1-48　子供の幸福度(「未来の社会を良くするために何か行動しようと思う」の回答別)

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（F　自分の行動で社会を変えられると思う）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 30.9％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 29.5％である。自分の行動で社会を変えられると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 49.8％であり、自分の行動で社会を変えられると思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）子供は 47.9％と二分されている。

【学年別】

学年が上がるにつれて、自分の行動で社会を変えられると思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）子供が増加傾向である。

経年比較でみると、小3で「そう思う」が 6.4 ポイント増加している。

図表 1-49　F　自分の行動で社会を変えられると思う＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の行動で社会を変えられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 77.9%で、「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 11.6%である。

図表 1-50　子供の幸福度(「自分の行動で社会を変えられる」の回答別)

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（G　機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う）

【全体】

「そう思わない」が 28.9％で最も高く、次いで「そう思う」が 27.8％である。機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 51.3％、機会があれば留学や他国で働いてみたいと思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）子供は 46.7％と二分されている。

【学年別】

機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は、17 歳が 58.4％で最も高い。

図表 1-51　G　機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「機会があれば留学や他国で働いてみたい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.5%である。「そう思わない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 59.0%で、幸福度【低】(0～3)は 8.5%である。

図表 1-52　子供の幸福度(「機会があれば留学や他国で働いてみたい」の回答別)

（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（A　学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ）

【全体】

「そう思う」が 54.1％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.7％であり、学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 86.8％である。

【学年別】

小3、小5、中2で「そう思う」の割合が最も高くなっており、学年が上がるにつれて減少傾向である。

図表 1-53　A　学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.8%で、「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 27.0%である。

図表 1-54　子供の幸福度(「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」の回答別)

（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（B　学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 33.5％で最も高く、次いで「そう思う」が 29.7％である。学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたいと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 63.1％である。

【学年別】

「そう思う」の割合は学年が上がるにつれて減少傾向である。

経年比較でみると、小5で「どちらかといえばそう思わない」が 5.7 ポイント減少し、中2では「そう思う」が 6.1 ポイント増加、「そう思わない」が 5.0 ポイント減少している。

図表 1-55　B　学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.6%である。「そう思わない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 65.0%で、幸福度【低】(0～3)が 7.4%である。

図表 1-56　子供の幸福度(「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」の回答別)

（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（C　学ぶことが楽しい）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 37.8％で最も高く、次いで「そう思う」が 32.2％であり、学ぶことが楽しいと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 70.0％である。

【学年別】

小3では「そう思う」が最も高く、小5、中2、17 歳では「どちらかといえばそう思う」が最も高い。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、小3では 78.4％、小5では 72.1％、中2では 63.0％、17 歳では 65.2％である。

経年比較でみると、「そう思う」は、中 2 で 5.9 ポイント増加している。

図表 1-57　C　学ぶことが楽しい

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「学ぶことが楽しい」の回答別に幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 78.5%である。「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 18.8%である。

図表 1-58　子供の幸福度(「学ぶことが楽しい」の回答別)

（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（D　良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない）

【全体】

「そう思う」が 61.4％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.0％であり、良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけないと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 88.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「そう思う」が最も高く、中2では 63.5％である。

経年比較でみると、「そう思う」が小3で 10.6 ポイント、小5で 7.6 ポイント、中2で 6.1 ポイント増加している。また、中2では「どちらかといえばそう思う」が 6.1 ポイント減少している。

図表 1-59　D　良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.3%で、「そう思わない」と回答した子供では、幸福度【低】(0～3)が 16.5%である。

図表 1-60　子供の幸福度(「良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない」の回答別)

（子供：共通）問 17. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。（1つだけ）

【全体】

「大学卒業後」が 51.7％で最も高く、次いで「まだ分からない」が 23.5％、「高校卒業後」が 9.3％である。

【学年別】

いずれの学年でも「大学卒業後」の割合が最も高く、学年が上がるにつれて増加傾向である。「まだ分からない」は学年が上がるにつれて減少傾向である。

経年比較でみると、小3と小5で「大学卒業後」がそれぞれ 7.2 ポイントと 10.5 ポイント増加し、「まだ分からない」は 8.1 ポイントと 7.0 ポイント減少している。

図表 1-61　社会に出て働くタイミング＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「社会に出て働くタイミング」の回答別に子供の幸福度をみると、「大学卒業後」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 65.5%である。

図表 1-62　子供の幸福度(「社会に出て働くタイミング」の回答別)

【自由記述】

その他（社会に出て働くタイミング）
中学2年か3年(子供・小3)
今すぐモデルになりたい(子供・小3)
20さいから(子供・小3)
けっこんしてから(子供・小3)
大学に入れなかったばあい(子供・小3)
大学2年生(子供・小5)
できるならいつでも(子供・小5)
出ていきたくない(子供・小5)
専門or大学卒業後(子供・中2)
大学または大学院(子供・中2)

（子供：共通）問 18. 自分の描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。
（いくつでも）

【全体】

「自分の努力不足」が 37.1％で最も高く、次いで「希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない」が 28.5％、「まだ分からない」が 26.1％である。

【学年別】

「まだ分からない」が小3では 37.3％、小5では 31.8％である。中2、17 歳になると「自分の努力不足」と「希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない」の割合が高くなる。

図表 1-63　将来像や進路を難しくしている問題＜複数回答＞

(%)

		n	進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）	希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない	保護者の理解が得られない、考え方の違い	自分の健康上の問題	自分の努力不足	その他	まだ分からない
全　体		3,804	23.6	28.5	5.7	8.7	37.1	1.1	26.1
学年	小3	1,018	19.9	19.2	4.0	9.6	18.1	0.8	37.3
	小5	942	26.1	22.0	4.7	10.7	29.5	1.1	31.8
	中2	849	21.6	35.2	6.7	6.2	48.9	0.8	22.4
	17歳	995	26.7	38.6	7.5	8.0	53.7	1.8	12.2
区市町村	区　部	2,441	22.9	27.6	5.7	9.3	37.4	1.1	26.1
	市町村部	1,363	24.9	30.2	5.8	7.7	36.6	1.2	26.0

		特に問題はない	無回答／不明	将来像や進路に問題がある（計）
全　体		11.4	0.9	61.7
学年	小3	17.9	1.7	43.1
	小5	13.8	0.3	54.0
	中2	6.7	0.7	70.2
	17歳	6.5	0.7	80.6
区市町村	区　部	11.8	1.1	61.0
	市町村部	10.6	0.5	62.8

※将来像や進路に問題がある（計）は、「進学費用が足りないなどの経済的な問題」～「自分の努力不足」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「将来像や進路を難しくしている問題」の回答別に子供の幸福度をみると、「特に問題はない」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 80.2%である。何らか「将来像や進路に問題がある(計)」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 60.0%である。

図表 1-64　子供の幸福度(「将来像や進路を難しくしている問題」の回答別)

【自由記述】

その他（将来像や進路を難しくしている問題）
まだしょう来なにになろうか考えてない(子供・小3)
安心してはたらけないとおもう(子供・小3)
大学に入学できなかったら(子供・小3)
仕事が消滅してる(子供・小3)
夢を叶えられたとしても、どうすればいいか分からない(子供・小3)
国の平和の問題(子供・小5)
しっかりとしたパートナーが見つかるか不安（運めいの人）(子供・小5)
自しんが不安にまけている。(子供・小5)
自分の描く将来像や進路がない(子供・小5)
親の高齢化(子供・小5)
語学を3ケ国語以上取得できるか(子供・中2)
将来像が分からない(子供・中2)
行きたい学校が大阪(子供・中2)
指定校推薦が多すぎて、一般受験枠が少なすぎるので、がんばっても大学に入れないかもしれない。(子供・中2)
自分のやりたいことや、なりたいものが分からない(子供・中2)
自己肯定感がひくく、自信がない(子供・17 歳)
夢がない(子供・17 歳)
志望校や希望する就職先に受かるかわからない(子供・17 歳)
高校が大学に行くことが当たり前という考え方を押し付けてくる(子供・17 歳)
日本の経済的問題、自然災害等(子供・17 歳)

（子供：17 歳、中2）問 19. 学習や進路に関して、どのようなサポートがあればよいと思いますか。（いくつでも）

【全体】

「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」が 52.4％で最も高く、「家・学校以外で勉強に集中できる場所」が 47.3％、「学費や生活費などの経済的な支援」41.6％と続いている。

【学年別】

中2と 17 歳のいずれでも「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」が最も高い。

図表 1-65　学習や進路に関してあったら良いサポート＜複数回答＞

(%)

		n	勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人	家・学校以外で勉強に集中できる場所	学費や生活費などの経済的な支援	学校に行きづらい人でも勉強できる場所	グローバル・デジタルなど先端・専門的な分野が学べる機会	体験学習（芸術文化・ビジネス体験など）ができる機会	その他
全　体		1,844	52.4	47.3	41.6	24.3	21.3	27.9	1.0
学年	中2	849	55.5	46.1	38.2	26.1	22.5	31.8	1.3
	17歳	995	49.7	48.4	44.6	22.7	20.3	24.5	0.8
区市町村	区　部	1,156	50.9	44.4	40.0	23.3	21.7	27.9	1.2
	市町村部	688	54.9	52.3	44.5	26.0	20.6	27.9	0.7

		特にない	無回答／不明	サポート希望あり（計）
全　体		10.5	0.7	88.8
学年	中2	11.7	0.9	87.4
	17歳	9.4	0.5	90.1
区市町村	区　部	11.6	0.9	87.5
	市町村部	8.6	0.4	91.0

※サポート希望あり（計）は「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」～「体験学習（芸術文化・ビジネス体験など）ができる機会」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「学習や進路に関してあったら良いサポート」の回答別に子供の幸福度をみると、「サポート希望あり(計)」の子供では幸福度【高】(8～10)が 57.4%である。

図表 1-66　子供の幸福度(「学習や進路に関してあったら良いサポート」の回答別)

【自由記述】

その他（学習や進路に関してあったら良いサポート）
クラスを教科別でレベル別で少人数にして欲しい(子供・中2)
自分を必要ないと思っている人でも、安心出来るアットホームな場所(子供・中2)
自分で努力すること(子供・中2)
友達としゃべりながら楽しく勉強できる場所があるといい(子供・中2)
お金について学ぶ機会(子供・中2)
面接体験(子供・17 歳)
友達と教え合いながら勉強できる場所(子供・17 歳)
自由に使える防音の個室(子供・17 歳)
様々な人と交流できたり、話が聞ける機会(子供・17 歳)
大学の説明会を学校の授業で聞いてみたい(子供・17 歳)

（子供：17 歳）問 20. あなたは学校に所属または就労（アルバイトを含む）していますか。（1つだけ）
学校に所属しながら就労している場合は「学校に所属している」を選択してください。学校には通信制や定時制を含み、実際に登校している頻度は問いません。

※上記の設問は、17 歳のみを対象としている設問のため、【学年別】は除いている。

【全体】

「学校に所属している」は 94.7%、「どちらでもない」が 3.6%、「就労している」が 1.1%である。

図表 1-67 「学校（通信制や定時制を含む）所属または就労の有無＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「学校所属または就労の有無」の回答別に子供の幸福度をみると、「学校に所属している」と回答した子供では、幸福度【高】(8～10)が 54.2%である。

図表 1-68　子供の幸福度(「学校(通信制や定時制を含む)所属または就労の有無」の回答別)

（子供：共通）問 21.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたは学校または職場が好きですか。（1つだけ）

【全体】

「好き」が 40.9％で最も高く、次いで「とても好き」が 31.8％であり、学校または職場が好き（「とても好き」と「好き」の割合）と回答した子供が 72.7％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「とても好き」は減少傾向である。

経年比較でみると、小5で「好き」が 6.4 ポイント増加している。

図表 1-69 学校または職場が好きか＜単一回答＞

※好き（計）は「とても好き」及び「好き」の割合。
　嫌い（計）は「とても嫌い」及び「嫌い」の割合。
※17 歳は令和5年調査と条件分岐が異なるため、全体と 17 歳は経年比較を行っていない。

【子供の幸福度】

「学校または職場が好きか」の回答別に幸福度をみると、「とても好き」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が86.5%で、「好き」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が65.7%である。「とても嫌い」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が38.4%である。

図表 1-70　子供の幸福度(「学校または職場が好きか」の回答別)

（子供：共通）問 22.【問 20 で「学校に所属している」と答えた方にお聞きします。】
学校について、不満に感じることはありますか。（いくつでも）

【全体】

学校について不満に感じることの中では、「友人や先輩・後輩との関係（友人関係に関すること）」が 21.9％で最も高く、次いで「先生の指導力や対応・態度（先生の教え方や言い方が苦手）」が 19.9％、「授業が難しい」が 17.4％、「校則など生活上のルールが厳しい」が 15.8％で続いている。「特にない」は 35.0％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「特にない」が最も高く、それぞれ 45.5％、43.0％、29.4％である。何らか「学校への不満がある（計）」と回答した子供は学年が上がるにつれて増加傾向であり、17 歳では「先生の指導力や対応・態度（先生の教え方や言い方が苦手）」が 29.4％で最も高く、次いで「校則など生活上のルールが厳しい」が 28.0％で続いている。

図表 1-71 学校について不満に感じること＜複数回答＞

(%)

		n	授業が簡単すぎる	授業が難しい	先生の指導力や対応・態度（先生の教え方や言い方が苦手）	友人や先輩・後輩との関係（友人関係に関すること）（苦手な人がいる、仲の良い人がいないなど）	行事に関すること（参加したくない行事があるなど）	雰囲気・居心地	校則など生活上のルールが厳しい
全　体		3,751	9.6	17.4	19.9	21.9	11.6	10.5	15.8
学年	小3	1,018	14.1	15.2	11.5	17.3	8.6	6.5	8.4
	小5	942	14.4	13.1	13.5	24.6	10.1	9.3	6.6
	中2	849	4.4	19.7	26.7	25.0	13.1	12.5	21.4
	17歳	942	4.7	21.9	29.4	21.2	15.0	14.2	28.0
区市町村	区　部	2,405	10.0	16.9	19.3	21.8	11.6	10.3	15.7
	市町村部	1,346	8.9	18.1	21.2	22.0	11.7	10.9	16.0

		施設に関すること（古い・狭い・使いづらいなど）	学校にかかる費用（学費や給食費、授業・部活（クラブ活動）で使う道具など）が高い	その他	特にない	無回答/不明	学校への不満がある（計）
全　体		11.7	8.2	2.1	35.0	1.3	63.7
学年	小3	6.0	2.8	1.9	45.5	2.0	52.6
	小5	5.0	3.1	2.2	43.0	1.2	55.8
	中2	14.0	9.8	1.6	29.4	1.4	69.1
	17歳	22.3	17.9	2.7	20.7	0.7	78.6
区市町村	区　部	10.3	7.7	1.9	35.3	1.7	63.0
	市町村部	14.1	9.1	2.5	34.5	0.7	64.8

※学校への不満がある（計）は、「授業が簡単すぎる」～「学校にかかる費用（学費や給食費、授業・部活で使う道具など）が高い」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「学校について不満に感じること」の回答別に子供の幸福度をみると、「特にない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 77.4%であるが、何らか「学校への不満がある(計)」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 57.2%である。

図表 1-72　子供の幸福度(「学校について不満に感じること」の回答別)

【自由記述】

その他（学校について不満に感じること）
授業中、席についてじっとしているのが嫌(子供・小3)
朝が早い(子供・小3)
ランドセルが重い(子供・小3)
牛乳がぬるい。(子供・小3)
登下校が辛い(子供・小3)
もっと遊ぶ時間がほしい（友達と）(子供・小5)
学校に行くこと、宿題をすることがめんどくさい(子供・小5)
生活上のルールをもっと厳しくしてほしい(子供・小5)
授業が長い(子供・小5)
ノートをとるのが好きではない(子供・小5)
自分が他人にめいわくをかけるのが嫌(子供・中2)
剣道部がないこと(子供・中2)
グローバル化がすすんでいない。昔の考えにこていされている。(子供・中2)
部活動(子供・中2)
不登校の子や馴染めてない子がちらほらいるのが悲しい現実(子供・中2)
課題が多い(子供・17 歳)
先生方よりも上の立場の人の対応。(子供・17 歳)
通学が大変(子供・17 歳)
学食がない。(子供・17 歳)
治安(子供・17 歳)

（子供：共通）問 23.【問 21 で「嫌い」「とても嫌い」と答えた方にお聞きします。】
学校が嫌いで休むことはありますか。（1つだけ）

【全体】

「いいえ」が 64.2％で、「はい」が 35.0％である。

図表 1-73　学校が嫌いで休むことがあるか＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「学校が嫌いで休むことはあるか」の回答別に子供の幸福度をみると、幸福度【低】(0～3)が「はい」と回答した子供では 35.7%で、「いいえ」と回答した子供では 26.0%である。

図表 1-74 子供の幸福度(「学校が嫌いで休むことはあるか」の回答別)

（子供：共通）問 24.【問 23 で「はい」と答えた方にお聞きします。】
1 か月のうち、学校に行かないで休む日はどれくらいありますか。カッコ内に数字を書いてください。

【全体】

学校が嫌いで休むことがある人が学校を休む日数は、「1 日以上5日以下」が 53.6％で最も高く、平均値は 8.80 日である。

図表 1-75 1 か月のうち学校に行かないで休む日＜実数回答＞

【子供の幸福度】

図表 1-76　子供の幸福度（「1 か月のうち学校に行かないで休む日」の回答別）

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（A　自分にとって居心地が良い）

【全体】

「あてはまる」が 42.0％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 41.4％であり、学校や職場が自分にとって居心地が良いと感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 83.4％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「あてはまる」が減少傾向である。

図表 1-77　A　自分にとって居心地が良い＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校や職場が自分にとって居心地が良い」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 83.9%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 29.8%である。

図表 1-78　子供の幸福度(「自分にとって居心地が良い」の回答別)

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（B　自分の意見が言える）

【全体】

「あてはまる」が 44.7％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 36.6％であり、学校や職場で自分の意見が言えると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 81.3％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「あてはまる」が最も高く、47.8％、53.0％、43.0％である。17 歳では「どちらかといえばあてはまる」が 42.9％で最も高い。

経年比較でみると、小 5 で「あてはまる」が 6.4 ポイント増加している。

図表 1-79　B　自分の意見が言える＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校や職場で自分の意見が言える」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 79.2%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 23.3%である。

図表 1-80　子供の幸福度(「自分の意見が言える」の回答別)

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（C　自分の意見が採用される）

【全体】

「どちらかといえばあてはまる」が 41.9％で最も高く、次いで「あてはまる」が 31.8％であり、学校や職場で自分の意見が採用されると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 73.8％である。

【学年別】

小3、中2、17 歳では「どちらかといえばあてはまる」が最も高い。小5では「あてはまる」が 41.1％で最も高い。

図表 1-81　C　自分の意見が採用される＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校や職場で自分の意見が採用される」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 81.6%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 21.7%である。

図表 1-82 子供の幸福度(「自分の意見が採用される」の回答別)

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（D　自分のことを自分で決められる）

【全体】

「あてはまる」が 41.7％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」は 40.5％であり、学校や職場で自分のことを自分で決められると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 82.2％である。

【学年別】

学校や職場で自分のことを自分で決められると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」割合）子供は、小5、中2、17 歳では 83.2％以上である。

図表 1-83　D　自分のことを自分で決められる＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校や職場で自分のことを自分で決められる」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 79.3%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 25.8%である。

図表 1-84　子供の幸福度(「自分のことを自分で決められる」の回答別)

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（E　安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる）

【全体】

「あてはまる」が 46.9％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 33.3％であり、学校や職場で安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 80.2％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、学校や職場で安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は減少傾向である。

図表 1-85　E　安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校や職場に安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 78.4%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 22.6%である。

図表 1-86　子供の幸福度(「安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる」の回答別)

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（F　規則や運営に対しても自分たちの意見を言える）

【全体】

「どちらかといえばあてはまる」が 35.6％で最も高く、次いで「あてはまる」が 33.2％であり、学校や職場で規則や運営に対しても自分たちの意見が言えると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 68.8％である。

【学年別】

小3、小5では「あてはまる」が最も高く、中2、17 歳では「どちらかといえばあてはまる」が最も高い。

経年比較でみると、小5では「あてはまる」が 18.9 ポイント増加しており、「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」が 9.2 ポイント、10.8 ポイントそれぞれ減少している。

図表 1-87　F　規則や運営に対しても自分たちの意見を言える＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校や職場で規則や運営に対しても自分たちの意見を言える」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 79.5%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 18.3%である。

図表 1-88　子供の幸福度(「規則や運営に対しても自分たちの意見を言える」の回答別)

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（G　規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される）

【全体】

「どちらかといえばあてはまる」が 38.0％で最も高く、次いで「あてはまる」が 26.2％である。学校や職場で規則や運営に対しても自分たちの意見が採用されると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 64.2％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばあてはまる」が最も高い。

経年比較でみると、小5で「あてはまる」が 16.1 ポイント、「どちらかといえばあてはまる」が 12.2 ポイント増加し、「どちらかといえばあてはまらない」が 12.2 ポイント、「あてはまらない」が 13.7 ポイント減少している。

図表 1-89　G　規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校や職場で規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 81.3%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 16.9%である。

図表 1-90　子供の幸福度(「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」の回答別)

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　毎日たくさん笑っている）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 37.7％で最も高く、平均値は 7.88 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小5は 42.4％である。平均値は小3では 7.84、小5では 8.23、中2では 7.96、17 歳では 7.52 である。

図表 1-91　A　毎日たくさん笑っている＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「毎日たくさん笑っている」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 91.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-92　子供の幸福度(「毎日たくさん笑っている」の回答別)

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　今の自分は幸せだ）

※上記の設問を、【子供の幸福度】別の集計軸としているため、【子供の幸福度】別は除いている。

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 38.4％で最も高く、平均値は 7.89 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がるにつれて減少傾向である。平均値は小3では 8.27、小5では 8.35、中2では 7.66、17 歳では 7.27 である。

経年比較でみると、小5の平均値が 0.31 高くなっている。

図表 1-93　B　今の自分は幸せだ＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　今の自分の生活に満足している）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 35.3％で最も高く、平均値は 7.68 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小3は 46.1％である。平均値は小3では 8.23、小5では 8.30、中2では 7.38、17 歳では 6.81 である。

経年比較でみると、平均値が小5で 0.26、17 歳で 0.34 高くなっている。

図表 1-94　C　今の自分の生活に満足している＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分の生活に満足している」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の96.1%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の76.2%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-95　子供の幸福度(「今の自分の生活に満足している」の回答別)

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 30.6％で最も高く、平均値は 7.03 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小3は 41.6％である。平均値は小3では 7.72、小5では 7.58、中2では 6.51、17 歳では 6.27 である。

経年比較でみると、17 歳で平均値が 0.49 高くなっている。

図表 1-96　D　今の自分が好きだ

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分が好きだ」の回答別に幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 93.9%が、幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 52.0%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-97　子供の幸福度(「今の自分が好きだ」の回答別)

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　人生を楽しんでいる）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 41.1％で最も高く、平均値は 7.86 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小3は 52.2％である。平均値は小3、小5では 8.45、中2では 7.48、17 歳では 7.05 である。

経年比較でみると、平均値が小5で 0.25、17 歳で 0.35 高くなっている。

図表 1-98　E　人生を楽しんでいる＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「人生を楽しんでいる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 92.3%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 82.8%がで幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-99 子供の幸福度(「人生を楽しんでいる」の回答別)

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　自分は他人から必要とされている）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 24.8％で最も高く、平均値は 6.91 である。

【学年別】

小3、小5、中2では「10」（とてもあてはまる）が最も高く、17 歳は「5」が最も高い。平均値は小3では 7.42、小5では 7.38、中2では 6.62、17 歳では 6.20 である。

図表 1-100　F　自分は他人から必要とされている＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分は他人から必要とされている」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の91.6%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の48.5%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-101　子供の幸福度(「自分は他人から必要とされている」の回答別)

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G　勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 55.3％で最も高く、平均値は 8.52 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小5は 68.9％である。平均値は小3では 8.85、小5では 9.10、中2では 8.41、17 歳では 7.75 である。

図表 1-102　G 勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 79.5%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 43.3%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-103　子供の幸福度(「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」の回答別)

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H　自分には、夢や目標がある）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 47.0％で最も高く、平均値は 7.78 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小3は 61.7％である。平均値は小3では 8.55、小5では 8.45、中2では 7.11、17 歳では 6.92 である。

経年比較でみると、17 歳で平均値が 0.43 高くなっている。

図表 1-104　H　自分には、夢や目標がある＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分には、夢や目標がある」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の78.3%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の30.6%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-105　子供の幸福度(「自分には、夢や目標がある」の回答別)

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　自分の考えをしっかり持つことは大事だ）

【全体】

「そう思う」が 68.6％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.0％であり、自分の考えをしっかり持つことは大事だと思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 94.6％である。

【学年別】

いずれの学年でも「そう思う」の割合が最も高くなっており、小5では 71.2％である。

経年比較でみると、中2で「そう思う」が 6.9 ポイント増加しており、「どちらかといえばそう思う」は 6.0 ポイント減少している。

図表 1-106　A　自分の考えをしっかり持つことは大事だ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の考えをしっかり持つことは大事だ」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 72.4%で、「そう思わない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 14.5%である。

図表 1-107　子供の幸福度(「自分の考えをしっかり持つことは大事だ」の回答別)

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

【全体】

「そう思う」が 39.2％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 36.6％となっており、自分の考えを他の人にしっかりと言える（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）子供は 75.8％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「そう思う」の割合が最も高く、17 歳では「どちらかといえばそう思う」の割合が最も高い。

経年比較でみると、小5と中2で「そう思う」がそれぞれ 7.2 ポイント、7.7 ポイント増加し、中2では「どちらかといえばそう思う」が 6.0 ポイント減少し、17 歳では「どちらかといえばそう思わない」が 5.3 ポイント減少している。

図表 1-108　B　自分の考えを他の人にしっかりと言える＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の考えを他の人にしっかりと言える」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 77.3%で、「そう思わない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 19.3%である。

図表 1-109　子供の幸福度(「自分の考えを他の人にしっかりと言える」の回答別)

（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（A　家事）

【全体】

家庭における家事分担について、「男女で同じように担うべき」が 80.5％で最も高く、「分からない」が 9.3％、「主に女性が担うべき」が 8.2％と続く。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中2では 79.5％、17 歳では 81.4％である。

図表 1-110　A　家庭における男女の役割・家事＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・家事」の回答別に子供の幸福度をみると、「男女で同じように担うべき」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 59.5%である。

図表 1-111　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・家事」の回答別)

（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（B　育児）

【全体】

家庭における育児分担について、「男女で同じように担うべき」が 80.0％で最も高く、「主に女性が担うべき」が 9.3％、「分からない」が 9.0％と続く。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中2では 78.1％、17 歳では 81.7％である。

図表 1-112　B　家庭における男女の役割・育児＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・育児」の回答別に子供の幸福度をみると、「男女で同じように担うべき」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 59.0%である。

図表 1-113　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・育児」の回答別)

（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（C 仕事）

【全体】

家庭における仕事分担について、「男女で同じように担うべき」が 73.3％で最も高く、「主に男性が担うべき」が 15.4％、「分からない」が 10.1％と続く。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中2では 71.1％、17 歳では 75.2％である。

図表 1-114 C 家庭における男女の役割・仕事＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・仕事」の回答別に子供の幸福度をみると、「主に男性が担うべき」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 58.8%で、「男女で同じように担うべき」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 58.1%である。

図表 1-115　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・仕事」の回答別)

（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（D　介護）

【全体】

家庭における介護分担について、「男女で同じように担うべき」が 74.7％で最も高く、「分からない」が 19.7％、「主に女性が担うべき」が 2.7％と続く。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中 2 では 71.4％、17 歳では 77.6％である。

図表 1-116　D　家庭における男女の役割・介護＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・介護」の回答別に子供の幸福度をみると、「男女で同じように担うべき」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 58.6%である。

図表 1-117　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・介護」の回答別)

（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（A　パソコン）

【全体】

「自由に使える」が 32.8％で最も高く、次いで「自宅にあるが使うことがない」が 25.3％、「制限はあるが使える」が 18.8％であり、自宅でパソコンが使える（「自由に使える」と「制限はあるが使える」の割合）子供は 51.6％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、自宅でパソコンが使える（「自由に使える」と「制限はあるが使える」の割合）割合が増加傾向である。

経年比較でみると、中2で「自由に使える」が 5.7 ポイント増加し、「制限はあるが使える」は 5.4 ポイント減少している。

図表 1-118　A パソコンの有無・使用状況＜単一回答＞

※使える（計）は「自由に使える」及び「制限はあるが使える」と回答した子供の割合。

【子供の幸福度】

「パソコンの有無・使用状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅にあるが使うことがない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 67.1%である。

図表 1-119　子供の幸福度(「パソコンの有無・使用状況」の回答別)

（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（B　スマートフォン）

【全体】

「自由に使える」が 39.0％で最も高く、次いで「制限はあるが使える」が 38.0％であり、自宅でスマートフォンが使える（「自由に使える」と「制限はあるが使える」の割合）子供は 77.0％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、自宅でスマートフォンが使える（「自由に使える」と「制限はあるが使える」の割合）割合が増加傾向であり、17 歳では 98.3％である。

図表 1-120　B スマートフォンの有無・使用状況＜単一回答＞

※使える（計）は「自由に使える」及び「制限はあるが使える」の割合。

【子供の幸福度】

「スマートフォンの有無・使用状況」」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅にあるが使うことがない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 73.9%である。

図表 1-121　子供の幸福度(「スマートフォンの有無・使用状況」の回答別)

（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（C タブレット）

【全体】

「自由に使える」が 39.9％で最も高く、次いで「制限はあるが使える」が 32.1％であり、自宅でタブレットが使える（「自由に使える」と「制限はあるが使える」の割合）子供は 72.0％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「自由に使える」の割合が増加傾向である。

図表 1-122 タブレットの有無・使用状況＜単一回答＞

※使える（計）は「自由に使える」及び「制限はあるが使える」の割合。

【子供の幸福度】

「タブレットの有無・使用状況」」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅にあるが使えない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 9.9%である。

図表 1-123　子供の幸福度(「タブレットの有無・使用状況」の回答別)

（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ 1 つ）
（D インターネット接続（Wi-Fi など））

【全体】

「自由に使える」が 69.2％で最も高く、次いで「制限はあるが使える」が 19.7％であり、自宅でインターネット接続（Wi-Fi など）を使うことができる（「自由に使える」と「制限はあるが使える」の割合）子供は 88.9％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、自宅でインターネット接続（Wi-Fi など）を使うことができる（「自由に使える」と「制限はあるが使える」の割合)割合が増加傾向であり、中2で 97.5％、17 歳で 98.5％である。

経年比較でみると、小5で「自由に使える」が 8.8 ポイント増加し、「制限はあるが使える」が 5.0 ポイント減少している。

図表 1-124 D インターネット接続（Wi-Fi など）の有無・使用状況＜単一回答＞

※使える（計）は「自由に使える」及び「制限はあるが使える」の割合。

【子供の幸福度】

「インターネット接続（Wi-Fi など）の有無・使用状況」」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅にあるが使うことがない」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 73.1％である。

図表 1-125　子供の幸福度（「インターネット接続（Wi-Fi など）の有無・使用状況」の回答別）

（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（E 家庭用ゲーム機）

【全体】

「自由に使える」が 43.2％で最も高く、次いで「制限はあるが使える」が 35.4％であり、家庭用ゲーム機を使うことができる（「自由に使える」と「制限はあるが使える」の割合）子供は 78.6％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「自由に使える」の割合が増加傾向である。

図表 1-126 E 家庭用ゲーム機の有無・使用状況＜単一回答＞

※使える（計）は「自由に使える」及び「制限はあるが使える」の割合。

【子供の幸福度】

「家庭用ゲーム機の有無・使用状況」」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅にあるが使えない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 47.0%である。

図表 1-127　子供の幸福度(「家庭用ゲーム機の有無・使用状況」の回答別)

（子供：共通）問 29. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（F テレビ）

【全体】

「自由に使える」が 75.8％で最も高く、次いで「制限はあるが使える」が 18.8％であり、自宅でテレビを使える（「自由に使える」と「制限はあるが使える」の割合）子供は 94.5％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「自由に使える」の割合が増加傾向である。

図表 1-128 F テレビの有無・使用状況＜単一回答＞

※使える（計）は「自由に使える」及び「制限はあるが使える」の割合。

【子供の幸福度】

「テレビの有無・使用状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅にあるが使うことがない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 53.4%、幸福度【低】(0～3)が 10.2%である。

図表 1-129　子供の幸福度(「テレビの有無・使用状況」の回答別)

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

【全体】

「あてはまる」が 64.2％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 28.2％であり、家族と一緒に心地よい時間を過ごしていると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 92.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」の割合が最も高く、小5では 71.7％である。

図表 1-130　A　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 77.8%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 38.8%である。

図表 1-131　子供の幸福度(「家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別)

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　家では安心して過ごしている）

【全体】

「あてはまる」が 76.8％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 18.1％であり、家では安心して過ごしていると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 94.9％である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」の割合が最も高くなっており、小5では 84.3％である。

経年比較でみると、小5で「あてはまる」が 6.2 ポイント増加し、「どちらかといえばあてはまる」が 5.2 ポイント減少している。

図表 1-132　B　家では安心して過ごしている＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「家では安心して過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 73.4%で、「どちらかといえばあてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 23.7%である。

図表 1-133　子供の幸福度(「家では安心して過ごしている」の回答別)

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている）

【全体】

「あてはまる」が 49.4％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 33.2％であり、保護者は私の人生について、一緒に考えて決めていると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 82.6％である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」が最も高く、学年が上がるにつれて増加傾向である。

図表 1-134　C 私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 75.9%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 18.8%である。

図表 1-135　子供の幸福度(「私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている」の回答別)

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　保護者は私の話を聞いてくれる）

【全体】

「あてはまる」が 69.6％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 23.8％であり、保護者は私の話を聞いてくれると感じている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）子供は 93.3％である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」が最も高く、小5では 77.7％である。

経年比較でみると、小5では「あてはまる」が 7.7 ポイント増加し、「どちらかといえばあてはまる」が 5.4 ポイント減少している。

図表 1-136　D　保護者は私の話を聞いてくれる＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「保護者は私の話を聞いてくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 74.2%で、「あてはまらない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 42.3%である。

図表 1-137　子供の幸福度(「保護者は私の話を聞いてくれる」の回答別)

（子供：共通）問 31.【問 30 の「D　保護者は私の話を聞いてくれる」で「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」と答えた方にお聞きします。】
「保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらないのは、なぜですか。（1つだけ）

【全体】

「親と意見が合わない」が 25.6％で最も高く、「話しかけてもちゃんと聞いてくれない」が 18.7％、「親が忙しく、自分と話す時間がない」が 16.4％と続く。

【学年別】

中2、17 歳では「親と意見が合わない」が最も高く、中2で 25.0％、17 歳で 39.5％である。

図表 1-138 「保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらない理由＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「『保護者は私の話を聞いてくれる』があてはまらない理由」の回答別に子供の幸福度をみると、「親と意見が合わない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 32.1%、幸福度【高】(8～10)が 28.6%である。

図表 1-139　子供の幸福度(「『保護者は私の話を聞いてくれる』があてはまらない理由」の回答別)

【自由記述】

その他（「保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらない理由）
話さない(子供・小5)
話しかけづらい(子供・中2)
聞こえていないときがある(子供・中2)
自分から話さない(子供・中2)
母親が父親とは会わせてくれない。(子供・中2)
何を話していいかわからない(子供・17 歳)

（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　友達との関係は良好である）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 45.9％で最も高く、平均値は 8.35 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小 5 では 53.3％である。平均値は小 3 で 8.61、小5で 8.66、中2で 8.20、17 歳で 7.93 である。

経年比較でみると、小3で平均値が 0.25 低くなっている。

図表 1-140　A 友達との関係は良好である＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「友達との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の84.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-141　子供の幸福度(「友達との関係は良好である」の回答別)

（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　家族との関係は良好である）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 55.5％で最も高く、平均値は 8.71 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小3では 66.4％である。平均値は小 3 で 9.13、小5で 9.15、中2で 8.42、17 歳で 8.12 である。

経年比較でみると、小5で平均値が 0.22 高くなっている。

図表 1-142　B　家族との関係は良好である＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「家族との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の82.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-143　子供の幸福度(「家族との関係は良好である」の回答別)

（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 33.9％で最も高く、平均値は 7.81 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小 5 では 39.0％である。平均値は小 3 で 8.06、小5で 8.20、中2で 7.64、17 歳で 7.34 である。

経年比較でみると、小3で平均値が 0.26 低くなり、小5では平均値が 0.30 高くなっている。

図表 1-144　C　学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 88.5%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 39.0%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-145　子供の幸福度(「学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である」の回答別)

（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　地域の人との関係は良好である）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 21.7％で最も高く、平均値は 6.52 である。

【学年別】

小3、小5では「10」（とてもあてはまる）が最も高く、中2、17 歳では「5」が最も高い。平均値は小 3 で 6.84、小5で 6.94、中2で 6.32、17 歳で 5.98 である。

経年比較でみると、小5で平均値が 0.35 高くなっている。

図表 1-146　D 地域の人との関係は良好である＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「地域の人との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の89.2%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 25.6%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-147　子供の幸福度(「地域の人との関係は良好である」の回答別)

（子供：共通）問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

【全体】

「自分の部屋以外の家の中」が 71.6％で最も高く、次いで「自分の部屋」が 67.6％、「祖父母・親戚の家」が 46.4％と続く。

【学年別】

中2、17 歳では「自分の部屋」が最も高いが、小3、小5では「自分の部屋以外の家の中」が最も高い。

図表 1-148 あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）＜複数回答＞

（%）

		n	自分の部屋	自分の部屋以外の家の中	祖父母・親戚の家	友達の家	学校の教室	教室以外の学校内の場所	（17歳）職場・アルバイト先
全　体		3,804	67.6	71.6	46.4	27.5	38.4	26.1	0.8
学年	小3	1,018	45.7	80.8	56.5	31.9	49.9	28.1	－
	小5	942	60.4	78.6	57.6	38.5	46.4	32.9	－
	中2	849	80.4	64.4	41.9	25.3	31.4	22.9	－
	17歳	995	85.9	61.6	29.3	14.5	24.9	20.2	3.1
区市町村	区　部	2,441	67.2	71.7	46.4	27.6	38.1	26.2	0.8
	市町村部	1,363	68.3	71.4	46.5	27.4	38.9	25.8	0.8

		地域（図書館、公民館、児童館、公園など）	学習塾・習い事の場所	インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）	飲食店・商業施設	その他	居場所はない	無回答/不明	居場所がある（計）
全　体		29.7	22.0	23.8	11.2	1.9	0.6	0.7	98.7
学年	小3	44.6	32.5	15.2	15.7	2.0	0.6	1.4	98.0
	小5	40.1	31.0	20.2	9.9	1.7	0.1	0.8	99.0
	中2	20.5	15.3	29.8	10.8	1.9	1.3	0.4	98.4
	17歳	12.4	8.3	31.1	8.1	1.9	0.5	0.2	99.3
区市町村	区　部	29.7	22.5	24.0	11.2	1.8	0.6	0.9	98.4
	市町村部	29.6	21.1	23.5	11.2	2.1	0.6	0.3	99.1

※居場所がある（計）は「自分の部屋」～「飲食店・商業施設」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「居場所がある（計）」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）が 64.5％である。

図表 1-149 子供の幸福度（「居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）」の回答別）

【自由記述】

その他（居場所（ほっとできる場所、安心できる場所））
ねるへや(子供・小3)
自分の家(子供・小3)
昆虫がいるところ(子供・小3)
おふとんの中や、せまくてあったかいばしょ(子供・小3)
ままといっしょ。(子供・小3)
トイレ(子供・小5)
家の中(子供・小5)
自然がある場所(子供・小5)
だがしや(子供・小5)
家族のそばにいること。(子供・小5)
独りでいるとき(子供・中2)
動物がいる場所(子供・中2)
通院している病院(子供・中2)
友達といるならどこでも安心できる(子供・中2)
家(子供・中2)
自分の家のベッド(子供・17 歳)
誰もいない空間(子供・17 歳)
友達がいるならどこでも(子供・17 歳)
家の近く(子供・17 歳)
車の中(子供・17 歳)

（子供：共通）問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

※上記の設問で回答した選択肢の数を居場所の数として集計を行った。

【全体】

居場所の数は、「3カ所」が 20.9％で最も多く、次いで「2カ所」が 20.4％、「4カ所」が 14.2％である。

【学年別】

小3、小5、中 2 では「3 カ所」、17 歳では「2カ所」が最も高い。

図表 1-150 居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）の数

（%）

		n	1カ所	2カ所	3カ所	4カ所	5カ所	6カ所	7カ所
全　体		3,804	12.9	20.4	20.9	14.2	10.5	7.8	5.5
学年	小3	1,018	12.1	16.7	17.8	12.6	11.6	9.9	7.8
	小5	942	9.2	16.6	18.2	13.6	13.8	9.9	8.4
	中2	849	13.3	21.3	23.2	15.8	9.1	6.8	4.7
	17歳	995	16.8	26.9	24.6	15.1	7.4	4.5	1.3
区市町村	区　部	2,441	13.0	20.2	20.7	14.1	9.8	7.9	6.1
	市町村部	1,363	12.6	20.8	21.1	14.3	11.7	7.6	4.6

		8カ所	9カ所	10カ所以上	居場所はない	無回答/不明
全　体		3.9	1.7	0.9	0.6	0.7
学年	小3	5.8	2.8	1.1	0.6	1.4
	小5	6.5	2.3	0.6	0.1	0.8
	中2	1.6	1.2	1.3	1.3	0.4
	17歳	1.4	0.6	0.6	0.5	0.2
区市町村	区　部	4.0	1.8	0.7	0.6	0.9
	市町村部	3.7	1.6	1.2	0.6	0.3

【子供の幸福度】

「居場所の数」別に子供の幸福度をみると、居場所の数が増えるほど、幸福度【高】(8～10)の割合が増加傾向である。

図表 1-151　子供の幸福度(「居場所(ほっとできる場所、安心できる場所)の数」の回答別)

（子供：共通）問 34. 最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）

【全体】

「いつも」が 35.3％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 32.3％であり、最近2週間を明るく、楽しい気分で過ごした（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は 67.6％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、最近2週間を明るく、楽しい気分で過ごした（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は減少傾向である。

経年比較でみると、小5で「いつも」が 5.4 ポイント増加している。

図表 1-152　A　明るく、楽しい気分で過ごした＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 90.2%で、「ほんのたまに」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 41.7%である。

図表 1-153　子供の幸福度(「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別)

（子供：共通）問 34. 最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）

【全体】

「ほとんどいつも」が 30.4％で最も高く、次いで「いつも」が 29.9％であり、最近2週間を落ち着いた、リラックスした気分で過ごした（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は 60.3％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、最近2週間を落ち着いた、リラックスした気分で過ごした（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は減少傾向である。

経年比較でみると、中2では「いつも」が 5.0 ポイント増加し、「ほとんどいつも」が 6.0 ポイント減少している。また、17 歳では「ほとんどいつも」が 5.8 ポイント増加している。

図表 1-154　B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 88.9%で、「全くない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 35.5%である。

図表 1-155　子供の幸福度(「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別)

（子供：共通）問 34. 最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　意欲的で、活動的に過ごした）

【全体】

「いつも」が 36.3％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」の 26.3％であり、最近2週間を意欲的で、活動的に過ごした（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は 62.5％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、最近2週間を意欲的で、活動的に過ごした（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は減少傾向である。

図表 1-156　C　意欲的で、活動的に過ごした＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 87.2%で、「全くない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 36.9%である。

図表 1-157　子供の幸福度(「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別)

（子供：共通）問 34. 最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）

【全体】

「いつも」が 28.1％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 23.7％であり、最近2週間をぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は 51.8％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、最近2週間をぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は減少傾向である。

経年比較でみると、小5で「ほとんどいつも」が 5.4 ポイント増加し、「ほんのたまに」が 5.2 ポイント減少している。

図表 1-158　D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 85.6%で、「全くない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 27.6%である。

図表 1-159　子供の幸福度(「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別)

（子供：共通）問 34. 最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

【全体】

「いつも」が 32.6％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 22.6％であり、最近2週間で、日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は 55.2％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、最近2週間で、日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）子供は減少傾向である。

経年比較でみると 17 歳で「半分以下の期間を」が 5.0 ポイント減少している。

図表 1-160　E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 84.8%で、「全くない」と回答した子供では幸福度【低】(0～3)が 28.0%である。

図表 1-161　子供の幸福度(「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別)

（子供：共通）問 35. あなたは今、悩んでいることはありますか。（いくつでも）

【全体】

「勉強に関すること」が 44.9％で最も高く、「将来に関すること」が 28.3％、「進学に関すること」が 27.5％と続く。

【学年別】

「勉強に関すること」については、学年が上がるにつれて増加し、小3では 18.4％、小5では 32.7％、中2では 61.4％、17 歳では 69.4％である。「将来に関すること」については、小3では 15.6％であるが、学年が上がるにつれて増加し、17 歳では 44.5％である。また、「進学に関すること」については、17 歳では 58.3％であり、他の学年より 22.7 ポイント以上高い。なお、小3では 48.1％が「悩みはない」と回答している。

経年比較でみると、17 歳で「勉強に関すること」が 6.3 ポイント減少している。また、小5、中2、17 歳に聞いた「部活（クラブ活動）に関すること」も、17 歳で 5.1 ポイント減少している。

図表 1-162 今、悩んでいること＜複数回答＞

(%)

			n	勉強に関すること	(17歳)仕事に関すること	友達に関すること	家族に関すること	学校に関すること	(17歳、中2、小5)部活(クラブ活動)に関すること	塾・習い事に関すること
全体		令和6年	3,804	44.9	3.9	22.0	8.3	15.0	11.1	13.7
		令和5年	2,036	45.0	2.9	22.5	9.9	16.0	12.5	12.4
学年	小3	令和6年	1,018	18.4		14.6	4.3	9.3		10.8
		令和5年	542	21.4		15.5	5.9	9.0		9.2
	小5	令和6年	942	32.7		20.6	6.4	10.4	1.8	16.9
		令和5年	594	30.8		20.9	7.9	13.0	2.9	13.5
	中2	令和6年	849	61.4		26.5	11.1	18.7	21.3	15.8
		令和5年	526	63.5		27.2	13.3	20.5	25.7	13.7
	17歳	令和6年	995	69.4	14.9	27.1	12.0	22.1	22.4	11.9
		令和5年	374	75.7	15.8	28.9	13.9	24.3	27.5	13.6
区市町村	区部		2,441	45.8	3.6	21.3	8.6	14.5	10.2	13.9
	市町村部		1,363	43.2	4.3	23.3	7.9	16.1	12.5	13.3

			進学に関すること	(17歳)就職に関すること	恋愛に関すること	お金に関すること	自分の体や性に関すること	将来に関すること	インターネットやSNSの人間関係に関すること	(戦争や事件などの)ニュースに関すること
全体		令和6年	27.5	5.6	11.6	17.7	9.8	28.3	3.2	12.0
		令和5年	26.4	4.0	12.7	18.5	11.9	28.0	4.1	14.1
学年	小3	令和6年	4.3		4.4	9.3	8.8	15.6	1.7	13.9
		令和5年	4.4		5.7	11.4	11.8	14.0	2.8	13.8
	小5	令和6年	12.8		9.9	12.2	7.4	20.0	2.4	13.9
		令和5年	15.8		9.9	13.5	10.6	23.7	2.9	18.2
	中2	令和6年	35.6		13.8	21.4	10.1	33.9	4.4	11.3
		令和5年	36.9		16.0	21.5	10.5	32.1	4.9	12.5
	17歳	令和6年	58.3	21.5	18.7	28.1	12.7	44.5	4.5	8.8
		令和5年	60.4	21.9	22.5	32.4	16.3	49.2	7.0	10.2
区市町村	区部		27.0	5.3	10.5	18.1	9.7	28.1	3.4	12.0
	市町村部		28.5	6.2	13.6	16.9	9.9	28.8	2.9	12.0

			その他	悩みはない(R6のみ)	無回答/不明	悩んでいることがある(計)
全体		令和6年	1.4	28.4	1.1	70.5
		令和5年	2.6		30.8	69.2
学年	小3	令和6年	1.0	48.1	1.8	50.1
		令和5年	2.2		48.7	51.3
	小5	令和6年	1.6	36.5	1.2	62.3
		令和5年	2.7		37.9	62.1
	中2	令和6年	1.4	19.2	0.7	80.1
		令和5年	2.3		19.4	80.6
	17歳	令和6年	1.6	8.4	0.7	90.9
		令和5年	3.2		9.9	90.1
区市町村	区部		1.1	28.1	1.5	70.4
	市町村部		1.8	29.0	0.4	70.6

※悩んでいることがある(計)は、「勉強に関すること」～「(戦争や事件などの)ニュースに関すること」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「今、悩んでいること」の回答別に幸福度をみると、悩みがない子供は、幸福度【高】(8～10)が 78.2%である。何らか「悩んでいることがある(計)」と回答した子供は、幸福度【高】(8～10)が 58.6%である。

図表 1-163　子供の幸福度(「今、悩んでいること」の回答別)

【自由記述】

その他（今、悩んでいること）
地震がこわい(子供・小3)
かってにしらない家につれてかれること。(子供・小3)
天災(子供・小3)
やることやってなくておこられる(子供・小3)
わからない(子供・小3)
自然災害(子供・小5)
遊ぶ場所が少い(子供・小5)
身分があること(子供・小5)
地震や火事のサイレンがこわい(子供・小5)
病気の事(子供・小5)
忙しい(子供・中2)
バスケについて(子供・中2)
自分の性格のこと(子供・中2)
日常生活に関すること(子供・中2)
地震や津波などの自然災害に関すること(子供・中2)
睡眠時間をもっと確保したい(子供・17 歳)
日本社会のこと(子供・17 歳)
人の目に関すること(子供・17 歳)
今の日本の社会情勢(子供・17 歳)
健康のこと(子供・17 歳)

（子供：共通）問 36. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

【全体】

過去1年以内に嫌な経験をしたことがある中では、「暴言や傷つくことを言われた」が 23.1％で最も高く、次いで「無視をされた」が 13.0％、「暴力を受けた」が 8.2％、「いじめを受けた」が 7.4％で続く。「特に嫌な経験はしていない」は 66.6％である。

【学年別】

いずれの学年でも「特に嫌な経験をしていない」の割合が最も高く、学年が上がるにつれて増加傾向である。

図表 1-164　過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）＜複数回答＞

(%)

		n	暴言や傷つくことを言われた	無視をされた	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	暴力を受けた	その他の嫌な経験
全　体		3,804	23.1	13.0	7.4	2.1	0.3	8.2	2.7
学年	小3	1,018	27.4	17.6	13.2	3.0	－	13.1	3.0
	小5	942	27.8	16.5	10.1	2.5	－	10.8	2.7
	中2	849	21.3	10.4	3.9	1.8	0.7	6.5	2.6
	17歳	995	15.9	7.2	2.1	0.8	0.7	2.2	2.4
区市町村	区　部	2,441	23.9	13.1	7.7	1.7	0.4	8.6	2.3
	市町村部	1,363	21.8	12.8	7.0	2.6	0.2	7.6	3.4

		特に嫌な経験はしていない	無回答/不明	嫌な経験をしたことがある（計）
全　体		66.6	2.0	31.4
学年	小3	58.6	2.1	39.3
	小5	59.9	2.3	37.8
	中2	71.4	1.5	27.1
	17歳	77.2	1.9	20.9
区市町村	区　部	66.1	2.3	31.6
	市町村部	67.6	1.5	31.0

※嫌な経験をしたことがある（計）は「暴言や傷つくことを言われた」～「暴力を受けた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「過去1年以内の嫌な経験（インターネット上を除く）」の回答別に子供の幸福度をみると、「特に嫌な経験はしていない」子供では幸福度【高】（8～10）が 69.1％で、何らか「嫌な経験をしたことがある（計）」と回答した子供では幸福度【高】（8～10）は 54.4％である。

図表 1-165 子供の幸福度（「過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）」の回答別）

【自由記述】

その他（過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く））
ランドセルをかさでたたかれた。（子供・小3）
先生にきびしくされた。（子供・小3）
友人とけんかをした。（子供・小3）
ひいきをされた(子供・小3)
クラスのともだちにやくそくをやぶられた(子供・小3)
子供が先生に暴言を言っているのを聞いた。（子供・小5）
相手にぶつかってけがをした(子供・小5)
プライベートゾーンについて言われた(子供・小5)
担任の先生から差別を受けた(子供・小5)
不登校(子供・小5)
お金をおとした(子供・中2)
物を盗られた(子供・中2)
先生が怖い(子供・中2)
先生の説教(子供・中2)
個人情報を知らない人に言われた(子供・中2)
学校内での窃盗(子供・17 歳)
友人関係(子供・17 歳)
私の存在を尊重されなかった(子供・17 歳)
しらない人に話しかけられた(子供・17 歳)
ちかん(子供・17 歳)

（子供：共通）問 37. あなたは過去 1 年以内に、インターネット上で次のような経験をしたことがありますか。
（いくつでも）

【全体】

過去1年以内にインターネット上で嫌な経験をしたことがある中では、「暴言や傷つくことを言われた」が 4.3％で最も高い。なお、「特に嫌な経験はしていない」は 90.2％である。

【学年別】

いずれの学年でも「特に嫌な経験をしていない」が最も高い。

図表 1-166 過去 1 年以内のインターネット上での嫌な経験＜複数回答＞

(%)

		n	暴言や傷つくことを言われた	無視された・仲間外れにされた	ネット詐欺に遭った（金銭や個人情報などを求められた）（お金を求められたり、個人的なことを聞かれた）	会ったことのない人から会うことを求められた	勝手に自分の写真をアップされた	その他の嫌な経験	特に嫌な経験はしていない
全　体		3,804	4.3	2.0	0.5	1.0	1.0	0.7	90.2
学年	小3	1,018	2.2	2.2	0.3	－	0.1	0.2	93.0
	小5	942	3.1	1.5	0.5	0.2	0.1	0.6	91.8
	中2	849	6.8	2.7	1.1	1.6	1.9	1.3	87.4
	17歳	995	5.4	1.7	0.3	2.1	2.1	0.6	88.1
区市町村	区　部	2,441	4.1	1.9	0.5	1.0	0.8	0.5	90.4
	市町村部	1,363	4.7	2.2	0.6	0.9	1.4	0.9	89.9

		n	無回答／不明	嫌な経験をしたことがある（計）
全　体		3,804	3.0	6.8
学年	小3	1,018	3.4	3.5
	小5	942	3.8	4.4
	中2	849	2.7	9.9
	17歳	995	1.9	9.9
区市町村	区　部	2,441	3.2	6.4
	市町村部	1,363	2.6	7.6

※嫌な経験をしたことがある（計）は「暴言や傷つくことを言われた」～「勝手に自分の写真をアップされた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「過去 1 年以内のインターネット上での嫌な経験」の回答別に子供の幸福度をみると、「特に嫌な経験はしていない」子供では幸福度【高】(8～10)が 65.7%で、何らか「嫌な経験をしたことがある(計)」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 47.3%である。

図表 1-167 子供の幸福度(「過去 1 年以内のインターネット上での嫌な経験」の回答別)

【自由記述】

その他（過去 1 年以内のインターネット上での嫌な経験）
こわいものを見た(子供・小3)
ゲームであおられた。(子供・小5)
通信を切られた(子供・小5)
知らない人からメールがきた(子供・中2)
自分のこじん情ほうをさらされる(子供・中2)
ネッ友同士のけんかに狭まれたこと(子供・中2)
変な質問された(子供・中2)
X で炎上した(子供・中2)
執拗にメッセージを送られた(子供・17 歳)
誹謗中傷をしている様子を目にしてしまった(子供・17 歳)
私のにせものにあった(子供・17 歳)

（子供：共通）問 38. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談する相手は誰ですか。（いくつでも）

【全体】

「母親」が 82.8％で最も高く、「友達や先輩」が 63.1％、「父親」が 56.0％と続く。

【学年別】

小3、小5、中2では「母親」が最も高く、17 歳では「友達や先輩」が最も高い。また、学年が上がるにつれて「友達や先輩」は増加傾向である。

図表 1-168　困ったり悩んだりしたときの相談相手＜複数回答＞

(%)

		n	友達や先輩	きょうだい	母親	父親	祖父母（おじいさん、おばあさん）	親戚（おじさん・おばさんなど）	近所の人	学校の先生・職場の上司	保健室の先生
全　体		3,804	63.1	28.3	82.8	56.0	25.4	10.2	3.8	38.1	10.0
学年	小3	1,018	46.9	30.6	93.2	74.8	38.0	13.5	6.4	54.8	16.3
	小5	942	60.8	32.1	89.7	64.6	32.8	14.2	5.1	43.3	13.6
	中2	849	71.6	26.5	77.6	47.0	18.0	8.1	2.2	32.4	7.2
	17歳	995	74.6	23.7	69.9	36.2	12.0	4.8	1.1	21.1	2.4
区市町村	区　部	2,441	62.3	27.3	83.0	56.0	25.0	9.8	3.3	37.6	9.3
	市町村部	1,363	64.6	29.9	82.3	55.8	26.3	11.0	4.6	39.2	11.2

		相談員（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど）	放課後児童クラブ（学童保育）・児童館の職員	塾や習い事の先生	インターネットやSNSで知り合った人	NPO法人、ボランティアの人/ボランティアの団体	その他	相談できる人はいない	無回答/不明	相談する人がいる（計）
全　体		10.6	4.9	8.4	2.8	1.0	1.2	3.0	0.5	96.5
学年	小3	11.0	11.7	11.1	0.3	1.1	0.5	1.0	0.5	98.5
	小5	17.8	5.3	9.6	1.5	1.4	1.3	1.7	0.2	98.1
	中2	9.9	1.5	7.8	3.9	0.6	1.6	4.0	0.6	95.4
	17歳	4.0	0.4	5.2	5.5	0.8	1.5	5.5	0.6	93.9
区市町村	区　部	10.5	4.9	8.2	2.6	0.8	1.1	2.7	0.6	96.7
	市町村部	10.8	4.9	8.8	3.1	1.3	1.4	3.6	0.2	96.2

※相談する人がいる（計）は「友達や先輩」～「NPO 法人、ボランティアの人」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「困ったり悩んだりしたときの相談相手」の回答別に子供の幸福度をみると、「相談できる人はいない」子供では幸福度【低】(0～3)が 34.8%、誰か「相談する人がいる(計)」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 65.6%である。

図表 1-169　子供の幸福度(「困ったり悩んだりしたときの相談相手」の回答別)

【自由記述】

その他（困ったり悩んだりしたときの相談相手）
犬(子供・小3)
友達の母親(子供・小3)
そうだんしたことない！(子供・小3)
そもそもこまらない99パーセント(子供・小3)
自分に言いきかせる(子供・小3)
AI（会話ができる）(子供・小5)
放課後ディサービスの先生(子供・小5)
メンタルクリニックの先生(子供・小5)
子育て支援センター(子供・小5)
学校の主事さん(子供・小5)
AI(子供・中2)
通院先の主治医(子供・中2)
なやみ事がない(子供・中2)
フリースクールの先生(子供・中2)
知り合い(子供・中2)
相談しない(子供・17 歳)
ぬいぐるみ(子供・17 歳)
母の友達(子供・17 歳)
一人で解決することがほとんど(子供・17 歳)
彼女(子供・17 歳)

（子供：共通）問 39.【問 38 で「友達や先輩　」～「NPO 法人、ボランティアの人」「その他」と答えた方にお聞きします。】
あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いますか。（1つだけ）

【全体】
「5人以上」が 56.0％で最も高く、次いで、「3人」が 14.2％、「2人」が 13.5％である。

【学年別】
いずれの学年でも「5人以上」が最も高く、いずれも 53.5％以上である。

図表 1-170　困ったり悩んだりしたときに相談できる人数＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「困ったり悩んだりしたときに相談できる人数」の回答別に子供の幸福度をみると、相談できる人数が増えるほど幸福度【高】(8～10)は増加傾向である。

図表 1-171 子供の幸福度(「困ったり悩んだりしたときに相談できる人数」の回答別)

（子供：共通）問 40. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）
（A　起きる時間）

【全体】

「午前7時～7時 29 分」が 31.2％で最も高く、次いで「午前6時 30 分～6時 59 分」が 29.8％、「午前6時～6時 29 分」が 20.3％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「午前7時～7時 29 分」の割合が最も高く、17 歳では「午前6時 30 分～6時 59 分」が最も高い。

図表 1-172　A　起きる時間＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「起きる時間」の回答別に子供の幸福度をみると、幸福度【高】(8～10)が「午前6時 30 分～6時 59 分」で 67.3%、「午前7時～7時 29 分」が 66.8%である。「起きる時間は決まっていない」では幸福度【高】(8～10)が 45.5%である。

図表 1-173　子供の幸福度(「起きる時間」の回答別)

（子供：共通）問 40. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）
（B　寝る時間）

【全体】

「午後9時 30 分～9時 59 分」が 15.1％で最も高く、次いで「午後 10 時～10 時 29 分」が 14.4％、「午後9時～9時 29 分」が 13.3％である。

【学年別】

小3では「午後9時～9時 29 分」が 29.6％、小5では「午後9時 30 分～9時 59 分」が 24.3％、中2では「午後 11 時～11 時 29 分」が 19.7％、17 歳では「午前0時～0時 29 分」が 19.0％でそれぞれ最も高い。

図表 1-174　B　寝る時間＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「寝る時間」の回答別に子供の幸福度をみると、就寝時間が遅くなるほど、幸福度【高】(8～10)が減少傾向である。

図表 1-175　子供の幸福度(「寝る時間」の回答別)

（子供：共通）問 40. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）
（A 起きる時間）（B 寝る時間）

※上記の設問の「A 起きる時間」と「B 寝る時間」の差分から睡眠時間を算出した。

【全体】

睡眠時間は、「9時間以上 10 時間未満」が 31.9%、「8時間以上9時間未満」が 28.9%である。平均値は 8.15 時間である。

【学年別】

小3、小5では「9時間以上 10 時間未満」が、中2では「8時間以上9時間未満」が、17 歳では「7時間以上8時間未満」が、それぞれ最も高い。

睡眠時間の平均値は、学年が上がるにつれて短くなる傾向がある。

図表 1-176 睡眠時間 ＜単一回答＞

※睡眠時間は、「A 起きる時間」の「午前5時～5時 29 分」～「午前8時 30 分～8時 59 分」と、「B 寝る時間」の「午後9時～9時 29 分」～「午前0時 30 分～0時 59 分」の双方のいずれにも回答がある子供について算出した。それぞれ選択肢の中間値を設定し、差分をとっている。

（例）B 寝る時間：午後9時～9時 29 分＝21 時 15 分

A 起きる時間：午前6時～6時 29 分＝6時 15 分

→睡眠時間9時間

なお、時間の幅が他の選択肢に比べて大きく中間値を設定できないため、「A 起きる時間」の「午前0時～4時 59 分」「午前9時～午前 11 時 59 分」～「起きる時間は決まっていない」と、「B 寝る時間」の「午後0時(正午)～午後8時 59 分」「午前1時～午前 11 時 59 分」「寝る時間は決まっていない」は、計算から除外している。

【子供の幸福度】

「睡眠時間」の回答別に子供の幸福度をみると、睡眠時間が「10 時間以上」である子供では幸福度【高】(8～10)が73.0%である。

図表 1-177 子供の幸福度(「睡眠時間」の回答別)

（子供：共通）問 41. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

【全体】

「2時間～3時間未満」が 24.7％で最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が 23.4％、「3時間～4時間未満」が 15.8％である。

【学年別】

小3では「1時間～2時間未満」が 31.4％、小5では「1時間～2時間未満」が 29.7％、中2では「2時間～3時間未満」が 28.6％、17 歳では「2時間～3時間未満」が 22.4％でそれぞれ最も高い。

図表 1-178 平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「1時間未満」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 72.2%で、「8時間以上」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)では 37.2%である。

図表 1-179　子供の幸福度(「平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別)

（子供：共通）問 42. すべての子供は同じひとりの人間としてたくさんの権利を持っています。子供だけが持つ権利もあります。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。

（1つだけ）

【全体】

「少しだけ知っていた」が 30.4％で最も高く、「全く知らなかった」が 28.4％、「よく知っていた」が 22.8％で続く。

【学年別】

小3では「全く知らなかった」が 41.6％で最も高く、小5、中2、17 歳では「少しだけ知っていた」が最も高い。

図表 1-180 子供が権利の主体であることの認知度＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「よく知っていた」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 73.6%である。

図表 1-181　子供の幸福度(「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別)

（子供：共通）問 43. 東京都では、子供の権利が大切にされ、みんなが幸せに過ごせるように「東京都こども基本条例」を定めています。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。（1つだけ）

【全体】

内容を知っていた(「内容をよく知っていた」と「内容を少しだけ知っていた」の割合の合計）子供は、15.6％である。「全く知らなかった」が 68.1％であり、次いで「名前だけ知っていた」が 15.7％である。

【学年別】

いずれの学年も「全く知らなかった」が最も高いが、学年が上がるにつれて減少傾向である。

経年比較でみると、小5、中2、17 歳で「名前だけ知っていた」がそれぞれ 5.0 ポイント、5.3 ポイント、9.1 ポイント減少している。また、17 歳では「全く知らなかった」が 8.5 ポイント増加している。

図表 1-182 東京都こども基本条例の認知度＜単一回答＞

※内容を知っていた（計）は「内容をよく知っていた」及び「内容を少しだけ知っていた」の割合。

【子供の幸福度】

「東京都こども基本条約の認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「内容をよく知っていた」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 75.6%である。

図表 1-183　子供の幸福度(「東京都こども基本条例の認知度」の回答別)

（子供：共通）問 44. あなたは、生成 AI（※）を使用していますか。（1つだけ）
※画像や音声、文章などを学習して、実際に存在するものに似た新しいデータをつくりだす人工知能のこと。ChatGPT や DeepL 翻訳など。

【全体】

「生成AIが何か分からない」が 34.1％で最も高く、次いで「使用したことはないが、今後使用してみたい」が 24.3％、「ときどき使用している」が 18.3％であり、使用している（「よく使用している」と「ときどき使用している」の割合）子供は 23.0％である。

【学年別】

小3、小5では「生成AIが何か分からない」が最も高く、中2では「使用したことはないが、今後使用してみたい」、17歳では「ときどき使用している」がそれぞれ最も高い。また、使用している（「よく使用している」と「ときどき使用している」の割合）子供は学年が上がるにつれて増加傾向である。

図表 1-184 生成AIの使用経験＜単一回答＞

※使用している（計）は「1 よく使用している」及び「2 ときどき使用している」の割合。

【子供の幸福度】

「生成AIの使用経験」の回答別に子供の幸福度をみると、「生成AIが何か分からない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 69.5%である。

図表 1-185　子供の幸福度(「生成AIの使用経験」の回答別)

（子供：共通）問 45. あなたは以下の言葉についてどれくらい知っていますか。（それぞれ1つ）
（A　性自認）

【全体】

「全く知らない」が 58.2％で最も高く、「どのようなものか知っている」が 21.1％、「言葉だけ聞いたことがある」は 19.9％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「全く知らない」が最も高いが、17 歳では「どのようなものか知っている」が最も高い。また、「どのようなものか知っている」は学年が上がるにつれて増加傾向である。

図表 1-186　A 性自認の認知度＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「性自認の認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「全く知らない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が67.1%である。

図表 1-187　子供の幸福度(「性自認の認知度」の回答別)

（子供：共通）問 45. あなたは以下の言葉についてどれくらい知っていますか。（それぞれ1つ）
（B　性的指向）

【全体】

「全く知らない」が 52.9％で最も高く、「言葉だけ聞いたことがある」が 27.1％、「どのようなものか知っている」が 19.0％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「全く知らない」が最も高いが、17 歳では「どのようなものか知っている」が最も高い。また、「どのようなものか知っている」は学年が上がるにつれて増加傾向である。

図表 1-188　B 性的指向の認知度＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「性的指向の認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「全く知らない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 67.3%である。

図表 1-189　子供の幸福度(「性的指向の認知度」の回答別)

（子供：共通）問 45. あなたは以下の言葉についてどれくらい知っていますか。（それぞれ1つ）
（C　LGBTQ）

【全体】

「全く知らない」が 51.6％で最も高く、「どのようなものか知っている」が 29.9％、「言葉だけ聞いたことがある」が 17.5％である。

【学年別】

小3、小5、中2では「全く知らない」が最も高いが、17 歳では「どのようなものか知っている」が最も高く、「どのようなものか知っている」は学年が上がるにつれて増加傾向である。

図表 1-190　C　LGBTQの認知度＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「LGBTQの認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「全く知らない」と回答した子供では幸福度【高】(8～10)が 68.8%である。

図表 1-191　子供の幸福度(「LGBTQの認知度」の回答別)

2. 保護者編

（保護者：共通）問1．あなたと、お子様の関係は次のうちどれですか。（1 つだけ）

【全体】

「母」が 82.2％で最も高く、次いで「父」が 17.3％である。

【学年別】

いずれの学年でも「母」が 80.5％以上で、最も高い。

経年比較でみると、17 歳では「父」が 5.0 ポイント減少している。

図表 2-1 あなたと、お子様の関係は次のうちどれですか ＜単一回答＞

（保護者：共通）問2（1）．お子様と同居している方を教えてください。（いくつでも）
選択肢は調査対象のお子様から見た続柄で回答してください。

【全体】

「母」が 88.3%、「父」が 88.0%であり、「きょうだい」が 74.9%で続く。

【学年別】

3歳では、「父」が 93.2%で最も高く、次いで「母」が 86.7%である。また、中2と 17 歳では「母」が、中2で 89.0%、17 歳で 88.1%と、最も高い

経年比較でみると、中2では「父」が 6.8 ポイント増加している。いずれの学年でも「母」が 6.0 ポイント以上減少し、「きょうだい」が 5.0 ポイント以上増加している。

図表 2-2 お子様と同居している方 ＜複数回答＞

(%)

			n	父	母	祖父	祖母	きょうだい	その他	無回答/不明
全体		令和6年	4,490	88.0	88.3	4.6	7.7	74.9	1.3	0.7
		令和5年	3,204	85.5	96.0	4.2	7.2	65.8	1.4	0.5
学年	3歳	令和6年	839	93.2	86.7	3.8	6.0	62.0	0.8	0.2
		令和5年	816	92.8	97.7	3.3	6.1	57.0	1.6	0.4
	小3	令和6年	976	90.4	90.0	5.0	7.7	79.2	1.6	0.8
		令和5年	641	87.1	96.4	5.6	8.7	70.5	1.2	0.5
	小5	令和6年	891	88.6	87.5	3.8	8.3	78.6	0.8	0.7
		令和5年	667	85.5	95.1	4.6	7.9	73.0	1.9	0.6
	中2	令和6年	839	86.1	89.0	4.9	8.0	77.4	1.5	0.5
		令和5年	603	79.3	95.9	4.1	7.3	66.0	0.8	0.3
	17歳	令和6年	945	82.3	88.1	5.3	8.4	76.1	1.6	1.2
		令和5年	477	78.8	94.1	3.6	5.9	64.4	1.0	1.0
区市町村	区部		2,895	87.4	87.7	4.6	7.9	73.1	1.3	0.9
	市町村部		1,595	89.2	89.4	4.6	7.3	78.0	1.3	0.4

【自由記述】

その他（お子様と同居している方）
おじ（保護者・3歳）
曽祖母（保護者・小3）
いとこ（保護者・小3）
おば（保護者・小3）
おじ（保護者・小5）
叔母（保護者・小5）
叔母（保護者・中2）
里妹1人（保護者・中2）
曽祖母（保護者・中2）
おば（保護者・17 歳）
曽祖母（保護者・17 歳）
いとこ、おば（保護者・17 歳）
叔父（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問2（1）．また、お子様のきょうだいが同居している場合は、その人数を選択肢5のカッコ内に数字で記入してください。

【全体】

同居のきょうだい人数は、「1人」が 69.1％で最も高く、平均値は 1.40 人である。

【学年別】

3歳では「1人」が 75.2％で最も高く、平均値は 1.30 人である。

図表 2-3 きょうだい人数 ＜数値回答＞

（保護者：共通）問2（2）．お子様と同居している方は、お子様自身とあなたを含めて合計で何人か、カッコ内に数字で記入してください。

【全体】

同居している人数は、「4人」が 45.5％で最も高く、平均値は 4.06 人である。

【学年別】

いずれの学年でも「4人」が最も高い。3歳では、「3人」が 34.7％で、他の学年より 10.8 ポイント以上高い。

図表 2-4 お子様と同居している人数 ＜数値回答＞

（保護者：共通）問3.　あなたとお子様が現在住んでいるお住まいを教えてください。（1 つだけ）

【全体】

「持ち家・一戸建」が 44.5％で最も高く、次いで「持ち家・集合住宅」が 26.3％、「賃貸・集合住宅」が 23.5％と続く。

【学年別】

小3、小5、中2、17 歳では「持ち家・一戸建」が 44.8％以上である。3歳では「持ち家・一戸建」が 36.2％であり、他の学年より 8.6 ポイント以上低いが、「賃貸・集合住宅」は 35.2％であり他の学年より 11.8 ポイント以上高い。

【区市町村別】

「持ち家・一戸建」は、市町村部の方が区部より 26.5 ポイント高い。「持ち家・集合住宅」は、区部の方が市町村部より 15.6 ポイント高い。また、「賃貸・集合住宅」は、区部の方が市町村部より 10.1 ポイント高い。

図表 2-5 あなたとお子様が現在住んでいるお住まいの種類　＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「あなたとお子様が現在住んでいる住まいの種類」の回答別に子供の幸福度をみると、「持ち家・一戸建」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 66.6%である。

図表 2-6 子供の幸福度(「あなたとお子様が現在住んでいる住まいの種類」の回答別)

【自由記述】

その他（現在住んでいるお住まいの種類）
社宅（保護者・3歳）
宿舎（保護者・3歳）
親の持ち家・一戸建（保護者・3歳）
社宅（保護者・小3）
都営住宅（保護者・小3）
集合住宅二世帯（保護者・小3）
宿舎（保護者・小3）
持ち家、賃貸併用二世帯（保護者・小3）
親戚宅（保護者・小5）
祖父の持ち家（保護者・小5）
都民住宅（保護者・中2）
二世帯同居（保護者・中2）
親戚名義集合住宅（保護者・中2）
社宅（保護者・中2）
借上社宅（保護者・中2）
アパート（保護者・17 歳）
社宅（保護者・17 歳）
高校の関係で子供は祖父母宅（保護者・17 歳）
公務員宿舎（保護者・17 歳）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問4.　現在のお住まいに、お子様の部屋はありますか。（1つだけ）

【全体】

「専用の子供部屋（個室）がある」が 44.2％で最も高く、次いで「きょうだいと共有の子供部屋がある」が 29.1％である。「子供部屋はない」は 26.4％である。

【学年別】

「専用の子供部屋（個室）がある」については、小3では 24.9％、小5では 31.0％、中2では 55.2％、17 歳では 66.9％であり、学年が上がるにつれて高くなる。また、「子供部屋はない」は学年が上がるにつれて低くなり、小3が他の学年より 10.7 ポイント以上高い。

図表 2-7　現在のお住まいに、お子様の部屋はありますか　＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「現在の住まいの子供部屋の有無」の回答別に子供の幸福度をみると、「きょうだいと共有の子供部屋がある」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が最も高く、69.4%である。

図表 2-8 子供の幸福度(「現在の住まいの子供部屋の有無」の回答別)

（保護者：共通）問5．現在、あなたは配偶者／パートナーと同居していますか。（1つだけ）

【全体】

「同居している」が 89.6％、「同居していない（単身赴任などを含む）」が 4.5％で、「配偶者／パートナーはいない」は 5.8％である。

【学年別】

学年が上がるにつれ、「同居している」は減少傾向にあり、3歳では 96.4％であるが、17 歳では 83.3％である。

図表 2-9 配偶者／パートナーとの同居の有無＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーとの同居の有無」の回答別に子供の幸福度をみると、「配偶者／パートナーはいない」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 54.6%である。配偶者／パートナーと「同居している」保護者の子供の幸福度【高】(8～10)は 65.9%、「同居していない(単身赴任などを含む)」保護者の子供では 61.1%である。

図表 2-10 子供の幸福度(「配偶者／パートナーとの同居の有無」の回答別)

（保護者：共通）問6．あなたの年齢を教えてください。（1つだけ）

【全体】

「40～49 歳」が 54.5％で最も高く、次いで「30～39 歳」が 24.2％である。

【学年別】

3歳では「30 歳～39 歳」が、小3、小5、中2、17 歳では「40 歳～49 歳」が最も高い。

図表 2-11 あなたの年齢 ＜単一回答＞

（保護者：共通）問7．あなたの就業状況について、次のどれがあてはまりますか。（1つだけ）
副業・兼業をしている方は、主たる職業を回答してください。

【全体】

「正規の職員・従業員」が 43.9％で最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト」が 24.2％、「主婦（夫）」が 16.4％と続く。

【学年別】

いずれの学年でも「正規の職員・従業員」が最も高いが、3歳では 59.5％で、他の学年より 17.9 ポイント以上高い。「パートタイマー・アルバイト」については、3歳では 12.0％、小3では 23.3％、小5では 24.9％、中2では 30.4％、17歳では 29.8％である。

経年比較でみると、「パートタイマー・アルバイト」が、中2で 5.2 ポイント増加している。

図表 2-12 あなたの就業状況 ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「あなたの就業状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「経営者」または「非正規の職員・従業員（パートタイマー・アルバイト除く）」と回答した保護者の子供では幸福度【高】（8～10）がともに 68.0%、「主婦（夫）」では 66.2%、「正規の職員・従業員」では 65.7%である。

図表 2-13 子供の幸福度（「あなたの就業状況」の回答別）

【自由記述】

その他（あなたの就業状況）
自営業手伝い（保護者・3歳）
演奏家（保護者・3歳）
自営業従事者（保護者・3歳）
スポーツ選手（保護者・3歳）
フリーランス（保護者・3歳）
個人事業主（保護者・3歳）
自由業（保護者・3歳）
青色事業専従者（保護者・3歳）
育休中（保護者・3歳）
内職者（保護者・小3）
フリーランス（保護者・小3）
個人事業主（保護者・小3）
フリーランス（保護者・小5）
個人事業主（保護者・小5）
業務委託（保護者・小5）
青色専従者（保護者・小5）
自営業手伝い（保護者・小5）
賃貸業（保護者・小5）
職業訓練生（保護者・小5）
作曲家（保護者・小5）
個人事業主（保護者・中2）
フリーランス（保護者・中2）
定期非常勤職員（保護者・中2）
内職（保護者・中2）
有償ボラ（保護者・中2）
内職（保護者・17 歳）
フリーランス（保護者・17 歳）
NPOボラスタ（保護者・17 歳）
俳優（保護者・17 歳）
家業手伝い（保護者・17 歳）
アーティスト（保護者・17 歳）
個人事業主（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問8.【問7で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】あなたの一週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「1日」～「7日」と答えた方は、一日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（A　一週間あたりの平均就業日数）

【全体】

「5日」が 63.2％で最も高く、次いで「4日」が 12.2％、「3日」が 11.9％である。

【学年別】

いずれの学年でも「5日」が最も高く、3歳では 70.4％で、他の学年より 5.3 ポイント以上高い。また、「現在は休職／休業中」については、3歳では 8.8％であり、他の学年より 7.2 ポイント以上高い。

図表 2-14　あなたの一週間あたりの平均就業日数　＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「あなたの一週間あたりの平均就業日数」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の平均就業日数が6日以内の場合、就業日数にかかわらず幸福度【高】(8～10)は61.8%以上である。

図表 2-15 子供の幸福度(「あなたの一週間あたりの平均就業日数」の回答別)

（保護者：共通）問8.【問7で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】あなたの一週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「1日」～「7日」と答えた方は、一日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（B　一日あたりの平均就業時間）

【全体】

「7時間以上～8時間未満」が 23.4％で最も高く、次いで「8時間以上～9時間未満」が 21.5％である。

【学年別】

「7時間以上～8時間未満」は3歳で 27.3％、小3で 23.0％、中2で 22.6％、17 歳で 23.0％と最も高く、小5では「8時間以上～9時間未満」が 24.1％で最も高い。3歳では「6時間以上～7時間未満」が 20.3％で、他の学年より 8.7 ポイント以上高い。

図表 2-16　あなたの一日あたりの平均就業時間　＜単数回答＞

【子供の幸福度】

「あなたの一日あたりの平均就業時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「10 時間以上～11 時間未満」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.1%である。

図表 2-17 子供の幸福度(「あなたの一日あたりの平均就業時間」の回答別)

（保護者：共通）問9.【問8A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
あなたの一週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、一日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務のみの場合は「0割」を選択してください。（それぞれ1つ）
（A　一週間の在宅勤務時間割合）

【全体】
「0割」が 64.4％で最も高く、次いで「0割超～3割未満」が 15.1％である。

【学年別】
いずれの学年でも「0割」が最も高いが、学年が上がるほど高い傾向にあり、3歳では 54.9％であるのに対して、17歳では 71.0％である。

【区市町村別】
市町村部では「0割」が 72.0％で、区部より 11.7 ポイント高い。

図表 2-18　あなたの一週間の在宅勤務時間の割合　＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「あなたの一週間の在宅勤務時間の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、「5割以上～7割未満」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 71.0%で最も高い。

図表 2-19 子供の幸福度(「あなたの一週間の在宅勤務時間の割合」の回答別)

（保護者：共通）問9.【問8A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
あなたの一週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、一日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務のみの場合は「0分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（B　一日あたりの往復の平均通勤時間）

【全体】

「1分以上～30 分未満」が 34.6％で最も高く、次いで「30 分以上～1時間未満」が 29.8％、「1時間以上～1時間 30 分未満」が 13.6％である。

【学年別】

3歳では「30 分以上～1時間未満」が 33.2％で最も高く、次いで「1分以上～30 分未満」が 23.1％である。

小3、小5、中2、17 歳では「1分以上～30 分未満」が最も高く、中2では 40.5％である。

【区市町村別】

区部では「1分以上～30 分未満」が 33.4％、次いで「30 分以上～1時間未満」が 32.2％である。「30 分以上～1時間未満」は、区部が市町村部より 6.9 ポイント高い。

図表 2-20　あなたの一日あたりの往復の平均通勤時間　＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「あなたの一日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「1時間 30 分以上～2時間未満」の保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 69.3%である。

図表 2-21 子供の幸福度(「あなたの一日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別)

（保護者：共通）問 10.【問8A で「１日」～「７日」と回答された方にお聞きします。】
あなたは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日はどれくらいありますか（お子様の夏休みなどの長期休暇中は除く）。（1つだけ）

【全体】

「週2回以上」が 67.6％で最も高く、次いで「週1回程度」が 24.6％である。

【学年別】

3歳では「週2回以上」が 83.3％と最も高く、学年が上がるにつれて減少傾向にあり、17 歳では 49.2％である。

図表 2-22 あなたがお子様と一緒に過ごせる日数 ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「あなたがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別に子供の幸福度をみると、過ごせる日数が多いほど子供の幸福度【高】(8～10)が増加する傾向があり、「週2回以上」と回答した保護者の子供では 66.6%である。

図表 2-23 子供の幸福度(「あなたがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別) ＜単一回答＞

（保護者：共通）問 11.【配偶者/パートナーがいる（問5で「同居している」、「同居していない（単身赴任などを含む）」と回答された）方にお聞きします。】
配偶者/パートナーの年齢を教えてください。（1つだけ）

【全体】

「40 歳～49 歳」が 52.0%で最も高く、次いで「50 歳～59 歳」が 23.3%、「30 歳～39 歳」が 21.0%と続く。

【学年別】

3歳では「30 歳～39 歳」が、小3、小5、中2では「40 歳～49 歳」が、17 歳では「50 歳～59 歳」が最も高い。

図表 2-24 あなたの配偶者／パートナーの年齢 ＜単一回答＞

（保護者：共通）問 12.【配偶者/パートナーがいる（問5で「同居している」、「同居していない（単身赴任などを含む）」と回答された）方にお聞きします。】
配偶者/パートナーの就業状況について、次のどれがあてはまりますか。（1つだけ）
副業・兼業をしている方は、主たる職業を回答してください。

【全体】

「正規の職員・従業員」が 74.3％で最も高く、次いで「経営者」が 11.0％である。

【学年別】

いずれの学年も「正規の職員・従業員」が最も高く、70.5％以上である。

図表 2-25 配偶者／パートナーの就業状況について ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの就業状況」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーが「経営者」又は「正規の職員・従業員」である保護者の子供は、幸福度【高】(8～10)が 65.8%である。

図表 2-26 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの就業状況」の回答別)

【自由記述】

その他（配偶者／パートナーの就業状況）
フリーランス（保護者・3歳）
一人親方（保護者・3歳）
個人事業主（保護者・3歳）
個人事業主（保護者・小3）
パイロット（保護者・小3）
休職中（保護者・小3）
議員（保護者・小5）
フリーランス（保護者・小5）
農業（保護者・小5）
経営者とバス運転兼務（保護者・小5）
作業所（保護者・中2）
専従者（保護者・中2）
個人事業主（保護者・中2）
専門職（保護者・17 歳）
個人事業主（保護者・17 歳）
現在学生－通常は会社員（保護者・17 歳）
個人事業（配送）（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 13.【問 12 で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】
配偶者/パートナーの一週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「1日」～「7日」と答えた方は、一日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（A 一週間あたりの平均就業日数）

【全体】
「5日」が 72.8%で最も高く、次いで「6日」が 17.2%である。

【学年別】
いずれの学年でも「5日」が 71.8%以上で最も高く、次いで「6日」が 16.2%以上である。

図表 2-27 配偶者／パートナーの一週間あたりの平均就業日数 ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの一週間あたりの平均就業日数」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーの平均就業日数が「3日」～「7日」の場合は、子供の幸福度【高】(8～10)が 63.1%～68.1%である。

図表 2-28 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの一週間あたりの平均就業日数」の回答別)

（保護者：共通）問 13.【問 12 で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】
配偶者／パートナーの一週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「1日」～「7日」と答えた方は、一日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（B　一日あたりの平均就業時間）

【全体】
「8時間以上～9時間未満」が 30.0％で最も高く、次いで「9時間以上～10 時間未満」が 22.1％である。

【学年別】
いずれの学年でも「8～9時間未満」が 28.0％以上で最も高く、次いで「9時間以上～10 時間未満」が 20.0％以上である。

図表 2-29 配偶者／パートナーの一日あたりの平均就業時間 ＜単数回答＞

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの一日あたりの平均就業時間」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーの一日あたりの平均就業時間が「5時間未満」の場合は、子供の幸福度【高】(8～10)が 75.0%である。

図表 2-30 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの一日あたりの平均就業時間」の回答別)

（保護者：共通）問 14.【問 13A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
配偶者/パートナーの一週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、一日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務のみの場合は「0分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（A　一週間の在宅勤務時間割合）

【全体】
「0割」が 61.5％で最も高く、次いで「0割超～3割未満」が 20.0％である。

【学年別】
いずれの学年でも「0割」が最も高く、次いで「0割超～3割未満」が続いている。

【区市町村別】
市町村部では「0割」が 66.9％で、区部より 8.3 ポイント高い。

図表 2-31　配偶者／パートナーの一週間の在宅勤務時間の割合　＜単数回答＞

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの在宅勤務時間の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、「5割以上～7割未満」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 71.3%である。

図表 2-32 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの在宅勤務時間の割合」の回答別)

（保護者：共通）問 14.【問 13A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
配偶者/パートナーの一週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、一日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務のみの場合は「0分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（B　一日あたりの往復の平均通勤時間）

【全体】

「30 分以上～1時間未満」が 31.3％で最も高く、次いで「1時間以上～1時間 30 分未満」が 21.0％、「1分以上～30 分未満」が 18.6％である。

【学年別】

いずれの学年でも「30 分以上～1時間未満」の割合が最も高い。

【区市町村別】

いずれも「30 分以上～1時間未満」が最も高く、区部が 34.8％と、市町村部より 9.9 ポイント高い。

図表 2-33　配偶者／パートナーの一日あたりの往復の平均通勤時間　＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの一日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「0分」の保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 70.5%である。

図表 2-34 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの一日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別)

（保護者：共通）問 15.【問 13A で「１日」～「７日」と回答された方にお聞きします。】
配偶者/パートナーは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日はどれくらいありますか（お子様の夏休みなどの長期休暇中は除く）。（１つだけ）

【全体】

「週2回以上」が 50.4％で最も高く、次いで「週1回程度」が 32.9％である。

【学年別】

3歳では、「週2回以上」が 63.6％で最も高い。「週2回以上」は学年が上がるにつれて低くなり、17 歳では「週1回程度」が 37.6％で最も高い。

図表 2-35 配偶者／パートナーがお子様と一緒に過ごせる日数 ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別に子供の幸福度をみると、過ごせる日数が多いほど子供の幸福度【高】(8～10)が増加する傾向があり、「週2回以上」と回答した保護者の子供では 68.4%である。

図表 2-36 子供の幸福度(「配偶者／パートナーがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別)

（保護者：共通）問 16.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者/パートナーとの関係について次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　配偶者/パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる）

【全体】

「そう思う」が 61.6%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.2%と続く。配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、88.8%である。

【学年別】

いずれの学年でも「そう思う」が最も高く、3歳では 69.4%である。

図表 2-37　A 配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる　＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 68.2%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では幸福度【低】(0～3)が 9.5%である。

図表 2-38 子供の幸福度(「配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる」の回答別)

（保護者：共通）問 16.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者/パートナーとの関係について次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　配偶者/パートナーのことを信頼している）

【全体】

「そう思う」が 63.1％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.6％である。配偶者／パートナーのことを信頼している（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 89.7％である。

【学年別】

いずれの学年でも「そう思う」が最も高く、3歳では 72.3％、17 歳では 55.7％である。

図表 2-39　B 配偶者／パートナーのことを信頼している ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーのことを信頼している」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 69.1％である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では幸福度【低】(0～3)が12.1％である。

図表 2-40 子供の幸福度(「配偶者／パートナーのことを信頼している」の回答別)

（保護者：共通）問 17.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者/パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会はどれくらいありますか。（1つだけ）

【全体】

「ほぼ毎日」が 36.0％で最も高く、次いで「1週間に1回程度」が 29.0％である。

【学年別】

学年が上がるにつれ、「ほぼ毎日」は減少傾向にあり、3歳の 47.9％に対して 17 歳では 26.9％である。

図表 2-41 あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会 ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会」の回答別に子供の幸福度をみると、話し合う機会が多い保護者の子供ほど幸福度【高】(8～10)が増加傾向で、「全くない」と回答した保護者の子供では 58.4%であるのに対して、「ほぼ毎日」と回答した保護者の子供では 68.3%である。

図表 2-42 子供の幸福度(「あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会」の回答別)

（保護者：共通）問 18. ご家庭内の会話での日本語と他の言語の使用割合はどれくらいですか。（1つだけ）

【全体】

「日本語のみを使用している」が 94.1％で最も高い。

図表 2-43 ご家庭内の会話での日本語と他の言語の使用割合 ＜単一回答＞

（保護者：共通）問 19.【問 18 で「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」～「日本語以外の言語のみを使用」と回答された方にお聞きします。】
使用している日本語以外の言語について、全てお答えください。（いくつでも）

【全体】
「英語」が 73.9％で最も高く、次いで「中国語」が 13.9％、「韓国語」が 6.7％である。

【学年別】
3歳では、「英語」が 83.3％で最も高い。

図表 2-44 使用している日本語以外の言語について ＜複数回答＞

(%)

			n	英語	中国語	韓国語	スペイン語	フィリピン語	ベトナム語	その他
全体		令和6年	180	73.9	13.9	6.7	1.7	3.3	2.2	8.3
		令和5年	194	68.0	24.7	7.2	2.1	3.1	1.5	12.4
学年	3歳	令和6年	60	83.3	6.7	8.3	－	1.7	3.3	5.0
		令和5年	85	77.6	14.1	7.1	1.2	－	1.2	16.5
	小3	令和6年	47	68.1	17.0	4.3	2.1	4.3	－	10.6
		令和5年	31	61.3	41.9	3.2	3.2	－	－	12.9
	小5	令和6年	26	73.1	3.8	7.7	3.8	－	3.8	11.5
		令和5年	35	57.1	22.9	17.1	5.7	2.9	5.7	8.6
	中2	令和6年	23	69.6	21.7	4.3	－	4.3	－	8.7
		令和5年	29	58.6	41.4	3.4	－	17.2	－	6.9
	17歳	令和6年	24	66.7	29.2	8.3	4.2	8.3	4.2	8.3
		令和5年	14	71.4	21.4	－	－	－	－	7.1
区市町村	区部		136	73.5	13.2	7.4	1.5	2.9	2.2	9.6
	市町村部		44	75.0	15.9	4.5	2.3	4.5	2.3	4.5

(%)

			無回答／不明
全体		令和6年	1.7
		令和5年	1.0
学年	3歳	令和6年	－
		令和5年	1.2
	小3	令和6年	2.1
		令和5年	－
	小5	令和6年	3.8
		令和5年	－
	中2	令和6年	4.3
		令和5年	－
	17歳	令和6年	－
		令和5年	7.1
区市町村	区部		1.5
	市町村部		2.3

【自由記述】

その他（家庭内で使用している日本語以外の言語）
ポルトガル語（保護者・3歳）
フランス語（保護者・3歳）
クメール語（カンボジア）（保護者・3歳）
タイ語（保護者・小3）
フランス語（保護者・小3）
ドイツ語（保護者・小5）
オランダ語（保護者・小5）
フランス語（保護者・小5）
タイ語（保護者・中2）
フランス語（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（1. あなたの割合）

【全体】

「8割超9割以下」が 23.1％で最も高く、次いで「10 割」が 19.3％である。平均値は 7.26 割である。

【学年別】

17 歳では、「10 割」が 26.6％で最も高い。その他の学年では、「8割超9割以下」が最も高い。平均値は学年が上がるにつれて高くなる傾向にあり、17 歳では 7.50 割である。

図表 2-45 家庭内でのあなたの「家事分担」の割合 ＜数値回答＞

【子供の幸福度】

「家庭内でのあなたの『家事分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、自身の家事分担は「10 割」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 59.3%である。

図表 2-46 子供の幸福度(「家庭内でのあなたの『家事分担』の割合」の回答別)

（保護者：共通）問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（2. 配偶者/パートナーの割合）

【全体】

「0割超1割以下」が 25.1％で最も高く、次いで「0割」が 22.2％である。平均値は 2.52 割である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「0割」が増加傾向にあり、3歳では 13.2％であるのに対して、17 歳では 31.5％である。平均値は、3歳では 2.97 割で、17 歳では 2.21 割である。

図表 2-47 家庭内での配偶者／パートナーの「家事分担」の割合 ＜数値回答＞

【子供の幸福度】

「家庭内での配偶者／パートナーの『家事分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーの家事分担は「0割」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 59.3%である。

図表 2-48 子供の幸福度(「家庭内での配偶者／パートナーの『家事分担』の割合」の回答別)

（保護者：共通）問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（3. その他の割合）

【全体】
「0割」が 88.4％で最も高く、平均値は 0.22 割である。

【学年別】
いずれの学年でも「0割」が最も高く、平均値は 17 歳では 0.29 割で最も高く、3歳では 0.19 割で最も低い。

図表 2-49 家庭内でのその他の『家事分担』の割合 ＜数値回答＞

【子供の幸福度】

「家庭内でのその他の『家事分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、その他の家事分担が「0割」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 65.1%、「0割超1割以下」では 65.4%である。

図表 2-50 子供の幸福度(家庭内でのその他の『家事分担』の割合」の回答別)

（保護者：共通）問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（1. あなたの割合）

【全体】

「8割超9割以下」が 21.3％で最も高く、次いで「7割超8割以下」が 16.1％である。平均値は 7.15 割である。

【学年別】

3歳では「7割超8割以下」が 19.8％で最も高く、平均値は 6.64 割である。17 歳では「10 割」が 25.1％で最も高く、平均値は 7.52 割である。

図表 2-51 家庭内でのあなたの「育児分担」の割合 ＜数値回答＞

【子供の幸福度】

「家庭内でのあなたの『育児分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、自身の育児分担は「10 割」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 57.6%である。

図表 2-52 子供の幸福度(「家庭内でのあなたの『育児分担』の割合」の回答別)

（保護者：共通）問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（2. 配偶者/パートナーの割合）

【全体】

「0割超1割以下」が 22.5%、「0割」が 16.4%、「1割超2割以下」が 15.8%の順で、平均値は 2.74 割である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「0割」が増加傾向にあり、3歳では 5.8%であるが、17 歳では 26.8%である。平均値は、3歳では 3.23 割、17 歳では 2.38 割である。

図表 2-53 ご家庭内での配偶者／パートナーの「育児分担」の割合 ＜数値回答＞

【子供の幸福度】

「家庭内での配偶者／パートナーの『育児分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、配偶者／パートナーの育児分担は「0割」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 58.0%である。

図表 2-54 子供の幸福度(「家庭内での配偶者／パートナーの『育児分担』の割合」の回答別)

（保護者：共通）問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（3. その他の割合）

【全体】
「0割」が 91.0％で最も高く、平均値は 0.11 割である。

【学年別】
いずれの学年でも「0割」が最も高い。

図表 2-55 ご家庭内でのその他の「育児分担」の割合 ＜数値回答＞

【子供の幸福度】

「家庭内でのその他の『育児分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、その他の育児分担は「0割」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)は 65.0%、「0割超1割以下」では 67.0%である。

図表 2-56 子供の幸福度(「家庭内でのその他の『育児分担』の割合」の回答別)

（保護者：共通）問 21A.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足していますか。（1つだけ）

【全体】

「満足している」は 28.1％、「どちらかといえば満足している」は 34.0％で、自身と配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）保護者は 62.1％である。

【学年別】

自身と配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）保護者は、3歳が 67.6％で最も高く、学年が上がるにつれて減少傾向である。

図表 2-57 ご家庭内での家事分担の満足度 ＜単一回答＞

※満足している（計）は「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の割合。
不満である（計）は「不満である」及び「どちらかといえば不満である」の割合。

【子供の幸福度】

「ご家庭内での家事分担の満足度」の回答別に子供の幸福度をみると、満足度が高い保護者の子供ほど幸福度【高】(8～10)が高い傾向であり、「満足している」と回答した保護者の子供では 69.1%である。

図表 2-58 子供の幸福度(「ご家庭内での家事分担の満足度」の回答別)

（保護者：共通）問 21B.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。（1つだけ）

【全体】

「満足している」は 28.7％で、「どちらかといえば満足している」を合わせると 63.3％が、自身と配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している。

【学年別】

自身と配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）保護者は、3歳が 66.5％で最も高い。

図表 2-59 ご家庭内での育児分担の満足度 ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「家庭内での育児分担の満足度」の回答別に子供の幸福度をみると、満足度が高い保護者の子供ほど幸福度【高】(8～10)が増加傾向にあり、「満足している」と回答した保護者の子供では 70.7%である。

図表 2-60 子供の幸福度(「家庭内での育児分担の満足度」の回答別)

（保護者：共通）問 22. ご家庭内に障害・病気などにより、介護や日常生活の補助（食事、入浴など）が必要な方はいますか。また、主に介護・補助をされている方はどなたですか。お子様から見た関係性でお答えください。

（いくつでも）

（A 介護・補助が必要な方）

【全体】

「祖父母」が 3.4%で最も高く、次いで「お子様のきょうだい」が 1.5%、「父母（養継父／養継母含む）」が 1.3%と続く。「介護や補助が必要な人はいない」は 85.7%である。

【学年別】

介護・補助が必要な方の中ではいずれの学年でも「祖父母」が最も高い。「介護や補助が必要な人はいない」は、いずれの学年でも 83.4%以上である。

図表 2-61 A 介護・補助が必要な方 ＜複数回答＞

(%)

			n	祖父母	父母（養継父/養継母含む）	お子様ご本人	お子様のきょうだい	その他	介護や補助が必要な人はいない（R6のみ）	無回答/不明
全体		令和6年	4,490	3.4	1.3	1.1	1.5	0.3	85.7	7.1
		令和5年	3,204	3.9	0.8	2.2	2.3	0.7		90.8
学年	3歳	令和6年	839	2.0	1.3	1.0	1.4	0.2	88.7	5.7
		令和5年	816	1.6	0.4	2.6	2.8	0.7		93.6
	小3	令和6年	976	2.4	1.1	1.2	1.4	－	86.4	7.8
		令和5年	641	2.5	0.9	1.9	2.2	0.6		92.2
	小5	令和6年	891	4.4	1.2	1.0	1.8	0.3	84.7	7.0
		令和5年	667	3.3	1.0	2.2	2.4	0.7		90.7
	中2	令和6年	839	3.7	1.0	1.5	1.7	0.2	85.7	7.0
		令和5年	603	7.1	0.7	2.8	2.3	0.3		87.6
	17歳	令和6年	945	4.7	1.9	0.8	1.4	0.5	83.4	7.7
		令和5年	477	6.3	1.0	1.5	1.7	1.5		88.1
区市町村	区部		2,895	3.7	1.5	1.0	1.4	0.3	85.5	6.9
	市町村部		1,595	2.9	1.1	1.3	1.8	0.2	86.1	7.4

（保護者：共通）問 22. ご家庭内に障害・病気などにより、介護や日常生活の補助（食事、入浴など）が必要な方はいますか。また、主に介護・補助をされている方はどなたですか。お子様から見た関係性でお答えください。

（いくつでも）

（B 主に介護・補助をされている方）※A で「祖父母」～「お子様のきょうだい」「その他」と回答された方

【全体】

「父母（養継父／養継母含む）」が 67.2％で最も高く、次いで「祖父母」が 23.2％である。

【学年別】

いずれの学年でも「父母（養継父／養継母含む）」が最も高く、次いで「祖父母」が続いている。

経年比較でみると、17 歳で「祖父母」が 23.3 ポイント、中2では「その他」が 8.8 ポイント、それぞれ高くなっている。

図表 2-62 B 主に介護・補助をされている方 ＜複数回答＞

(%)

			n	祖父母	父母（養継父／養継母含む）	お子様ご本人	お子様のきょうだい	その他	無回答／不明
全体		令和6年	323	23.2	67.2	4.0	4.3	8.0	2.5
		令和5年	296	13.9	72.3	4.7	3.4	8.1	11.5
学年	3歳	令和6年	47	29.8	59.6	2.1	10.6	6.4	2.1
		令和5年	52	13.5	65.4	－	1.9	5.8	17.3
	小3	令和6年	57	14.0	75.4	5.3	1.8	5.3	1.8
		令和5年	50	16.0	66.0	2.0	4.0	16.0	14.0
	小5	令和6年	74	20.3	68.9	2.7	6.8	9.5	1.4
		令和5年	62	14.5	79.0	6.5	3.2	4.8	8.1
	中2	令和6年	61	23.0	65.6	3.3	3.3	11.5	3.3
		令和5年	75	18.7	77.3	2.7	2.7	2.7	9.3
	17歳	令和6年	84	28.6	65.5	6.0	1.2	7.1	3.6
		令和5年	57	5.3	70.2	12.3	5.3	14.0	10.5
区市町村	区部		219	23.3	65.8	3.7	4.1	8.2	3.7
	市町村部		104	23.1	70.2	4.8	4.8	7.7	－

【子供の幸福度】

「介護・補助が必要な方」の回答別に子供の幸福度をみると、「介護や補助が必要な人はいない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 65.1%である。「介護や補助が必要な人がいる(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 62.1%である。

図表 2-63 子供の幸福度(「介護・補助が必要な方」の回答別)

図表 2-64 子供の幸福度(「主に介護・補助をされている方」の回答別)

【自由記述】

その他（その他（家庭内で介護・補助が必要な方）
伯父（保護者・3歳）
義姉（保護者・3歳）
叔母（保護者・小5）
伯母（保護者・中2）
曽祖母（保護者・中2）
叔母（保護者・17 歳）
曾祖父（保護者・17 歳）
大叔父（保護者・17 歳）
義理父の姉（保護者・17 歳）

【自由記述】

その他（介護・補助に関わっている方）
ヘルパー（保護者・3歳）
看護師（保護者・3歳）
委託（保護者・3歳）
老人ホーム（保護者・小3）
家政婦（保護者・小3）
看護師（保護者・小3）
知人（保護者・小5）
おば（保護者・小5）
叔父（保護者・小5）
叔母（保護者・中2）
伯母（保護者・中2）
ホームの職員さん（保護者・17 歳）
施設（保護者・17 歳）
叔母（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　毎日たくさん笑っている）

【全体】

「8」が 19.6％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 1.2％、「10」（とてもあてはまる）は 14.7％で、平均値は 6.73 である。

【学年別】

いずれの学年でも「8」が最も高い。平均値は、3歳で 7.19 である。

図表 2-65　A 毎日たくさん笑っている　＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「毎日たくさん笑っている」の回答別に子供の幸福度をみると、毎日たくさん笑っていると思う保護者の子供ほど幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.4%である。

図表 2-66 子供の幸福度(「毎日たくさん笑っている」の回答別)

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　今の自分は幸せだ）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 23.3％で最も高い。平均値は 7.49 である。

【学年別】

3歳、小3、小5では、「10」（とてもあてはまる）が最も高く、中2と 17 歳では「8」が最も高い。3歳では平均値が 7.98 である。

経年比較でみると、小5で平均値が 0.28 高くなっている。小3では平均値が 0.24 低くなっている。

図表 2-67 B 今の自分は幸せだ ＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分は幸せだ」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の幸福度が高いほど子供の幸福度も高くなる傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.0%である。

図表 2-68 子供の幸福度(「今の自分は幸せだ」の回答別)

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　今の自分の生活に満足している）

【全体】

「8」が 20.3%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 2.3%、「10」（とてもあてはまる）は 14.8%で、平均値は 6.76 である。

【学年別】

いずれの学年でも「8」が最も高い。平均値は、3歳では 7.07、小3では 6.75、小5では 6.86、中2では 6.67、17 歳では 6.49 である。

図表 2-69　C 今の自分の生活に満足している　＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分の生活に満足している」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の生活への満足度が高いほど子供の幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.0%である。

図表 2-70 子供の幸福度(「今の自分の生活に満足している」の回答別)

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

※本調査では、上記の設問を「自己肯定感」と定義している。

【全体】

「8」が 17.9%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 2.8%、「10」（とてもあてはまる）は 12.5%で、平均値は 6.39 である。

【学年別】

3歳、小3、小5、中2では「8」が、17 歳では「5」が最も高い。平均値は、3歳では 6.49、小3では 6.32、小5では 6.51、中2では 6.41、17 歳では 6.23 である。

経年比較でみると、小5で平均値が 0.27 高くなっている。小3では 0.26 低くなっている。

図表 2-71　D 今の自分が好きだ　＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分が好きだ」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の自己肯定感が高いほど子供の幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.4%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 41.2%である。

図表 2-72 子供の幸福度(「今の自分が好きだ」の回答別)

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　人生を楽しんでいる）

【全体】

「8」が 18.2%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 2.3%、「10」（とてもあてはまる）は 14.6%で、平均値は 6.63 である。

【学年別】

いずれの学年でも「8」が最も高い。平均値は、3歳では 7.05、小3では 6.60、小5では 6.77、中2では 6.53、17 歳では 6.26 である。

経年比較でみると、小5では平均値が 0.32 高くなっている。17 歳では 0.33、小3では 0.32、それぞれ低くなっている。

図表 2-73 E 人生を楽しんでいる ＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「人生を楽しんでいる」の回答別に子供の幸福度をみると、人生を楽しんでいると思う保護者の子供ほど幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.8%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では 47.0%である。

図表 2-74 子供の幸福度(「人生を楽しんでいる」の回答別)

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　自分は他人から必要とされている）

※本調査では、上記の設問を「自己有用感」と定義している。

【全体】

「8」が 19.5%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 1.6%、「10」（とてもあてはまる）は 16.7%で、平均値は 6.91 である。

【学年別】

3歳では「10」（とてもあてはまる）が 20.0%で最も高い。その他の学年では「8」が最も高い。平均値は、3歳では 7.09、小3では 6.99、小5では 7.00、中2では 6.76、17 歳では 6.71 である。

経年比較でみると、17 歳で平均値が 0.28 低くなっている。

図表 2-75 F 自分は他人から必要とされている ＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分は他人から必要とされている」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の自己有用感が高いほど子供の幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.9%である。

図表 2-76 子供の幸福度(「自分は他人から必要とされている」の回答別)

保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G　自分には夢や目標がある）

【全体】

「5」が 16.6％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 4.9％、「10」（とてもあてはまる）は 14.6％である。平均値は 6.08 である。

【学年別】

3歳では、「10」（とてもあてはまる）が 16.4％で最も高く、小3、小5、中2、17 歳では「5」が最も高い。平均値は、3歳では 6.26、小3では 6.02、小5では 6.21、中2では 6.10、17 歳では 5.86 である。

経年比較でみると、3歳で平均値が 0.36 高くなっている。

図表 2-77　G 自分には、夢や目標がある　＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分には夢や目標がある」の回答別に子供の幸福度をみると、夢や目標があると思う保護者の子供ほど幸福度が高い傾向があり、「9」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 75.1%、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では 69.7%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 55.0%、「1」と回答した保護者の子供では 51.0%である。

図表 2-78 子供の幸福度(「自分には、夢や目標がある」の回答別)

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H　子育てを楽しんでいる）

【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 23.0％であり最も高い。平均値は 7.35 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高い。平均値は、3歳では 7.90、小3では 7.34、小5では 7.34、中2では 7.20、17 歳では 7.02 である。

経年比較でみると、3歳で平均値が 0.33 高くなっている。

図表 2-79 H 子育てを楽しんでいる ＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「子育てを楽しんでいる」の回答別に子供の幸福度をみると、子育てを楽しんでいると思う保護者の子供ほど幸福度が高い傾向があり、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 75.0%である。

図表 2-80 子供の幸福度(「子育てを楽しんでいる」の回答別)

（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）

【全体】

「半分以上の期間を」が 35.4%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 27.6%である。

【学年別】

小3、小5、中2、17 歳では「半分以上の期間を」が最も高い。3歳では、「ほとんどいつも」が 33.4%で最も高い。

経年比較でみると、中2では「半分以上の期間を」が 6.7 ポイント低くなっている。

図表 2-81　A 明るく、楽しい気分で過ごした　＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者が明るく、楽しい気分で過ごした頻度が高いほど、子供の幸福度【高】(8～10)が高くなる傾向があり、「いつも」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 76.8%である。「全くない」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 44.8%である。

図表 2-82 子供の幸福度(「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別)

（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）

【全体】

「半分以上の期間を」が 33.4%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 22.6%である。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高く、次いで「ほとんどいつも」が続いている。

経年比較でみると、3歳で「ほとんどいつも」は 5.6 ポイント高くなっている。

図表 2-83　B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした　＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者が落ち着いた、リラックスした気分で過ごした頻度が高いほど、子供の幸福度が高くなる傾向があり、「いつも」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 74.7%である。「全くない」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 51.9%である。

図表 2-84 子供の幸福度(「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別)

（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　意欲的で、活動的に過ごした）

【全体】

「半分以上の期間を」が 34.3％で最も高く、次いで「ほとんどいつも」が 23.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高く、次いで「ほとんどいつも」が続いている。

経年比較でみると、3歳で「半分以上の期間を」は 5.8 ポイント低くなっている。

図表 2-85　C 意欲的で、活動的に過ごした　＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者が意欲的で、活動的に過ごした頻度が高いほど、子供の幸福度が高くなる傾向があり、「いつも」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が75.0%である。「全くない」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が46.7%である。

図表 2-86 子供の幸福度(「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別)

（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）

【全体】

「半分以上の期間を」が 27.8％で最も高く、次いで「半分以下の期間を」が 20.1％である。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高く、次いで「半分以下の期間を」が続いている。3歳では「ほんのたまに」が 18.7％で、「半分以下の期間を」と並んでいる。

図表 2-87 D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者がぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた頻度が高いほど、子供の幸福度が高い傾向があり、「全くない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 56.7%であるが、「いつも」と回答した保護者の子供では 71.8%、「ほとんどいつも」と回答した保護者の子供では 75.8%である。

図表 2-88 子供の幸福度(「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別)

（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

【全体】

「半分以上の期間を」が 29.5％で最も高く、次いで「半分以下の期間を」と「ほんのたまに」が 19.0％で続いている。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高い。

経年比較でみると、3歳で「ほんのたまに」が 6.8 ポイント減少している。

図表 2-89 E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者が日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった頻度が高いほど、子供の幸福度が高い傾向があり、「ほとんどいつも」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 73.7%である。「全くない」と回答した保護者の子供では 51.8%である。

図表 2-90 子供の幸福度(「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別)

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（A　時間的なゆとり）

【全体】

「3」が 13.8%で最も高い。平均値は 4.45 である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、平均値は高くなり、3歳では 3.84、小3では 4.29、小5では 4.57、中2では 4.69、17 歳では 4.81 である。

経年比較でみると、平均値は、3歳では 0.47、小5では 0.36、それぞれ高くなっている。

図表 2-91　A「時間的なゆとり」を感じられる　＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『時間的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者では、子供の幸福度【高】(8～10)が 74.8%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 59.7%である。

図表 2-92 A 子供の幸福度(「『時間的なゆとり』を感じられる」)の回答別) ＜単一回答＞

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（B　経済的なゆとり）

【全体】

「5」が 14.4%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 8.9%、「10」（とてもあてはまる）は 6.3%で、平均値は 5.18 である。

【学年別】

3歳、小3、小5は「5」が、中2と 17 歳は「8」が最も高い。平均値は、3歳では 5.09、小3では 5.22、小5では 5.35、中2では 5.20、17 歳では 5.03 である。

経年比較でみると、平均値は、3歳で 0.40、小5で 0.52、中2で 0.41、それぞれ高くなっている。

図表 2-93 B「経済的なゆとり」を感じられる ＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『経済的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、子供の幸福度【高】(8～10)が 74.8%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 54.8%である。

図表 2-94 子供の幸福度(「『経済的なゆとり』を感じられる」の回答別)

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（C　体力的なゆとり）

【全体】

「5」が 18.5%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 6.1%、「10」（とてもあてはまる）は 2.7%で、平均値は 4.64 である。

【学年別】

いずれの学年でも「5」が最も高い。平均値は、3歳では 4.40、小3では 4.56、小5では 4.76、中2では 4.79、17 歳では 4.70 である。

経年比較でみると、平均値が3歳で 0.56、小5で 0.45、中2で 0.29、それぞれ高くなっている。

図表 2-95　C「体力的なゆとり」を感じられる　＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『体力的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.7%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 53.0%である。

図表 2-96 子供の幸福度(「『体力的なゆとり』を感じられる」の回答別)

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（D　精神的なゆとり）

【全体】

「5」が 16.4％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 6.4％、「10」（とてもあてはまる）は 4.5％で、平均値は 4.95 である。

【学年別】

いずれの学年でも「5」が最も高く、15.8％以上である。平均値は、3歳では 4.86、小3では 4.77、小5では 4.99、中2では 5.15、17 歳では 4.98 である。

経年比較でみると、平均値が3歳で 0.56、小5で 0.33、それぞれ高くなっている。

図表 2-97　D「精神的なゆとり」を感じられる　＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『精神的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 76.0%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 50.0%である。

図表 2-98 子供の幸福度(「『精神的なゆとり』を感じられる」の回答別)

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（E　生活全般のゆとり）

【全体】

「5」が 20.0％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 4.7％、「10」（とてもあてはまる）は 4.2％で、平均値は 5.33 である。

【学年別】

いずれの学年でも「5」が最も高い。平均値は、3歳では 5.25、小3では 5.24、小5では 5.46、中2では 5.44、17 歳では 5.28 である。

経年比較でみると、平均値が3歳で 0.85、小5で 0.66、中2で 0.43、それぞれ高くなっている。

図表 2-99 E「生活全般のゆとり」を感じられる ＜単一回答＞

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『生活全般のゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.5%、「9」と回答した保護者の子供では 75.6%である。「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 54.5%である。

図表 2-100 子供の幸福度（「『生活全般のゆとり』を感じられる」の回答別）

（保護者：共通）問 26. あなたが今、子育てに関して楽しいと感じていることは何ですか。（いくつでも）

【全体】

「子供の成長を感じられる」が 90.3％で最も高く、次いで「子供とのコミュニケーション（会話・遊び・食事など）」が 84.3％、「子供が笑ってくれる」が 80.3％で続いている。

【学年別】

いずれの学年でも、「子供の成長を感じられる」が最も高く、「子供とのコミュニケーション（会話・遊び・食事など）」と「子供が笑ってくれる」が上位3位に入っている。

図表 2-101 今、子育てに関して楽しいと感じていること ＜複数回答＞

(%)

		n	子供の成長を感じられる	子供とのコミュニケーション（会話・遊び・食事など）	子供が愛情表現をくれる（言葉や手紙など）	子供が笑ってくれる	子供が自分を頼ってくれる、甘えてくれる	子供を通して、親も成長できる	子供を通して、新しい情報が得られる
全 体		4,490	90.3	84.3	61.0	80.3	63.1	62.6	53.4
学年	3歳	839	95.4	93.6	80.9	94.3	77.8	66.3	45.3
	小3	976	92.5	83.9	71.5	87.3	70.0	62.7	51.6
	小5	891	90.3	84.1	64.8	80.5	62.4	60.3	49.5
	中2	839	86.9	80.6	47.8	73.1	55.1	64.5	57.8
	17歳	945	86.6	80.2	40.5	67.1	50.9	59.8	62.3
区市町村	区 部	2,895	90.4	84.4	62.3	80.6	63.7	63.5	54.3
	市町村部	1,595	90.2	84.2	58.6	79.8	62.2	60.9	51.8

		子供を通して、新しいコミュニティ（友人、学校、部活、幼稚園、保育園など）ができる	その他	特にない	無回答/不明	楽しいと感じていることがある（計）
全 体		39.2	1.2	1.3	0.6	98.1
学年	3歳	39.1	1.2	0.5	0.5	99.0
	小3	45.4	1.2	1.0	0.6	98.4
	小5	38.6	0.8	1.3	0.8	97.9
	中2	37.2	1.1	1.8	0.5	97.7
	17歳	35.2	1.9	1.9	0.7	97.4
区市町村	区 部	40.2	1.2	1.4	0.7	98.0
	市町村部	37.4	1.3	1.2	0.6	98.2

※楽しいと感じることがある（計）は「子供の成長を感じられる」～「子供を通して、新しいコミュニティ（友人、学校、部活、幼稚園、保育園など）ができる」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「今、子育てに関して楽しいと感じていること」の回答別に子供の幸福度をみると、「楽しいと感じていることがある（計）」保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 65.2％である。

図表 2-102 子供の幸福度（「今、子育てに関して楽しいと感じていること」の回答別）

【自由記述】

その他（今、子育てに関して楽しいと感じていること）
子供を持てたという事が幸せで楽しい（保護者・3歳）
親に幸せをあたえてくれている。（保護者・3歳）
子どもの興味をもったことに一緒に夢中になれる（保護者・3歳）
子供がいるから、自分自身に嫌な事があっても頑張れる（保護者・3歳）
大人には無い発想が面白い（保護者・3歳）
子供服をえらぶこと（保護者・小3）
お弁当作り（保護者・小3）
未来を考えられること（保護者・小3）
豊かな発想力（保護者・小3）
子供達のスポーツなどの習い事（保護者・小3）
一緒に出来る事がふえた。（保護者・小3）
元気でいてくれる（保護者・小3）
色々な発見がある（保護者・小3）
子供が可愛くて幸せを感じている（保護者・小3）
子供が好きなサッカーを楽しんでいる（保護者・小5）
私の仕事を一緒にてつだったりしてくれています。（保護者・小5）
行動範囲が広がる（保護者・小5）
自身の幼少期の追体験（保護者・小5）
顔を見ているだけで可愛い（保護者・小5）
親（自分の親）への恩を感じる（保護者・中2）
子が活動でがんばっている姿をみることができる（保護者・中2）
子供が世界を拡げてくれる（保護者・中2）
同じ趣味がある（保護者・中2）
毎日学校に楽しく通ってくれている事（保護者・中2）
祖父母が喜ぶ（保護者・17 歳）
成長するにつれて家族で出来ることが増えてたのしいです（保護者・17 歳）
子供の友達から、親には見せない一面を聞く。（保護者・17 歳）
孫育てをしている人も少なくないとは思うがそれができていることが有難い（保護者・17 歳）
子供の部活動の発表などを見られること（保護者・17 歳）
お互い人間として対等であり、尊重してくれる（保護者・17 歳）
子供の得意なゲームやアニメを教えてくれる（保護者・17 歳）
友達みたいで楽しい（保護者・17 歳）
子供を通して趣味ができる（保護者・17 歳）
子供が頑張っている姿が見れる。応援できる。（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　子育てや教育の費用）

【全体】

「そう思う」が 47.7％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 29.4％で、子育てや教育の費用に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、77.1％である。

【学年別】

いずれの学年でも「そう思う」が最も高く、子育てや教育の費用に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は 75.1％以上である。

経年比較でみると、「そう思う」は、小5で 5.9 ポイント減少している。

図表 2-103　A「子育てや教育の費用」の悩み　＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子育てや教育の費用』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 61.9%である。

図表 2-104 子供の幸福度(「『子育てや教育の費用』の悩み」の回答別)

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　子育ての相談相手の不足）

【全体】

「どちらかといえばそう思わない」が 37.9％で最も高く、次いで「そう思わない」が 29.4％である。子育ての相談相手の不足に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 31.8％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、子育ての相談相手の不足に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、28.6％～34.2％である。

経年比較でみると、子育ての相談相手の不足に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、小5で 5.7 ポイント低くなっている。

図表 2-105　B「子育ての相談相手の不足」の悩み　＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子育ての相談相手の不足』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 45.9%で、幸福度【低】(0～3)が 16.2%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 71.0%である。

図表 2-106 子供の幸福度(「『子育ての相談相手の不足』の悩み」の回答別)

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　子供の健康や発達・発育）

【全体】

「どちらかといえばそう思わない」が 32.0％で最も高い。子供の健康や発達・発育に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 43.3％である。

【学年別】

子供の健康や発達・発育に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 37.5％～47.7％で、小3が最も高い。

図表 2-107　C「子供の健康や発達・発育」の悩み　＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の健康や発達・発育』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 51.9%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 71.2%である。

図表 2-108 子供の幸福度(「『子供の健康や発達・発育』の悩み」の回答別)

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 子供の成績や学力）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 37.5％で最も高く、次いで「そう思う」が 27.1％で、子供の成績や学力に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 64.6％である。

【学年別】

中2で「そう思う」が 35.4％で、子供の成績や学力に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 72.3％と、他の学年より 9.3 ポイント以上高い。

経年比較でみると、小3で「そう思う」が 6.7 ポイント増加している。

図表 2-109 D 「子供の成績や学力」の悩み ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の成績や学力』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 58.5%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 70.4%である。

図表 2-110 子供の幸福度(「『子供の成績や学力』の悩み」の回答別)

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　子供の進学や就職）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 37.5％で最も高く、次いで「そう思う」が 31.9％で、 子供の進学や就職で悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 69.4％である。

【学年別】

子供の進学や就職で悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、学年が上がるにつれて増加傾向にあり、3歳では 60.1％であるが、中2では 77.8％、17 歳では 77.5％である。

図表 2-111　E「子供の進学や就職」の悩み　＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の進学や就職』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 58.6%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 74.5%である。

図表 2-112 子供の幸福度(「『子供の進学や就職』の悩み」の回答別)

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　子供の問題行動）

【全体】

「そう思わない」が 38.3％で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 32.9％である。子供の問題行動に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 27.5％である。

【学年別】

子供の問題行動に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、3歳では 30.9％、小3では 32.9％で、小5以上になると学年が上がるにつれて減少傾向にあり、17 歳では 20.6％である。

図表 2-113 F「子供の問題行動」の悩み ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の問題行動』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 47.7%で、幸福度【低】(0～3)が 18.1%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 71.1%である。

図表 2-114 子供の幸福度(「『子供の問題行動』の悩み」の回答別)

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G 子育てと仕事や家事の両立）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 28.9％で最も高い。子育てと仕事や家事の両立に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 50.5％である。

【学年別】

3歳では「そう思う」が 36.0％で最も高い。子育てと仕事や家事の両立に悩んでいる（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、学年が上がるにつれて減少傾向にあり、3歳では 70.7％であるが、17 歳では 38.1％である。

経年比較でみると、小5で「どちらかといえばそう思う」が 5.4 ポイント減少し、子育てと仕事や家事の両立に悩んでいない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）保護者が 6.1 ポイント増加している。

図表 2-115 G「子育てと仕事や家事の両立」の悩み ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子育てと仕事や家事の両立』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 59.7%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は67.8%である。

図表 2-116 子供の幸福度(「『子育てと仕事や家事の両立』の悩み」の回答別)

（保護者：共通）問 28. あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。（いくつでも）

【全体】

「友人・知人」が 68.5％で最も高く、次いで「お子様の学校／学校の先生」が 43.9％、「テレビ」が 43.3％、「上記以外のオンライン情報（インターネット検索など）」が 42.4％と続く。

【学年別】

いずれの学年でも「友人・知人」が最も高い。3歳では、次いで「お子様の学校／学校の先生(※)」が 60.9％、「Instagram」が 52.8％、「自分の親や親戚」が 51.0％で続き、他の学年より 12.0 ポイント以上高い。

(※) 3歳児保護者調査票では、「お子様の幼稚園・こども園・保育所の先生」

図表 2-117 あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか ＜複数回答＞

(%)

		n	テレビ	Facebook	X（旧Twitter）	Instagram	LINE	YouTube	上記以外のオンライン情報（インターネット検索など）	新聞
全 体		4,490	43.3	3.2	15.1	26.1	8.6	20.4	42.4	13.3
学年	3歳	839	42.2	3.3	27.2	52.8	9.4	36.7	36.0	5.2
	小3	976	42.4	3.6	13.7	27.7	8.7	20.1	43.6	12.3
	小5	891	43.9	2.6	15.3	21.8	9.2	15.9	44.7	13.8
	中2	839	44.6	3.5	10.5	19.1	9.5	16.8	43.7	15.7
	17歳	945	43.4	3.2	9.6	11.3	6.6	13.8	43.5	18.8
区市町村	区 部	2,895	42.5	3.4	15.5	26.2	8.8	20.9	43.7	13.9
	市町村部	1,595	44.8	3.0	14.2	26.0	8.3	19.6	40.1	12.3

		育児・教育雑誌	育児書や教育書	自分の配偶者／パートナー	自分の親や親戚	友人・知人	お子様の学校／学校の先生	(17歳、中2、小5、小3)相談員（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど）	放課後児童クラブ・児童館の職員	塾や習い事の先生
全 体		10.8	13.8	39.2	36.8	68.5	43.9	5.4	4.4	20.8
学年	3歳	15.0	19.4	47.1	51.0	66.5	60.9		9.4	9.4
	小3	13.1	18.0	40.2	39.0	73.1	40.2	6.7	8.1	23.1
	小5	11.4	12.7	38.6	34.1	70.3	38.5	7.0	3.4	25.9
	中2	8.2	11.1	39.5	30.0	65.2	41.7	8.1	0.7	25.6
	17歳	6.1	7.8	31.4	30.5	67.0	39.9	5.2	0.4	19.5
区市町村	区 部	11.7	14.6	39.2	36.2	69.3	43.6	5.3	4.4	21.4
	市町村部	9.0	12.4	39.1	37.9	67.2	44.6	5.8	4.5	19.7

		職場関係の人	(小5、小3、3歳)ベビーシッター	行政機関の広報誌	その他	どこからも情報は得ていない	無回答/不明	子育てに関する情報を得ている（計）
全 体		25.4	0.6	7.6	1.9	1.8	0.4	97.8
学年	3歳	22.9	2.4	8.0	1.2	0.6	0.6	98.8
	小3	25.9	0.5	7.7	1.2	1.0	0.3	98.7
	小5	24.0	0.2	7.7	2.1	2.1	0.6	97.3
	中2	28.1		7.5	2.4	2.6	0.5	96.9
	17歳	26.0		7.0	2.6	2.4	0.2	97.4
区市町村	区 部	23.8	0.8	6.8	1.8	1.9	0.4	97.6
	市町村部	28.3	0.3	9.0	2.2	1.4	0.4	98.2

※子育てに関する情報を得ている（計）は「テレビ」～「行政機関の広報誌」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「子育てに関する情報をどこから得ていますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「どこからも情報は得ていない」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 58.1%である。「子育てに関する情報を得ている(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 64.9%である。

図表 2-118 子供の幸福度(「子育てに関する情報をどこから得ていますか」の回答別)

【自由記述】

その他（子育てに関する情報をどこから得ているか）
区の保育士さん、保健士さん、助産師さん（保護者・3歳）
産院の助産師、保育士、運動療法の先生（保護者・3歳）
子育て講座（保護者・3歳）
かかりつけ医（保護者・3歳）
療育先の職員（保護者・3歳）
デジタル雑誌、新聞（保護者・小3）
療育センターの先生（保護者・小3）
小児科かかりつけ医（保護者・小3）
職場（保護者・小3）
教会（保護者・小5）
自学習、講話等（保護者・小5）
子育てに関する教室（オンライン）（保護者・小5）
ラジオ（保護者・小5）
かかりつけ医（保護者・小5）
サポートルーム（保護者・小5）
放課後デイサービスの職員さん、スタッフさん（保護者・小5）
家庭支援センターの方（保護者・小5）
医師（保護者・中2）
PTA役員、子供の友人（保護者・中2）
ラジオ（保護者・中2）
デイサービスのスタッフ（保護者・中2）
女性誌（保護者・中2）
職場（保護者・中2）
子育てサークルの仲間・先生（保護者・中2）
子供電話相談（保護者・中2）
TIKTOK（保護者・17 歳）
学童　CFA（保護者・17 歳）
ラジオ（保護者・17 歳）
生活保護のケースワーカー（保護者・17 歳）
児童精神科の先生（保護者・17 歳）
フリースクールの先生（保護者・17 歳）
公開講座（保護者・17 歳）
かかりつけ医、勤務先のスクールカウンセラー（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 29. あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は誰ですか。（いくつでも）

【全体】

「地域の友人・知人」が 51.8％で最も高く、次いで「親戚」が 49.1％、「地域以外の友人（学生時代の友人など）」が 34.4％と続く。

【学年別】

3歳では、「親戚」が 55.3％で最も高く、次いで「学校の先生／職員（※）」が 48.7％である。小3、小5、中2、17 歳では、「地域の友人・知人」が最も高い。

（※）3歳児保護者調査票では、「幼稚園・こども園・保育所の先生／職員」

図表 2-119 困ったときに家族以外で頼れる相談相手 ＜複数回答＞

(%)

		n	親戚	地域の友人・知人	地域以外の友人（学生時代の友人など）	学校の先生/職員	塾や習い事の先生	職場関係の人	行政の相談機関
全　体		4,490	49.1	51.8	34.4	30.8	13.1	26.4	6.7
学年	3歳	839	55.3	39.1	40.4	48.7	7.0	24.3	7.3
	小3	976	48.9	59.9	35.8	27.5	14.2	25.3	6.5
	小5	891	48.8	54.0	35.0	26.9	17.6	25.9	6.7
	中2	839	45.6	57.0	31.1	26.2	15.1	29.6	6.0
	17歳	945	47.3	48.3	30.1	26.2	11.2	27.0	7.1
区市町村	区　部	2,895	49.4	50.6	34.7	30.5	12.8	25.6	6.3
	市町村部	1,595	48.7	54.1	33.9	31.5	13.5	27.9	7.5

		子供関係のNPO法人、公益法人、ボランティア	インターネットやSNS上の相談サービス・知人	その他	頼れる相談相手はいない	無回答/不明	頼れる相談相手がいる（計）
全　体		2.0	3.5	1.6	8.5	0.5	91.0
学年	3歳	1.2	3.9	1.2	7.5	0.8	91.7
	小3	1.7	2.6	1.7	8.2	0.3	91.5
	小5	2.0	3.4	1.6	7.9	0.2	91.9
	中2	2.1	4.1	1.4	8.5	0.6	90.9
	17歳	2.8	3.7	1.9	10.3	0.6	89.1
区市町村	区　部	1.6	3.8	1.8	8.6	0.6	90.8
	市町村部	2.6	2.9	1.3	8.3	0.4	91.3

※頼れる相談相手がいる（計）は、「親戚」～「インターネットやSNS上の相談サービス・知人」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「困ったときに家族以外で頼れる相談相手」の回答別に子供の幸福度をみると、「頼れる相談相手はいない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 57.5%である。「頼れる相談相手がいる(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 65.6%である。

図表 2-120 子供の幸福度(「困ったときに家族以外で頼れる相談相手」の回答別)

【自由記述】

その他（相談相手）
ママ友（保護者・3歳）
療育先の職員、児童館の職員（保護者・3歳）
心理カウンセラー（保護者・3歳）
教会員（保護者・3歳）
カウンセラーー（保護者・3歳）
ベビーシッター（保護者・3歳）
かかりつけ医の小児科の先生（保護者・3歳）
ベビーシッター（保護者・小3）
放課後デイサービスの先生（保護者・小3）
弁護士（保護者・小3）
学童のスタッフ（保護者・小3）
児童福祉機関　民間（保護者・小3）
児童精神科のお医者様（保護者・小3）
スクールカウンセラー（保護者・小5）
放デイの先生（保護者・小5）
かかりつけ医（小児科）（保護者・小5）
友人（保護者・小5）
ママ友（保護者・小5）
病院や在宅訪問の先生やスタッフ（保護者・小5）
こども家庭支援センター（保護者・小5）
ヘルパー（保護者・小5）
専門家　カウンセラーなど（保護者・中2）
友達（保護者・中2）
フリースクールの先生（保護者・中2）
デイサービスのスタッフ（保護者・中2）
小児科主治医やスタッフ（保護者・中2）
主治医（保護者・17 歳）
通所している療育センター（保護者・17 歳）
学童　CFA（保護者・17 歳）
スクールカウンセラー（保護者・17 歳）
かかりつけ医（保護者・17 歳）
フリースクールの先生（保護者・17 歳）
心療内科（保護者・17 歳）
本（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 30.【問 29 で「親戚」～「インターネットやSNS上の相談サービス・知人」「その他」と回答された方にお聞きします。】
あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は何人いますか。（1つだけ）

【全体】
「5人以上」が 36.9%、次いで「2人」が 22.4%、「3人」が 21.2%と続く。

【学年別】
いずれの学年でも「5人以上」が 33.0%以上で最も高い。

図表 2-121 困ったときに家族以外で頼れる相談相手の人数 ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「困ったときに家族以外で頼れる相談相手の人数」の回答別に子供の幸福度をみると、相談できる人数が多い保護者の子供ほど幸福度【高】(8～10)が増加傾向にあり、「5人以上」相談できる人がいる保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 70.5%である。

図表 2-122 子供の幸福度(「困ったときに家族以外で頼れる相談相手の人数」の回答別)」

（保護者：共通）問 31. あなたは、直近1年間の普段の生活で、お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思いましたか。（1つだけ）

【全体】

全体では「預けたいと思ったことはなかった」が 31.7％で、最も高い。

【学年別】

3歳では、「保育施設」が 56.5％で最も高く、次いで「親戚」が 22.9％である。

小3では、「放課後児童クラブ」が 45.3％で最も高く、次いで「親戚」が 27.5％であるが、小5では「親戚」が 30.4％、「放課後児童クラブ」が 22.8％の順である。

中2と 17 歳では、「預けたいと思ったことはなかった」が最も高く、中2では 48.0％、17 歳では 58.9％である。

図表 2-123 お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思ったか

＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ(誰)に預けたいと思ったか」の回答別に子供の幸福度をみると、小3と小5で「放課後児童クラブ」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が70.3%である。また、「友人・知人」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は68.5%、「親戚」と回答した保護者の子供では65.1%である。「ファミリーサポート事業」と回答した保護者の子供では、幸福度【低】(0～3)が9.8%である。

図表 2-124 子供の幸福度(「お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ(誰)に預けたいと思ったか」の回答別)」

【自由記述】

その他 （お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思ったか）
子育てサロン（保護者・3歳）
民間の託児施設（保護者・小3）
ショートステイできる療育施設（保護者・小3）
学童（保護者・小3）
ファミリーサポートのような形でもいいが、少しあずけるときの手間や料金がネックなので休日ワンオペ育児の家庭にはサポートがあるといいと思っています。お金に余裕のない家庭には生活保護があるように、時間や人手に余裕のない家庭にもほじょがあると助かります。（保護者・小3）
習い事（保護者・小3）
学童（保護者・小3）
ひろば（保護者・小3）
児童館（保護者・小3）
安全が確保でき、こどもも楽しめる場（保護者・小3）
英語学童（保護者・小3）
一時保育（保護者・小3）
放課後デイサービス（保護者・小5）
塾の自習室（保護者・小5）
学童キャンプ（保護者・小5）
時間で学習させてくれる習い事の施設。（保護者・小5）
私設学童（保護者・小5）
地域の子ども支援NPO（保護者・小5）
無認可保育園（保護者・小5）
職場（保護者・小5）
保育所（保護者・中2）
児童館（保護者・中2）
看護師や子供の病状をよく知る方。（保護者・中2）
放課後等デイサービス（保護者・中2）
学童保育（保護者・中2）
学校（保護者・中2）
親、保育園（保護者・中2）
預けられる人がいない（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 32.【問 31 で「ファミリーサポート事業」～「親戚」「その他」と回答された方にお聞きします。】
あなたは、直近１年間の普段の生活で、お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったことはありましたか。（１つだけ）

【全体】

「ほとんどなかった」が 50.2％で最も高い。「よくあった」は 12.3％、「たまにあった」は 20.6％である。

【学年別】

3歳では、「よくあった」が 21.6％で、「たまにあった」は 28.6％となっており、子供を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったことがあった（「よくあった」と「たまにあった」の割合）と回答している保護者は 50.2％である。預けられなかったことがあった（「よくあった」と「たまにあった」の割合）保護者は、学年が上がるにつれて減少傾向にある。

図表 2-125 お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったこと＜単一回答＞

※あった（計）は、「よくあった」及び「たまにあった」の割合。
なかった（計）は「ほとんどなかった」及び「あまりなかった」の割合。

【子供の幸福度】

「お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったこと」の回答別に子供の幸福度をみると、「よくあった」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 63.3%である。「ほとんどなかった」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 68.3%である。「お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったこと」の頻度が高い保護者の子供ほど、幸福度【低】(0～3)が増加する傾向がある。

図表 2-126 子供の幸福度(「お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったこと」の回答別)

（保護者：共通）問 33. この中から、お子様についてあてはまるものをお選びください。（いくつでも）

【全体】

あてはまるものとしては、「最近、医師から処方される（ビタミン剤以外の）薬を必要としたり使ったりしている」が14.4％で最も高く、次いで「医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他のお子様より多く必要としたり利用している」が 11.6％である。「この中にあてはまるものはない」が 71.0％である。

【学年別】

いずれの学年でも「この中にあてはまるものはない」が、最も高い。あてはまるものとしては、中2では「医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他のお子様より多く必要としたり利用している」が 16.3％で最も高い。その他の学年では、「最近、医師から処方される（ビタミン剤以外の）薬を必要としたり使ったりしている」が最も高い。

図表 2-127 お子様についてあてはまる症状・状況 ＜複数回答＞

(%)

			n	医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他のお子様より多く必要としたり利用している	最近、医師から処方される（ビタミン剤以外の）薬を必要としたり使ったりしている	同い年のほとんどの子ができることができない、あるいは部分的にしかできないことがある	理学療法、作業療法、言語療法などの特別な治療を必要としている	感情、発達、行動の問題のためにカウンセリングを必要としている	この中にあてはまるものはない（R6のみ）	無回答/不明	あてはまるものがある（計）
全体		令和6年	4,490	11.6	14.4	9.7	2.4	7.9	71.0	1.7	27.3
		令和5年	3,204	9.4	15.0	7.3	2.7	6.7		75.7	24.3
学年	3歳	令和6年	839	4.4	13.3	8.3	1.9	3.1	75.7	1.1	23.2
		令和5年	816	4.4	16.5	6.7	2.1	2.3		77.2	22.8
	小3	令和6年	976	12.3	15.2	11.2	2.9	9.5	68.0	2.3	29.7
		令和5年	641	10.8	15.4	7.6	1.9	8.4		74.6	25.4
	小5	令和6年	891	11.3	13.0	10.2	2.9	8.8	71.0	1.6	27.4
		令和5年	667	10.2	13.0	7.8	3.6	8.4		75.1	24.9
	中2	令和6年	839	16.3	13.3	11.8	2.5	11.8	68.5	2.0	29.4
		令和5年	603	13.3	15.1	9.0	3.5	9.6		74.3	25.7
	17歳	令和6年	945	13.1	16.7	7.0	2.0	6.1	72.2	1.5	26.3
		令和5年	477	10.1	14.0	5.0	2.5	6.1		77.1	22.9
区市町村	区部		2,895	11.0	13.8	9.4	2.4	7.5	71.7	1.9	26.4
	市町村部		1,595	12.6	15.4	10.3	2.6	8.5	69.8	1.3	28.8

※あてはまるものがある（計）は、「医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他のお子様より多く必要としたり利用している」～「感情、発達、行動の問題のためにカウンセリングを必要としている」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「お子様についてあてはまる症状・状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「この中にあてはまるものはない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.6%である。「あてはまるものがある(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 53.6%で、幸福度【低】(0～3)が 10.4%である。

図表 2-128 子供の幸福度(「お子様についてあてはまる症状・状況」の回答別)

（保護者：共通）問 34. お子様は過去１年以内に次のような経験をしたことがありますか。（いくつでも）

【全体】

過去1年以内にお子様が嫌な経験をしたことがある中では、「その他の嫌な経験」が 11.3%、「いじめを受けた」が 4.0%で、お子様が嫌な経験をしたことがある（計）保護者は 15.1%である。「特に嫌な経験はしていない」は 83.0%である。

【学年別】

いずれの学年でも「特に嫌な経験はしていない」が 76.1%以上である。

経年比較でみると、お子様が嫌な経験をしたことがある（計）保護者は、小3で 7.4 ポイント、小5で 8.0 ポイント、中2で 6.2 ポイント、17 歳で 5.2 ポイント増加している。

図表 2-129 過去 1 年以内のお子様の嫌な経験 ＜複数回答＞

(%)

			n	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	その他の嫌な経験	特に嫌な経験はしていない（R6のみ）	無回答/不明	お子様が嫌な経験をしたことがある（計）
全体		令和6年	4,490	4.0	0.2	0.3	11.3	83.0	2.0	15.1
		令和5年	3,204	3.9	0.1	0.4	5.1		91.1	8.9
学年	3歳	令和6年	839	0.6	－	0.2	2.3	94.9	2.1	3.0
		令和5年	816	0.2	－	0.4	1.0		98.4	1.6
	小3	令和6年	976	5.6	0.2	0.3	16.3	76.1	2.5	21.4
		令和5年	641	6.9	－	0.6	7.2		86.0	14.0
	小5	令和6年	891	5.4	0.4	0.1	13.8	79.7	1.2	19.1
		令和5年	667	5.7	0.1	0.4	5.5		88.9	11.1
	中2	令和6年	839	4.9	0.1	0.1	14.3	79.0	2.4	18.6
		令和5年	603	5.5	－	0.2	7.8		87.6	12.4
	17歳	令和6年	945	3.3	0.2	0.5	9.2	86.1	1.6	12.3
		令和5年	477	1.7	0.2	0.4	5.0		92.9	7.1
区市町村	区部		2,895	4.2	0.2	0.3	10.8	83.0	2.1	14.9
	市町村部		1,595	3.6	0.2	0.2	12.2	82.9	1.8	15.4

※お子様が嫌な経験をしたことがある（計）は「いじめを受けた」～「国籍・人種による差別を受けた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「過去1年以内のお子様の嫌な経験」の回答別に子供の幸福度をみると、「特に嫌な経験はしていない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 67.6%である。「お子様が嫌な経験をしたことがある(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 53.5%で、幸福度【低】(0～3)が 9.9%である。

図表 2-130 子供の幸福度(「過去 1 年以内のお子様の嫌な経験」の回答別)

【自由記述】

その他（過去１年以内のお子様の嫌な経験）
電車内でのいやがらせ、レストランで心ないコメント等（主に他人で子連れでは無い方からの嫌な経験）（保護者・3歳）
知らない人に急にことわりなくなでられた。（保護者・3歳）
宗教的なもんだい（保護者・3歳）
バスでおじさんに子どもだか何だか知らねーけどうるさいんだよといわれた。（保護者・3歳）
担任より否定的な指導を受けた（保護者・小3）
吃音が出ることへのからかい（保護者・小3）
事実ではないことを言われる、周囲に伝えられてしまうことがあった。（保護者・小3）
体格をからかわれた（保護者・小3）
不登校であることを同級生に揶揄された（保護者・小3）
友達に毎日からかわれて、円形脱毛症になった（保護者・小3）
仲間に入れてくれなかった（保護者・小3）
性的ないたずらを受けた（保護者・小3）
知的障害があり、奇異な目で見られた（保護者・小3）
貸したものをなくされた。泥水をかけられた。（保護者・小3）
友人とのケンカで暴力を受けた。（保護者・小5）
ちかん行為を受けました（保護者・小5）
くつをかくされた（保護者・小5）
授業で特定の教師から厳しい指導を受けた（保護者・小5）
背が低いことをバカにされた（保護者・小5）
友達に叩かれた（保護者・小5）
時々日本語が聞き取れない理解できない（保護者・小5）
学校で持ち物がなくなる。文房具、かさ、くつ、セーター（制服等）（保護者・中2）
母子家庭だからとひどい言葉を言われた（保護者・中2）
学校の先生から精神的な苦痛（保護者・中2）
不審者に追いまわされた。（保護者・中2）
障害による行動を見た人に嫌な顔をされ道をさけられた（保護者・中2）
気にしている体型のことを言われた（保護者・中2）
部活顧問からの過度な叱責（保護者・中2）
恐かつによる金銭トラブル（保護者・中2）
学校の友人同士のSNSトラブル（保護者・17 歳）
教員からの嫌がらせ（保護者・17 歳）
吃音を理解してもらえなかった（保護者・17 歳）
部活の先輩からの嫌がらせ（保護者・17 歳）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 35. お子様が通う学校について、保護者であるあなたは満足していますか。
（1つだけ）

【全体】

「やや満足」が 44.8％で最も高く、次いで「満足」が 37.3％で、子供が通う学校について、満足している（「満足」と「やや満足」の割合）保護者は 82.0％である。

【学年別】

いずれの学年でも「やや満足」が最も高く、子供が通う学校について、満足している（「満足」と「やや満足」の割合）保護者は、79.9％以上である。

図表 2-131 お子様が通う学校について、保護者であるあなたの満足度 ＜単一回答＞

※満足（計）は「満足」及び「やや満足」の割合。
　不満（計）は「不満」及び「やや不満」の割合。
※17 歳は、令和5年調査では条件分岐が異なるため、全体と 17 歳は経年比較を行っていない。

【子供の幸福度】

「お子様が通う学校について、保護者であるあなたの満足度」の回答別に子供の幸福度をみると、保護者の満足度が高いほど、子供の幸福度【高】(8～10)が高い傾向があり、「満足」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 71.7%である。

図表 2-132 子供の幸福度(「お子様が通う学校について、保護者であるあなたの満足度」の回答別)

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 36.【問 35 で「やや不満」「不満」と回答された方にお聞きします。】
お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由は何ですか。（いくつでも）

【全体】

「教師の指導力や対応・態度」が 58.6％で最も高く、次いで「PTA活動の負担」が 29.4％、「カリキュラムや指導の内容が不足」が 28.4％と続く。

【学年別】

いずれの学年でも「教師の指導力や対応・態度」が最も高い。次いで、小3と小5では「PTA活動の負担」が、それぞれ 43.2％、42.9％で、中2では「カリキュラムや指導の内容が不足」が 28.2％で、17 歳では「学費（教材費などを除く）が高い」が 35.4％である。

経年比較でみると、小5では「カリキュラムや指導の内容が不足」が 11.7 ポイント、小3では「学校からの連絡などの手段がアナログ（電話による連絡網、紙での通知や回答など）」が 8.3 ポイント、それぞれ減少している。

図表 2-133 お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由 ＜複数回答＞

(%)

			n	カリキュラムや指導の内容が不足	カリキュラムや指導の内容が難しすぎる	教師の指導力や対応・態度	校則など学校での生活上のルールが厳しい、理不尽、柔軟性がない	施設（狭小、古い、落ち着ける場所が少ないなど）	学費（教材費などを除く）が高い	学費以外の費用（教材費、給食費、課外活動費など）が高い
全　体		令和6年	633	28.4	4.6	58.6	23.9	22.6	12.5	11.7
学年	小3	令和6年	169	24.9	3.0	58.0	18.3	27.8	4.1	4.1
		令和5年	121	19.0	2.5	49.6	19.8	25.6	1.7	2.5
	小5	令和6年	154	26.6	1.9	55.2	22.7	21.4	2.6	7.1
		令和5年	107	38.3	1.9	56.1	19.6	21.5	2.8	6.5
	中2	令和6年	163	28.2	8.0	62.6	25.8	17.8	9.8	9.2
		令和5年	122	23.8	6.6	52.5	23.8	15.6	8.2	8.2
	17歳	令和6年	147	34.7	5.4	58.5	29.3	23.1	35.4	27.9
区市町村	区　部		411	28.5	3.9	58.9	24.3	19.7	13.1	10.0
	市町村部		222	28.4	5.9	58.1	23.0	27.9	11.3	14.9

			PTA活動の負担	学校からの連絡などの手段がアナログ（電話による連絡網、紙での通知や回答など）	保護者参加（観覧含む）の行事が平日に行われる（保護者会、授業参観、運動会など）	部活動関連（休日の活動や器具費用の負担など）	その他	無回答/不明
全　体		令和6年	29.4	11.4	13.4	8.5	16.4	1.6
学年	小3	令和6年	43.2	10.7	12.4	1.8	19.5	3.6
		令和5年	33.1	19.0	9.9	2.5	22.3	18.2
	小5	令和6年	42.9	15.6	18.2	2.6	18.8	0.6
		令和5年	40.2	14.0	16.8	－	24.3	1.9
	中2	令和6年	20.2	12.9	12.9	17.2	19.6	1.2
		令和5年	22.1	9.0	9.8	23.8	15.6	18.0
	17歳	令和6年	9.5	6.1	10.2	12.9	6.8	0.7
区市町村	区　部		28.5	10.7	12.4	6.8	16.5	1.7
	市町村部		31.1	12.6	15.3	11.7	16.2	1.4

※17 歳保護者は、令和5年調査では条件分岐が異なるため、全体と 17 歳は経年比較を行っていない。

図表 2-134 子供の幸福度（「お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由」の回答別）

【自由記述】

その他（お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由）
1人1人に目が行き届いているのか？（保護者・小3）
宿題とテストが多い（保護者・小3）
様子があまりみえてこない（保護者・小3）
クラス（人数）が少ない（保護者・小3）
不登校対応が不足している（保護者・小3）
運動会の縮小（保護者・小3）
校長の指導力や対応・態度（保護者・小3）
モンスターペアレントの対応（保護者・小3）
拘束時間が長い（保護者・小3）
連絡がおそい（保護者・小5）
行事が簡略化しすぎている（保護者・小5）
運動量が足りない（校庭遊びの時間も含め）（保護者・小5）
いじめに対する対応（保護者・小5）
サポートの先生が少なすぎる。特性のある子にもっと支援が必要です（保護者・小5）
PTA 活動をしていて、教員から部下のように扱われたり、理不尽に怒られたりするなどハラスメントのような言動を取られた。（保護者・小5）
教員が忙しすぎるのではないか。もっと人として大切なことを学べる場であって欲しいと感じる。（保護者・小5）
いつまでも根拠のない感染対策を残し、子どもの成長を優先していない（保護者・小5）
部活が少ない。陸上とかない。（保護者・中2）
不登校児への対応（保護者・中2）
アレルギー対応が完璧ではない（保護者・中2）
宿題等がすべてPCで親の目に届きにくい。見えない（保護者・中2）
教師と保護者の関係が希薄（保護者・中2）
保護者参加行事の人数制限。（保護者・中2）
校則・宿題がなさすぎる（保護者・中2）
子供達にも、行事や校則などを話し合う権利を与えて欲しい（保護者・中2）
学校の方針に疑問を思った時の匿名の相談窓口が欲しい（保護者・中2）
朝怪我をしたのに放課後まで連絡が来なかった。足の捻挫だったから事情を知ってたら迎えに行きたかったのに帰宅途中ですと連絡がきた。（保護者・中2）
不登校児への対応不足（保護者・中2）
不登校でも単位がとれるようにしてほしい（保護者・17 歳）
学校からの連絡が遅い（保護者・17 歳）
保護者会が少なく交流が少ない（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　子育てに良い場所である）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 50.0％で最も高く、次いで「そう思う」が 38.2％であり、住む地域は子育てに良い場所であると思っている（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 88.1％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。

経年比較でみると、「そう思う」は、3歳で 5.8 ポイント、中 2 で 5.1 ポイント増加している。また、「どちらかといえばそう思う」は、小3で 5.0 ポイント減少している。

図表 2-135　A 子育てに良い場所である ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「子育てに良い場所である」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.9%で、「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【低】(0～3)が 18.2%である。

図表 2-136 子供の幸福度(「子育てに良い場所である」の回答別) ＜単一回答＞

（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　進んで周りの人達を助けようとする）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 49.0％で最も高く、「そう思う」が 12.1％で、住む地域は進んで周りの人達を助けようとすると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 61.1％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。住む地域は進んで周りの人達を助けようとすると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は小3で 65.1％と、最も高い。

経年比較でみると、進んで周りの人達を助けようとすると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、小3では 5.4 ポイント、中2では 5.9 ポイント減少している。

図表 2-137　B 進んで周りの人達を助けようとする ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「進んで周りの人達を助けようとする」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 73.9%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 54.8%である。

図表 2-138 子供の幸福度(「進んで周りの人達を助けようとする」の回答別)

保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 42.6％で最も高く、地域の人たちは仲が良く、結びつきが強いと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 51.6％である。

【学年別】

地域の人たちは仲が良く、結びつきが強いと思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）保護者は3歳では 52.7％で、他の学年より 5.0 ポイント以上高い。

経年比較でみると、3歳で、地域の人たちは仲が良く、結びつきが強いと思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者が 11.3 ポイント増加している。

図表 2-139　C 地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い　＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が69.3%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が59.4%である。

図表 2-140 子供の幸福度(「地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い」の回答別)

（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　信用できる）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 55.4％で最も高く、住む地域は信用できると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 65.5％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。住む地域は信用できると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、3歳では 60.5％で最も低い。

経年比較でみると、住む地域は信用できると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、小3で 10.1 ポイント、中2で 7.2 ポイント、17 歳で 5.4 ポイント減少している。

図表 2-141　信用できる ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「信用できる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が72.1%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が56.5%である。

図表 2-142 子供の幸福度(「信用できる」の回答別)

（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　同じ価値観を持っている）

【全体】

「どちらかといえばそう思う」が 45.0％で最も高い。住む地域は同じ価値観を持っていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は 51.4％で、同じ価値観を持っていると思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）保護者は 47.3％と二分されている。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。

経年比較でみると、同じ価値観を持っていると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）保護者は、3歳では 7.1 ポイント、小5では 5.6 ポイント増加している。

図表 2-143　E 同じ価値観を持っている　＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「同じ価値観を持っている」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 70.0%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 60.4%である。

図表 2-144 子供の幸福度(「同じ価値観を持っている」の回答別)

（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　異なる世代間の交流が盛んである）

【全体】

「どちらかといえばそう思わない」が 43.8％で最も高く、異なる世代間の交流が盛んであると思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）保護者が 65.1％である。

【学年別】

いずれの学年でも「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、異なる世代間の交流が盛んであると思わない（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合）保護者が 64.2％以上である。

図表 2-145　F 異なる世代間の交流が盛んである ＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「異なる世代間の交流が盛んである」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 75.3%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 62.0%である。

図表 2-146 子供の幸福度(「異なる世代間の交流が盛んである」の回答別)

（保護者：共通）問 38. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）に友達や親戚はいますか。
（1つだけ）

【全体】

「友達がいる」が 39.0％で最も高い。「友達も親戚もいる」は 20.2％、「親戚がいる」は 9.7％で、「自分の住む地域にはいない」は 30.2％である。

【学年別】

3歳では、「自分の住む地域にはいない」が 42.3％で最も高い。その他の学年では、「友達がいる」が最も高い。

図表 2-147 あなたの住む地域に友達や親戚はいますか ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「あなたの住む地域に友達や親戚はいますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「友達も親戚もいる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 68.3%、「友達がいる」保護者の子供では 66.6%、「親戚がいる」保護者の子供では 65.2%である。「自分の住む地域にはいない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 59.9%である。

図表 2-148 子供の幸福度(「あなたの住む地域に友達や親戚はいますか」の回答別)

（保護者：共通）問 39. あなたは、平日（仕事などがある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）

（A　起きる時間）

【全体】

「午前6時～6時 29 分」が 26.1％で最も高く、次いで「午前6時 30 分～6時 59 分」が 22.0％である。

【学年別】

「午前6時 30 分～6時 59 分」は、3歳では 25.7％、小3では 26.0％で、最も高い。その他の学年では、「午前6時～6時 29 分」が小5では 28.7％、中2では 28.2％、17 歳では 24.1％で、最も高い。17 歳では、「午前5時～5時 29 分」が 18.6％と、他の学年より 6.1 ポイント以上高い。

【区市町村別】

市町村部では「午前5時 30 分～午前5時 59 分」が 21.8％で、区部より 5.0 ポイント高い。

図表 2-149　A 起きる時間　＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「起きる時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「午前7時～7時 29 分」に起床している保護者の子供で幸福度【高】(8～10)が 67.0%である。

図表 2-150 子供の幸福度(「起きる時間」の回答別)

（保護者：共通）問 39. あなたは、平日（仕事などがある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。（それぞれ1つ）
（B 寝る時間）

【全体】

「午後 11 時 30 分～11 時 59 分」が 16.1％で最も高く、次いで「午前0時～0時 29 分」が 15.5％である。

【学年別】

「午後 11 時 30 分～11 時 59 分」は、3歳では 15.3％、小5では 16.4％で最も高い。「午前0時～0時 29 分」は小3から学年が上がるにつれて増加傾向にあり、17 歳では 19.4％である。

図表 2-151 B 寝る時間＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「寝る時間」の回答別に子供の幸福度をみると、就寝時間が「午前0時 30 分～0時 59 分」である保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 57.8%、就寝時間が「午前 1 時～午前 11 時 59 分」である保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 59.5%である。

図表 2-152 子供の幸福度(「寝る時間」の回答別)

（保護者：共通）問 39. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。（それぞれ1つ）
（A 起きる時間）（B 寝る時間）

※上記の設問の「A 起きる時間」と「B 寝る時間」の差分から睡眠時間を算出した。

【全体】

睡眠時間は、「6時間以上7時間未満」が 34.8%、「7時間以上8時間未満」が 34.2%である。平均値は、6.87 時間である。

【学年別】

3歳、小3、小5では「7時間以上8時間未満」が最も高く、3歳では 34.0%、小3では 38.2%、小5では 37.9%である。中2と 17 歳では「6時間以上7時間未満」が最も高く、中2では 39.6%、17 歳では 44.2%である。睡眠時間の平均値は、学年が上がるにつれて短くなる傾向がある。

図表 2-153 睡眠時間 ＜単一回答＞

※睡眠時間は、「A 起きる時間」の「午前5時～5時 29 分」～「午前8時 30 分～8時 59 分」と、「B 寝る時間」の「午後9時～9時 29 分」～「午前0時 30 分～0時 59 分」の双方のいずれにも回答がある保護者について算出した。それぞれ選択肢の中間値を設定し、差分をとっている。

（例）B 寝る時間：午後9時～9時 29 分＝21 時 15 分
A 起きる時間：午前6時～6時 29 分＝6時 15 分
→睡眠時間9時間

なお、時間の幅が他の選択肢に比べて大きく中間値を設定できないため、「A 起きる時間」の「午前0時～4時 59 分」「午前9時～午前 11 時 59 分」～「起きる時間は決まっていない」と、「B 寝る時間」の「午後0時(正午)～午後8時 59 分」「午前1時～午前 11 時 59 分」「寝る時間は決まっていない」は、計算から除外している。

【子供の幸福度】

「睡眠時間」の回答別に子供の幸福度をみると、睡眠時間は「7時間以上8時間未満」である保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 68.2%である。

図表 2-154 子供の幸福度(「睡眠時間」の回答別)

（保護者：共通）問 40. あなたが平日（仕事などがある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

【全体】

「1時間～2時間未満」が 32.8％で最も高く、次いで「2時間～3時間未満」が 26.1％である。

【学年別】

いずれの学年でも「1時間～2時間未満」が 31.3％～34.4％で最も高く、次いで「2時間～3時間未満」が 24.6％～28.8％で続く。

図表 2-155 テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間 ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別に子供の幸福度をみると、幸福度【高】(8～10)は、「1時間～2時間未満」と回答した保護者の子供では 67.9%、「1時間未満」では 66.6%である。「5時間～6時間未満」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 57.4%である。

図表 2-156 子供の幸福度(「テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別)

（保護者：共通）問 41. あなたや配偶者/パートナーは、お子様とどの程度話しますか。（それぞれ1つ）
（A あなた）

【全体】

「1日2時間以上話す」が 31.7%で最も高く、次いで「1日1回は必ず話す」が 31.3%、「1日1時間くらい話す」が 28.9%である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「1日2時間以上話す」は減少傾向で、3歳の 57.4%に対して、17 歳では 15.1%で 42.3 ポイントの差がある。中2と 17 歳では「1日1回は必ず話す」が最も高い。

経年比較でみると、「1日2時間以上話す」は、3歳では 7.2 ポイント、小3では 5.2 ポイント減少している。

図表 2-157 A あなたは、お子様とどの程度話しますか ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「あなたは、お子様とどの程度話しますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「1日2時間以上話す」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 72.9%である。「1日以上話さないことがある」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 50.4%である。

図表 2-158 子供の幸福度(「あなたは、お子様とどの程度話しますか」の回答別)

（保護者：共通）問 41. あなたや配偶者/パートナーは、お子様とどの程度話しますか。（それぞれ1つ）
（B 配偶者/パートナー）※いない場合は空欄で構いません。

【全体】

「1日1回は必ず話す」が 44.7%で最も高く、次いで「1日1時間くらい話す」が 20.4%、「1日以上話さないことがある」が 17.1%である。

【学年別】

いずれの学年でも「1日1回は必ず話す」が最も高く、3歳では 32.8%、小3では 43.7%、小5では 45.3%、中2では 51.4%、17 歳では 50.6%である。3歳では、「1日2時間以上話す」が 27.8%で、他の学年より 13.7 ポイント以上高い。17 歳では、「1日以上話さないことがある」が 25.8%で、他の学年より 7.0 ポイント以上高い。

図表 2-159 B 配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「1日2時間以上話す」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 74.1%である。配偶者／パートナーは子供と「1日以上話さないことがある」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 60.1%である。

図表 2-160 子供の幸福度(「配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか」の回答別)

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　お子様は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

【全体】

「どちらかといえばあてはまる」が 47.7％で最も高く、次いで「あてはまる」が 45.6％であり、子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は 93.3％である。

【学年別】

3歳では、「あてはまる」が 64.8％で最も高く、他の学年より 17.1 ポイント以上高い。子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は学年が上がるにつれて減少傾向にあるが、3歳では 97.4％で、17 歳でも 88.6％である。

図表 2-161　A お子様は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている　＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「お子様は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 75.6%である。

図表 2-162 子供の幸福度(「お子様は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別)

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　お子様は家では安心して過ごしている）

【全体】

「あてはまる」が 66.0％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 30.8％であり、子供は家で安心して過ごしている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は 96.8％である。

【学年別】

3歳では「あてはまる」が 77.6％であり、他の学年より 10.2 ポイント以上高い。子供は家で安心して過ごしている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は、いずれの学年でも 95.0％以上である。

図表 2-163　B お子様は家では安心して過ごしている　＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「お子様は家では安心して過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 70.1％である。

図表 2-164 子供の幸福度(「お子様は家では安心して過ごしている」の回答別)

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　お子様の人生について、保護者も一緒に考えて決めている）

【全体】

「あてはまる」が 50.4％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 40.9％であり、子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は、91.3％である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」が最も高く、子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は、90.2％以上である。

経年比較でみると、中2では「どちらかといえばあてはまる」が 6.8 ポイント減少している。

図表 2-165　C お子様の人生について、保護者も一緒に考えて決めている　＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「お子様の人生について、保護者も一緒に考えて決めている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.8%である。

図表 2-166 子供の幸福度(「お子様の人生について、保護者も一緒に考えて決めている」の回答別)

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　保護者はお子様の話を聞いている）

【全体】

「あてはまる」が 49.3％で最も高く、次いで「どちらかといえばあてはまる」が 45.5％であり、保護者は子供の話を聞いている（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答した保護者は 94.8％である。

【学年別】

「あてはまる」は3歳が 60.1％で最も高く、他の学年より 11.3 ポイント以上高い。

図表 2-167 D.保護者はお子様の話を聞いている ＜単一回答＞

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「保護者はお子様の話を聞いている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 71.3%である。

図表 2-168 子供の幸福度(「保護者はお子様の話を聞いている」の回答別)

（保護者：共通）問 43（1）．あなたが、これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたことは何ですか。
（いくつでも）

【全体】

「国内旅行」が 93.3%、「遊園地・テーマパーク」が 93.2%で上位に挙がり、「図書館」が 85.4%で続いている。

【学年別】

いずれの学年でも「国内旅行」「遊園地・テーマパーク」「図書館」が上位3項目である。次いで、3歳では「自然体験」が 55.8%であるが、他の学年では「美術館や博物館、科学館」が4番目に高い。

経年比較でみると、いずれの学年でも「スポーツ施設」と「プレーパーク・冒険遊び場」が増加している。

【区市町村別】

区部では「海外旅行」が、市町村部より 12.3 ポイント高い。ほかにも、「劇場」は 9.6 ポイント、「職業体験・アルバイト」は 8.1 ポイント、区部が市町村部より高い。

図表 2-169 これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたこと ＜複数回答＞

(%)

			n	美術館や博物館、科学館	劇場	図書館	スポーツ施設	自然体験	キャンプ	プレーパーク・冒険遊び場	職業体験・アルバイト
全体		令和6年	4,490	78.0	46.6	85.4	72.4	71.0	41.2	58.0	30.0
		令和5年	3,204	65.6	38.4	80.4	60.9	60.6	35.5	41.6	21.6
学年	3歳	令和6年	839	49.9	22.6	67.5	38.5	55.8	19.8	52.3	6.1
		令和5年	816	32.0	13.4	61.6	22.8	38.7	14.3	31.9	2.9
	小3	令和6年	976	82.6	49.3	92.6	80.3	73.9	43.6	60.9	34.2
		令和5年	641	77.2	41.3	89.5	74.4	70.5	41.8	47.4	26.5
	小5	令和6年	891	85.1	48.3	90.3	79.8	77.1	45.0	59.9	32.0
		令和5年	667	74.8	45.6	88.6	73.2	65.7	43.9	48.1	26.7
	中2	令和6年	839	86.1	53.0	89.4	81.0	74.9	47.8	60.3	32.7
		令和5年	603	76.3	50.1	85.2	73.5	68.2	43.1	41.0	24.2
	17歳	令和6年	945	84.6	57.9	85.5	79.7	72.4	48.0	56.2	42.4
		令和5年	477	80.9	52.6	82.6	74.6	68.3	42.1	42.3	36.3
区市町村	区部		2,895	79.2	50.0	86.9	73.6	71.6	40.3	58.8	32.8
	市町村部		1,595	75.9	40.4	82.5	70.3	70.0	42.6	56.6	24.7

			ボランティア体験	遊園地・テーマパーク	国内旅行	海外旅行	留学	特にない（R6のみ）	無回答／不明	これまでに行った場所／体験させたことがある（計）
全体		令和6年	12.4	93.2	93.3	27.3	3.4	0.2	1.2	98.6
		令和5年	10.0	88.3	88.4	25.0	3.1		2.7	97.3
学年	3歳	令和6年	2.6	82.8	87.8	11.9	0.8	0.5	2.4	97.1
		令和5年	1.3	76.3	78.3	7.2	1.6		4.9	95.1
	小3	令和6年	10.5	96.9	95.3	27.2	0.9	－	0.5	99.5
		令和5年	8.6	95.2	93.8	27.1	1.7		0.6	99.4
	小5	令和6年	9.8	95.8	94.7	28.6	1.7	－	0.9	99.1
		令和5年	11.4	92.4	92.7	28.2	3.1		1.5	98.5
	中2	令和6年	17.3	94.9	94.2	30.0	2.1	0.2	1.1	98.7
		令和5年	13.8	91.5	90.2	35.0	3.6		2.3	97.7
	17歳	令和6年	21.3	94.7	93.9	37.7	10.9	0.2	1.3	98.5
		令和5年	20.1	89.5	89.9	35.2	6.7		3.6	96.4
区市町村	区部		12.9	93.6	93.7	31.7	3.6	0.2	0.9	98.8
	市町村部		11.5	92.5	92.5	19.4	3.0	0.1	1.7	98.2

※これまでに行った場所／体験させたことがある（計）は「美術館や博物館、科学館」～「留学」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたこと」の回答別に子供の幸福度をみると、「これまでに行った場所/体験させたことがある(計)」の保護者の子供は、幸福度【高】(8～10)の割合が 65.0%である。

図表 2-170 子供の幸福度(「これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたこと」の回答別)

（保護者：共通）問 43（2）．今後、お子様と一緒に行きたい場所や体験させたいことは何ですか。既に行っていて、再度行いたい場合も含めてお答えください。（いくつでも）

【全体】

「海外旅行」が 64.6％で最も高く、次いで「職業体験・アルバイト」が 51.7％、「留学」が 51.6％、「キャンプ」が 51.5％、「ボランティア体験」が 50.4％、「劇場」が 49.0％、「国内旅行」が 46.6％、「美術館や博物館、科学館」が 45.6％、「自然体験」が 42.9％で続いている。

【学年別】

いずれの学年でも「海外旅行」が最も高く、3歳では 70.0％である。次いで、3歳と小5では「キャンプ」が、小3では「ボランティア体験」が、中2では「留学」が、17 歳では「国内旅行」が、2番目に高い。

経年比較でみると、いずれの学年でも「図書館」、「遊園地・テーマパーク」、「国内旅行」が増加している。

【区市町村別】

区部では「留学」が、市町村部より 7.8 ポイント高い。

図表 2-171 今後、お子様と一緒に行きたい場所や体験させたいこと ＜複数回答＞

(%)

			n	美術館や博物館、科学館	劇場	図書館	スポーツ施設	自然体験	キャンプ	プレーパーク・冒険遊び場	職業体験・アルバイト
全体		令和6年	4,490	45.6	49.0	31.4	37.3	42.9	51.5	31.6	51.7
		令和5年	3,204	31.1	45.5	14.2	27.0	33.3	49.2	33.5	54.3
学年	3歳	令和6年	839	56.6	54.1	39.9	53.5	54.6	68.3	47.7	60.4
		令和5年	816	58.2	62.9	27.0	56.0	55.5	70.0	48.0	63.7
	小3	令和6年	976	49.6	52.0	38.6	37.9	46.9	55.5	40.7	55.8
		令和5年	641	25.0	47.1	12.6	20.4	27.6	47.7	35.6	55.1
	小5	令和6年	891	44.3	51.6	32.8	36.1	43.7	53.8	32.8	52.0
		令和5年	667	25.0	43.2	10.5	18.4	30.6	44.2	33.3	52.8
	中2	令和6年	839	43.6	48.0	27.2	35.3	41.8	46.7	24.1	48.5
		令和5年	603	21.7	35.5	9.5	16.9	24.2	42.1	26.2	55.1
	17歳	令和6年	945	34.5	39.9	18.9	25.2	28.6	34.7	13.7	42.2
		令和5年	477	13.2	29.4	5.9	10.9	18.4	31.7	15.1	38.4
区市町村	区部		2,895	45.3	48.4	31.2	36.8	43.1	50.7	31.9	51.5
	市町村部		1,595	46.1	50.2	31.9	38.2	42.6	53.0	31.1	52.0

			ボランティア体験	遊園地・テーマパーク	国内旅行	海外旅行	留学	その他	特にない（R6のみ）	無回答／不明	今後行きたい場所／体験させたいことがある（計）
全体		令和6年	50.4	38.5	46.6	64.6	51.6	1.2	0.5	4.9	94.5
		令和5年	56.1	14.0	17.3	60.6	59.1	1.8		6.3	93.7
学年	3歳	令和6年	50.2	42.1	41.1	70.0	52.1	1.4	0.4	2.7	96.9
		令和5年	55.6	24.6	23.2	74.8	56.3	2.1		1.7	98.3
	小3	令和6年	57.4	41.1	45.9	66.3	54.4	1.2	0.2	3.5	96.3
		令和5年	63.7	10.3	12.0	60.5	63.3	2.2		6.1	93.9
	小5	令和6年	53.2	38.9	44.8	66.0	52.7	0.9	0.6	3.5	96.0
		令和5年	59.2	10.5	13.2	59.5	62.8	1.3		6.0	94.0
	中2	令和6年	48.2	39.8	52.0	65.6	53.4	1.1	0.5	5.6	93.9
		令和5年	55.1	11.8	17.6	52.4	60.0	2.0		8.1	91.9
	17歳	令和6年	42.8	31.0	49.3	55.9	45.7	1.4	1.1	9.1	89.8
		令和5年	43.8	8.8	19.5	48.6	51.8	1.0		12.4	87.6
区市町村	区部		51.4	38.2	46.5	65.1	54.4	1.1	0.6	4.6	94.8
	市町村部		48.5	38.9	46.8	63.6	46.6	1.3	0.4	5.5	94.1

※今後行きたい場所／体験させたいことがある（計）は「美術館や博物館、科学館」～「留学」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「今後、お子様と一緒に行きたい場所や体験させたいこと」の回答別に子供の幸福度をみると、「今後行きたい場所／体験させたいことがある（計）」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 65.5％である。

図表 2-172 子供の幸福度（「今後、お子様と一緒に行きたい場所や体験させたいこと」の回答別）

【自由記述】

その他（お子様と今後行きたい場所／体験させたいこと）
動物園、水族館（保護者・3歳）
子供がいきたい所（保護者・3歳）
音楽鑑賞（保護者・3歳）
プログラム、電子工作（保護者・3歳）
豪華な料理（保護者・3歳）
茶道のお稽古（保護者・3歳）
習いごと（保護者・3歳）
親がいない泊りの教育や遊び（保護者・小3）
地域の学校に通わせたい（保護者・小3）
日本にいながら国際交流（保護者・小3）
海水浴（保護者・小3）
料理、物作り（保護者・小3）
長時間乗り物に乗ること（保護者・小3）
サーカス（保護者・小3）
お祭りの出店やみこし（保護者・小5）
モノ作り体験（保護者・小5）
スポーツ観戦（保護者・小5）
投資、金融教育（保護者・小5）
田舎、疎開体験（保護者・小5）
気球に乗りに行ってみたいです（保護者・中2）
神社、仏閣（保護者・中2）
友達と旅行（保護者・中2）
やりたいと言い出した事全て（保護者・中2）
野球観戦（保護者・中2）
演奏会（保護者・中2）
メンタル治療（保護者・中2）
推し活（保護者・17 歳）
保育介護（保護者・17 歳）
勉強・大学訪問（保護者・17 歳）
伊勢神宮（保護者・17 歳）
シンポジウムなど（保護者・17 歳）
起業（保護者・17 歳）
音楽ライブ・コンサート（保護者・17 歳）
クジラと泳ぐ（保護者・17 歳）
外食（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 44. あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか。最もなってほしいものを選んでください。（1つだけ）

【全体】

「好きな仕事をしている」が 48.5％で最も高く、次いで「経済的に豊かな暮らしをしている」が 20.0％、「趣味や余暇を楽しんでいる」が 9.9％である。

【学年別】

いずれの学年でも「好きな仕事をしている」が最も高い。「趣味や余暇を楽しんでいる」は、3歳では 15.0％で、他の学年に比べて 6.0 ポイント以上高い。

図表 2-173 あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「お子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供を育てている」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 70.8%である。

図表 2-174 子供の幸福度(「お子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか」の回答別)

【自由記述】

その他（お子様の将来がどのようになってほしいと考えているか）
社会・世の中で役に立つ、人の為になることをしてほしい。（保護者・3歳）
自己肯定感をもっていてほしい（保護者・3歳）
目標を持ちいきいきと過ごしている（保護者・3歳）
自立して楽しい日々を過ごしている（保護者・3歳）
健康で心のゆとりのあるくらしをしている（保護者・3歳）
自分で人生を選択している（保護者・3歳）
精神的に満たされている（保護者・3歳）
好きなことを見つけてたのしく充実してすごしていてほしい（保護者・小3）
自己実現をしている（保護者・小3）
本人が自分で選択した人生を楽しんでいるといいと思う。自分らしくあってほしい。（保護者・小3）
自分の"好き"を大事に暮らしている。（保護者・小3）
健康で安全なくらしをしている。（保護者・小3）
毎日笑顔ですごせている（保護者・小3）
自由に自分に合った生活をしている（保護者・小3）
精神的自由を手に入れている（保護者・小5）
友人に恵まれる（保護者・小5）
自立できている（保護者・小5）
本人が充実した日々を過ごす（保護者・小5）
安心、安全に過ごしている（保護者・小5）
自分のやりたいことに挑戦している（保護者・小5）
人生を楽しんでほしい。（保護者・中2）
人に迷惑をかけず自立して楽しく（保護者・中2）
戦争で左右されない平和な暮らしをしている（保護者・中2）
心も体も元気でいてほしい（保護者・中2）
前向きに暮している（保護者・中2）
行政の手助けを受けつつも自活している（保護者・中2）
リーダーシップをとる（保護者・中2）
自立して、人生を楽しんでいる（保護者・中2）
周りの人に大切にされ、大切にしている（保護者・17 歳）
自分の選んだ生き方、自分のやりたい、思いえがいた生き方をしている（保護者・17 歳）
心身共に健康に過ごしてほしいです（保護者・17 歳）
自分を好きでいてほしい（保護者・17 歳）
どんな状況になっても諦めずに何度でも生き直す力をつけてほしい。（保護者・17 歳）
自分を大切に、自分らしく（保護者・17 歳）
健康で安全に暮らしている（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 45. お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか。（1つだけ）

【全体】

「大学まで」が 72.5％で最も高く、次いで「大学院まで」が 6.7％である。なお、10.7％は「まだ分からない」と回答している。

【学年別】

いずれの学年でも「大学まで」が最も高い。

図表 2-175 お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「大学院まで」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 69.7%である。「短大・高専・専門学校まで」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 55.8%である。

図表 2-176 子供の幸福度(「お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか」の回答別)

【自由記述】

その他（お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか）
本人の希望に合わせて進学させたい（保護者・3歳）
子供と都度相談して一緒に決めます（保護者・3歳）
本人が望むところまで（保護者・3歳）
自分で決めてからおうえんする（保護者・小3）
こだわりはない（保護者・小3）
専門的なことが学べる進路についてほしい（保護者・小5）
本人が希望する学校まで（保護者・小5）
話し合って決めます（保護者・小5）
やりたい職業に必要なところまで（保護者・小5）
子供が進みたい段階まで（保護者・中2）
高校以上で本人の希望通り（保護者・中2）
子供の好きなようにさせたい（保護者・中2）
本人の希望次第（保護者・17 歳）
本人の望むままに、親がどうこう決めることじゃない本人は大学を検討中。（保護者・17 歳）
本人が望むままに→現在は大学進学を希望してます。もし大学院と言えば行かせてあげたいです。（保護者・17 歳）
大学までですが、本人が希望すれば大学院も（保護者・17 歳）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 46.【問 45 で「中学まで」～「大学院まで」「その他」と回答された方にお聞きします。】
それは、お子様の希望と合っていると思いますか。（1つだけ）

【全体】
「そう思う」が 60.1％で最も高く、次いで「お子様の希望が決まっていない」が 36.9％である。

【学年別】
小3では「お子様の希望が決まっていない」が 54.7％で、小5、中2、17 歳では「そう思う」がそれぞれ 53.3％、63.7％、80.5％で最も高い。「お子様の希望が決まっていない」は、学年が上がるにつれて減少傾向にあり、小3では 54.7％に対して、17 歳では 16.3％である。

経年比較でみると、小5で「そう思う」が 6.8 ポイント増加し、「お子様の希望進路が決まっていない」は 5.5 ポイント減少している。

図表 2-177 それは、お子様の希望と合っていると思いますか ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「それは、お子様の希望と合っていると思いますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 66.1%である。「そう思わない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 60.5%である。

図表 2-178 子供の幸福度(「それは、お子様の希望と合っていると思いますか」の回答別)

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 47. お子様の将来の夢や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことだと考えていますか。（いくつでも）

【全体】

「進学費用が足りないなどの経済的な問題」が 47.2％で最も高く、次いで「お子様の努力不足」が 31.9％、「お子様の希望する将来像や進路を実現する方法が分からない」が 28.3％である。

【学年別】

いずれの学年でも「進学費用が足りないなどの経済的な問題」が最も高い。

図表 2-179 お子様の将来の夢や進路に関する問題 ＜複数回答＞

(%)

		n	進学費用が足りないなどの経済的な問題	お子様の希望する将来像や進路を実現する方法が分からない	親／保護者とお子様の考え方の違い	お子様の健康上の問題	お子様の努力不足	その他	特に問題はない	無回答／不明	将来像や進路の問題になり得ることがある（計）
全 体		3,651	47.2	28.3	11.7	5.0	31.9	3.9	17.8	1.0	81.2
学年	小3	976	52.6	27.7	14.5	4.2	27.9	4.5	16.8	1.1	82.1
	小5	891	48.6	29.1	12.6	3.4	27.9	3.8	18.3	0.9	80.8
	中2	839	42.4	32.5	11.6	4.9	37.2	4.9	17.0	1.1	81.9
	17歳	945	44.7	24.7	8.0	7.5	34.9	2.3	19.0	1.1	79.9
区市町村	区 部	2,330	46.7	29.2	11.3	4.5	31.6	3.6	18.4	0.8	80.9
	市町村部	1,321	48.1	26.9	12.4	6.0	32.2	4.2	16.8	1.5	81.7

※将来像や進路の問題になり得ることがある（計）は「進学費用が足りないなどの経済的な問題」～「お子様の努力不足」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「お子様の将来の夢や進路に関する問題」の回答別に子供の幸福度をみると、「特に問題はない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 72.9%である。「将来像や進路の問題になり得ることがある(計)」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 63.1%である。

図表 2-180 子供の幸福度(「お子様の将来の夢や進路に関する問題」の回答別)

【自由記述】

その他（お子様の将来の夢や進路に関する問題）
母親が他界し、私達祖父母が高齢になっていくので相談にのってあげられるか心配（保護者・小3）
習い事の送迎ができないため能力を伸ばしきれない（保護者・小3）
身体能力（運動能力）（保護者・小3）
親の健康（保護者・小3）
学校で授業に参加できていない（保護者・小3）
親の病気（保護者・小5）
親が高齢なこと。（保護者・小5）
コミュニケーションの問題（保護者・小5）
不登校状態から大学にきちんと通える状態になれるための支援をどのようにしたらよいかわからない（保護者・小5）
小学生のうちに中学受験をするしないの選択が発生する東京ならではの問題（保護者・小5）
今現在あまり学校に行けていない。（保護者・中2）
受験までにかかる本人の様々な負担（精神的、身体的）（保護者・中2）
引きこもる可能性が高い（保護者・中2）
新しい環境に馴染みにくい（保護者・中2）
高齢出産であったため、いつまで子供の将来を見とどけサポートしていけるかわからない（保護者・中2）
将来の夢や希望がないー「なりたい職業」もない 「何を学びたい」もない（保護者・17 歳）
10代で夢や将来を具体的にしないといけないという世間や主に学校のプレッシャー、まだわからなくて当然だと思う（保護者・17 歳）
具体的な将来像を持てていない（保護者・17 歳）
日本の未来に不安があるのでどの国でも暮らせるように海外の大学に行かせたかったが資金不足で断念した（保護者・17 歳）
夜、寝るのが遅い→時間をうまく使っていない（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 48. あなたの世帯の世帯年収は、次のうちどれですか。（1つだけ）

【全体】

「1000 万円以上、1200 万円未満」が 15.7％で最も高く、次いで「900 万円以上、1000 万円未満」が 9.8％、「800 万円以上、900 万円未満」が 9.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「1000 万円以上、1200 万円未満」が最も高く、次いで、3歳では「800 万円以上、900 万円未満」が 11.2％で、その他の学年では「900 万円以上、1000 万円未満」である。

図表 2-181 あなたの世帯の世帯年収 ＜単一回答＞

【子供の幸福度】

「世帯年収」の回答別に子供の幸福度をみると、「2000 万円以上」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 70.9%である。

図表 2-182 子供の幸福度(「世帯年収」の回答別)

（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（A　学費（教材費などを除く））

【全体】

「あまり負担に感じない」が 28.1％で最も高い。学費（教材費などを除く）を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は 50.2％である。

【学年別】

3歳、中2、17 歳では、学費（教材費などを除く）を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者が 50.8％以上である。小3、小5では、学費（教材費などを除く）を負担に感じていない（「負担に感じない」と「あまり負担に感じない」の割合）保護者が 57.7％以上である。

図表 2-183　A 学費（教材費などを除く）＜単一回答＞

※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「学費（教材費などを除く）」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 60.8%、「やや負担に感じる」と回答した保護者の子供では 61.4%である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】（8～10）が 70.0%である。

図表 2-184 子供の幸福度（「学費（教材費などを除く）」の回答別）

（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（B　教材費や給食費、通学費など、学費以外の学校にかかる費用）

【全体】

「あまり負担に感じない」が 33.5％で最も高い。教材費や給食費、通学費など、学費以外の学校にかかる費用を負担に感じていない（「負担に感じない」と「あまり負担に感じない」の割合）保護者は 57.5％である。

【学年別】

17 歳では、「負担に感じる」が 30.6％で最も高く、教材費や給食費、通学費など、学費以外の学校にかかる費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は 58.6％である。

経年比較でみると、3歳では、教材費や給食費、通学費など、学費以外の学校にかかる費用を負担に感じていない（「負担に感じない」と「あまり負担に感じない」の割合）保護者が 6.2 ポイント増加している。

図表 2-185　B 教材費や給食費、通学費など、学費以外の学校にかかる費用＜単一回答＞

※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「教材費や給食費、通学費など、学費以外の学校にかかる費用」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 57.2%である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 70.6%である。

図表 2-186 子供の幸福度(「教材費や給食費、通学費など、学費以外の学校にかかる費用」の回答別)

（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（C　塾や習い事に関する費用）

【全体】

「負担に感じる」が 40.9％で最も高く、次いで「やや負担に感じる」が 31.5％である。塾や習い事に関する費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は 72.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「負担に感じる」が最も高く、次いで「やや負担に感じる」である。塾や習い事に関する費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は、小3で 78.7％、小5で 78.3％、中2で 74.1％である。

図表 2-187　C 塾や習い事に関する費用＜単一回答＞

※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「塾や習い事に関する費用」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 62.2%である。

図表 2-188 子供の幸福度(「塾や習い事に関する費用」の回答別)

（保護者：17 歳、中2、小5）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 部活（クラブ活動）に関する費用）

【全体】

「負担に感じない」が 42.0％で最も高く、次いで「あまり負担に感じない」が 33.9％である。部活（クラブ活動）に関する費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は 20.9％である。

【学年別】

いずれの学年でも「負担に感じない」が最も高い。部活（クラブ活動）に関する費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は、学年が上がるにつれて増加傾向にあり、小5では 15.0％、中2では 20.9％、17 歳では 26.3％である。

経年比較でみると、小5では、「負担に感じない」が 5.8 ポイント増加している。

図表 2-189 D 部活（クラブ活動）に関する費用＜単一回答＞

※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。
負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「部活(クラブ活動)に関する費用」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 55.3%である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 64.4%である。

図表 2-190 子供の幸福度(「部活(クラブ活動)に関する費用」の回答別)

（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（E　食費）

【全体】

「やや負担に感じる」が 31.0％で最も高く、食費を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は 52.8％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、食費を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は減少傾向である。

経年比較でみると、食費を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は、3歳では 10.2 ポイント、小3では 5.0 ポイント、17 歳では 7.6 ポイント増加している。

図表 2-191　E 食費＜単一回答＞

※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「食費」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が61.1%である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は69.0%である。

図表 2-192 子供の幸福度(「食費」の回答別)

（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（F　住居費）

【全体】

「あまり負担に感じない」が 26.6％で最も高く、次いで「負担に感じる」が 25.9％、「やや負担に感じる」が 25.6％である。住居費を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は 51.5％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、住居費を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は減少傾向である。

経年比較でみると、住居費を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は、3歳で 6.7 ポイント、17 歳では 7.6 ポイント増加している。

図表 2-193　F 住居費＜単一回答＞

※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「住居費」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 68.1%である。

図表 2-194 子供の幸福度(「住居費」の回答別)

（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（G　旅行やレジャーなどにかかる費用）

【全体】

「やや負担に感じる」が 36.8％で最も高く、旅行やレジャーなどにかかる費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は 63.1％である。

【学年別】

旅行やレジャーなどにかかる費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は、小3で 68.2％、小5で 67.1％である。

経年比較でみると、旅行やレジャーなどにかかる費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は、3歳では 9.1 ポイント、17 歳では 12.6 ポイント増加している。

図表 2-195　G 旅行やレジャーなどにかかる費用＜単一回答＞

※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「旅行やレジャーなどにかかる費用」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 61.4%であるが、「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 67.2%である。

図表 2-196 子供の幸福度(「旅行やレジャーなどにかかる費用」の回答別)

（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（H　靴や洋服などの服飾費用）

【全体】

「あまり負担に感じない」が 35.7％で最も高い。靴や洋服などの服飾費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は、49.0％である。

【学年別】

靴や洋服などの服飾費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は、3歳が53.6％で最も高い。

経年比較でみると、靴や洋服などの服飾費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は、17 歳で 10.3 ポイント増加している。

図表 2-197　H 靴や洋服などの服飾費用＜単一回答＞

※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「靴や洋服などの服飾費用」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 58.5%である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 68.8%である。

図表 2-198 子供の幸福度(「靴や洋服などの服飾費用」の回答別)

（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（I パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用）

【全体】

「やや負担に感じる」が 31.7％と最も高く、「負担に感じる」は 23.2％である。パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は 54.9％である。

【学年別】

学年が上がるにつれて、パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用を負担に感じている（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）保護者は増加傾向にあり、17 歳では 65.1％である。

図表 2-199 I パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用＜単一回答＞

※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じる」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 57.7%である。「負担に感じない」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)は 71.4%である。

図表 2-200 子供の幸福度(「パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用」の回答別)

（保護者：共通）問 50. すべての子供は同じひとりの人間としてたくさんの権利を持っています。子供だけが持つ権利もあります。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。

（1つだけ）

【全体】

「少しだけ知っていた」が 33.4%で最も高く、次いで「よく知っていた」が 33.2%であり、子供が権利の主体であることを知っていた（「よく知っていた」と「少しだけ知っていた」の割合）保護者は 66.5%である。

【学年別】

子供が権利の主体であることを知っていた（「よく知っていた」と「少しだけ知っていた」の割合）保護者は、3歳で 67.7%、小3では 67.0%、小5では 64.6%、中2では 65.2%、17 歳では 68.0%である。

図表 2-201　子供が権利の主体であることの認知度　＜単一回答＞

※知っていた（計）は「よく知っていた」及び「少しだけ知っていた」の割合。

【子供の幸福度】

「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「よく知っていた」と回答した保護者の子供では、幸福度【高】(8～10)が 66.8%である。

図表 2-202 子供の幸福度(「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別)

（保護者：共通）問 51. 東京都では、子供の権利が大切にされ、みんなが幸せに過ごせるように「東京都こども基本条例」を定めています。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。（1つだけ）

【全体】

「東京都こども基本条例」の内容を知っていた(「内容をよく知っていた」と「内容を少しだけ知っていた」の割合)保護者は、22.3％である。「全く知らなかった」は 49.4％である。

【学年別】

「東京都こども基本条例」の内容を知っていた(「内容をよく知っていた」と「内容を少しだけ知っていた」の割合)保護者は、3歳で19.3％、小3では21.8％、小5では20.7％、中2では23.0％、17 歳では26.2％である。

図表 2-203 東京都こども基本条例の認知度 ＜単一回答＞

※内容を知っていた（計）は「内容をよく知っていた」及び「内容を少しだけ知っていた」の割合

【子供の幸福度】

「東京都こども基本条例の認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「内容をよく知っていた」と回答した保護者の子供では幸福度【高】(8～10)が 70.2%である。

図表 2-204 子供の幸福度(「東京都こども基本条例の認知度」の回答別)

3. その他

（1）ギャップ分析

【子供と保護者の差】

子供と保護者の回答に差があるもののうち、特徴的なものについて触れている。

（子供：共通）問 11. あなたが、20 年後に一番叶えたいことは何ですか。（1つだけ）

（保護者：共通）問 44. あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか。最もなってほしいものを選んでください。（1つだけ）

【全体】

「好きな仕事をしている」と回答した割合は、保護者の方が子供より 14.1 ポイント高い。「趣味や余暇（自由に使える時間）を楽しんでいる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 9.4 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも保護者の方が「好きな仕事をしている」と回答した割合が高く、「趣味や余暇（自由に使える時間）を楽しんでいる」は子供の方が高い。

図表 3- 1　20 年後に一番叶えたいこと　＜単一回答＞

			調査数	あなたが、20年後に一番叶えたいことは何ですか								
				好きな仕事をしている	結婚している／パートナーと暮らしている	子供を育てている	好きな国・地域で暮らしている	経済的に豊かな暮らし（十分なお金があって豊かな暮らし）をしている	趣味や余暇（自由に使える時間）を楽しんでいる	その他	特にない（子供のみ）	無回答/不明
全　体		保護者	3,347	1708	193	178	125	643	290	176		34
			100.0	51.0	5.8	5.3	3.7	19.2	8.7	5.3		1.0
		子供	3,347	1234	307	250	111	631	606	54	99	55
			100.0	36.9	9.2	7.5	3.3	18.9	18.1	1.6	3.0	1.6
		差		14.1	−3.4	−2.2	0.4	0.3	−9.4	3.7		−0.6
学年	小3	保護者	918	467	63	55	36	159	78	51		9
			100.0	50.9	6.9	6.0	3.9	17.3	8.5	5.6		1.0
		子供	918	328	78	112	26	183	118	27	33	13
			100.0	35.7	8.5	12.2	2.8	19.9	12.9	2.9	3.6	1.4
		差		15.2	−1.6	−6.2	1.1	−2.6	−4.4	2.7		−0.4
	小5	保護者	844	421	44	44	29	186	74	40		6
			100.0	49.9	5.2	5.2	3.4	22.0	8.8	4.7		0.7
		子供	844	321	58	77	20	155	151	10	19	33
			100.0	38.0	6.9	9.1	2.4	18.4	17.9	1.2	2.3	3.9
		差		11.9	−1.7	−3.9	1.0	3.6	−9.1	3.5		−3.2
	中2	保護者	765	400	45	36	34	142	64	37		7
			100.0	52.3	5.9	4.7	4.4	18.6	8.4	4.8		0.9
		子供	765	321	70	22	35	112	166	9	25	5
			100.0	42.0	9.2	2.9	4.6	14.6	21.7	1.2	3.3	0.7
		差		10.3	−3.3	1.8	−0.2	4.0	−13.3	3.6		0.2
	17歳	保護者	820	420	41	43	26	156	74	48		12
			100.0	51.2	5.0	5.2	3.2	19.0	9.0	5.9		1.5
		子供	820	264	101	39	30	181	171	8	22	4
			100.0	32.2	12.3	4.8	3.7	22.1	20.9	1.0	2.7	0.5
		差		19.0	−7.3	0.4	−0.5	−3.1	−11.9	4.9		1.0

（子供：共通）問 17. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。（1つだけ）

（保護者：共通）問 45. お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか。（1つだけ）

【全体】

「大学卒業後」と回答した割合は、保護者の方が子供より 20.8 ポイント高い。「まだ分からない」と回答した割合は、子供の方が保護者より 13.9 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも保護者の方が「大学卒業後」と回答した割合が高く、「まだ分からない」は子供の方が高い。

図表 3-2　社会に出て働くタイミング＜単一回答＞

			調査数	あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか（学校に所属しながらのアルバイトは除く）							
				中学卒業後（すでに就労している）	高校卒業後	短大・専門学校卒業後	大学卒業後	大学院（大学よりも上の学校）卒業後	その他	まだ分からない	無回答/不明
全　体		保護者	3,347	2	114	190	2399	231	39	348	24
			100.0	0.1	3.4	5.7	71.7	6.9	1.2	10.4	0.7
		子供	3,347	56	313	215	1702	204	12	812	33
			100.0	1.7	9.4	6.4	50.9	6.1	0.4	24.3	1.0
		差		−1.6	−6.0	−0.7	20.8	0.8	0.8	−13.9	−0.3
学年	小3	保護者	918	0	18	30	678	55	12	118	7
			100.0	−	2.0	3.3	73.9	6.0	1.3	12.9	0.8
		子供	918	26	102	43	358	45	7	321	16
			100.0	2.8	11.1	4.7	39.0	4.9	0.8	35.0	1.7
		差		−2.8	−9.1	−1.4	34.9	1.1	0.5	−22.1	−0.9
	小5	保護者	844	0	33	45	589	63	7	101	6
			100.0	−	3.9	5.3	69.8	7.5	0.8	12.0	0.7
		子供	844	15	95	52	361	49	3	266	3
			100.0	1.8	11.3	6.2	42.8	5.8	0.4	31.5	0.4
		差		−1.8	−7.4	−0.9	27.0	1.7	0.4	−19.5	0.3
	中2	保護者	765	1	33	52	552	44	7	71	5
			100.0	0.1	4.3	6.8	72.2	5.8	0.9	9.3	0.7
		子供	765	12	61	57	437	40	2	147	9
			100.0	1.6	8.0	7.5	57.1	5.2	0.3	19.2	1.2
		差		−1.5	−3.7	−0.7	15.1	0.6	0.6	−9.9	−0.5
	17歳	保護者	820	1	30	63	580	69	13	58	6
			100.0	0.1	3.7	7.7	70.7	8.4	1.6	7.1	0.7
		子供	820	3	55	63	546	70	0	78	5
			100.0	0.4	6.7	7.7	66.6	8.5	−	9.5	0.6
		差		−0.3	−3.0	0.0	4.1	−0.1	1.6	−2.4	0.1

（子供：共通）問 18. 自分の描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。

（いくつでも）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）

問 47. お子様の将来の夢や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことだと考えていますか。

（いくつでも）

【全体】

「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」と回答した割合は、保護者の方が子供より 24.7 ポイント高い。また、「保護者の理解が得られない、考え方の違い」も保護者の方が子供より 6.3 ポイント高い。「自分の努力不足」は、子供の方が保護者よりも 5.0 ポイント高い。

「特に問題はない」は、保護者の方が子供より 6.0 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」と回答した割合は保護者の方が高くなっている。17 歳では、「自分の努力不足」が保護者よりも子供の方が 17.7 ポイント高い。

図表 3-3 将来像や進路を難しくしている問題＜複数回答＞

			調査数	自分の描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか								
				進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）	希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない	保護者の理解が得られない、考え方の違い	自分の健康上の問題	自分の努力不足	その他	まだ分からない（子供のみ）	特に問題はない	無回答/不明
全体		保護者	3,347	1595	954	398	168	1051	123		597	36
			100.0	47.7	28.5	11.9	5.0	31.4	3.7		17.8	1.1
		子供	3,347	770	940	186	294	1217	37	887	396	29
			100.0	23.0	28.1	5.6	8.8	36.4	1.1	26.5	11.8	0.9
		差		24.7	0.4	6.3	−3.8	−5.0	2.6		6.0	0.2
学年	小3	保護者	918	486	250	133	38	251	41		154	11
			100.0	52.9	27.2	14.5	4.1	27.3	4.5		16.8	1.2
		子供	918	187	174	38	91	171	8	340	166	16
			100.0	20.4	19.0	4.1	9.9	18.6	0.9	37.0	18.1	1.7
		差		32.5	8.2	10.4	−5.8	8.7	3.6		−1.3	−0.5
	小5	保護者	844	415	251	105	27	230	30		155	8
			100.0	49.2	29.7	12.4	3.2	27.3	3.6		18.4	0.9
		子供	844	221	186	39	89	246	9	271	119	2
			100.0	26.2	22.0	4.6	10.5	29.1	1.1	32.1	14.1	0.2
		差		23.0	7.7	7.8	−7.3	−1.8	2.5		4.3	0.7
	中2	保護者	765	328	253	91	39	283	35		133	8
			100.0	42.9	33.1	11.9	5.1	37.0	4.6		17.4	1.0
		子供	765	157	261	49	47	368	5	175	53	6
			100.0	20.5	34.1	6.4	6.1	48.1	0.7	22.9	6.9	0.8
		差		22.4	−1.0	5.5	−1.0	−11.1	3.9		10.5	0.2
	17歳	保護者	820	366	200	69	64	287	17		155	9
			100.0	44.6	24.4	8.4	7.8	35.0	2.1		18.9	1.1
		子供	820	205	319	60	67	432	15	101	58	5
			100.0	25.0	38.9	7.3	8.2	52.7	1.8	12.3	7.1	0.6
		差		19.6	−14.5	1.1	−0.4	−17.7	0.3		11.8	0.5

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　お子様は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

【全体】

「あてはまる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 23.3 ポイント高い。また、「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、保護者の方が子供より 22.9 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも子供の方が「あてはまる」と回答した割合が高くなっている。

図表 3-4　A　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている＜単一回答＞

			調査数	A.家族と一緒に心地よい時間を過ごしている						
				あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答/不明	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全　体		保護者	3,347	1396	1698	193	28	32	3094	221
			100.0	41.7	50.7	5.8	0.8	1.0	92.4	6.6
		子供	3,347	2176	930	170	47	24	3106	217
			100.0	65.0	27.8	5.1	1.4	0.7	92.8	6.5
		差		−23.3	22.9	0.7	−0.6	0.3	−0.4	0.1
学年	小3	保護者	918	444	428	36	6	4	872	42
			100.0	48.4	46.6	3.9	0.7	0.4	95.0	4.6
		子供	918	649	214	38	7	10	863	45
			100.0	70.7	23.3	4.1	0.8	1.1	94.0	4.9
		差		−22.3	23.3	−0.2	−0.1	−0.7	1.0	−0.3
	小5	保護者	844	395	404	39	1	5	799	40
			100.0	46.8	47.9	4.6	0.1	0.6	94.7	4.7
		子供	844	607	192	30	8	7	799	38
			100.0	71.9	22.7	3.6	0.9	0.8	94.7	4.5
		差		−25.1	25.2	1.0	−0.8	−0.2	0.0	0.2
	中2	保護者	765	280	417	43	13	12	697	56
			100.0	36.6	54.5	5.6	1.7	1.6	91.1	7.3
		子供	765	462	238	45	15	5	700	60
			100.0	60.4	31.1	5.9	2.0	0.7	91.5	7.8
		差		−23.8	23.4	−0.3	−0.3	0.9	−0.4	−0.5
	17歳	保護者	820	277	449	75	8	11	726	83
			100.0	33.8	54.8	9.1	1.0	1.3	88.5	10.1
		子供	820	458	286	57	17	2	744	74
			100.0	55.9	34.9	7.0	2.1	0.2	90.7	9.0
		差		−22.1	19.9	2.1	−1.1	1.1	−2.2	1.1

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　家では安心して過ごしている）

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　お子様は家では安心して過ごしている）

【全体】

「あてはまる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 14.0 ポイント高い。また、「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、保護者の方が子供より 15.4 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも子供の方が「あてはまる」と回答した割合が高くなっている。

図表 3-5　B　家では安心して過ごしている＜単一回答＞

			調査数	B.家では安心して過ごしている						
				あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答/不明	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全　体		保護者	3,347	2122	1108	72	14	31	3230	86
			100.0	63.4	33.1	2.2	0.4	0.9	96.5	2.6
		子供	3,347	2592	592	98	38	27	3184	136
			100.0	77.4	17.7	2.9	1.1	0.8	95.1	4.1
		差		−14.0	15.4	−0.7	−0.7	0.1	1.4	−1.5
学年	小3	保護者	918	618	281	16	1	2	899	17
			100.0	67.3	30.6	1.7	0.1	0.2	97.9	1.9
		子供	918	740	133	24	8	13	873	32
			100.0	80.6	14.5	2.6	0.9	1.4	95.1	3.5
		差		−13.3	16.1	−0.9	−0.8	−1.2	2.8	−1.6
	小5	保護者	844	565	257	15	1	6	822	16
			100.0	66.9	30.5	1.8	0.1	0.7	97.4	1.9
		子供	844	716	95	20	7	6	811	27
			100.0	84.8	11.3	2.4	0.8	0.7	96.1	3.2
		差		−17.9	19.2	−0.6	−0.7	0.0	1.3	−1.3
	中2	保護者	765	472	258	17	6	12	730	23
			100.0	61.7	33.7	2.2	0.8	1.6	95.4	3.0
		子供	765	561	160	28	10	6	721	38
			100.0	73.3	20.9	3.7	1.3	0.8	94.2	5.0
		差		−11.6	12.8	−1.5	−0.5	0.8	1.2	−2.0
	17歳	保護者	820	467	312	24	6	11	779	30
			100.0	57.0	38.0	2.9	0.7	1.3	95.0	3.7
		子供	820	575	204	26	13	2	779	39
			100.0	70.1	24.9	3.2	1.6	0.2	95.0	4.8
		差		−13.1	13.1	−0.3	−0.9	1.1	0.0	−1.1

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　お子様の人生について、保護者も一緒に考えて決めている）

【全体】

「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、保護者の方が子供より 7.2 ポイント高い。

【学年別】

学年が上がるにつれて、「あてはまる」と回答した割合が、保護者は減少傾向で、子供は増加傾向である。

図表 3-6　C　私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている＜単一回答＞

			調査数	C.私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている						
				あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答/不明	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全　体		保護者	3,347	1699	1356	220	39	33	3055	259
			100.0	50.8	40.5	6.6	1.2	1.0	91.3	7.7
		子供	3,347	1653	1113	375	171	35	2766	546
			100.0	49.4	33.3	11.2	5.1	1.0	82.6	16.3
		差		1.4	7.2	−4.6	−3.9	0.0	8.7	−8.6
学年	小3	保護者	918	496	342	63	13	4	838	76
			100.0	54.0	37.3	6.9	1.4	0.4	91.3	8.3
		子供	918	411	318	113	60	16	729	173
			100.0	44.8	34.6	12.3	6.5	1.7	79.4	18.8
		差		9.2	2.7	−5.4	−5.1	−1.3	11.9	−10.5
	小5	保護者	844	442	335	55	8	4	777	63
			100.0	52.4	39.7	6.5	0.9	0.5	92.1	7.5
		子供	844	415	259	98	63	9	674	161
			100.0	49.2	30.7	11.6	7.5	1.1	79.9	19.1
		差		3.2	9.0	−5.1	−6.6	−0.6	12.2	−11.6
	中2	保護者	765	386	303	54	9	13	689	63
			100.0	50.5	39.6	7.1	1.2	1.7	90.1	8.2
		子供	765	397	243	90	28	7	640	118
			100.0	51.9	31.8	11.8	3.7	0.9	83.7	15.4
		差		−1.4	7.8	−4.7	−2.5	0.8	6.4	−7.2
	17歳	保護者	820	375	376	48	9	12	751	57
			100.0	45.7	45.9	5.9	1.1	1.5	91.6	7.0
		子供	820	430	293	74	20	3	723	94
			100.0	52.4	35.7	9.0	2.4	0.4	88.2	11.5
		差		−6.7	10.2	−3.1	−1.3	1.1	3.4	−4.5

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 30. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　保護者は私の話を聞いてくれる）

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 保護者はお子様の話を聞いている）

【全体】

「あてはまる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 23.4 ポイント高い。「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、保護者の方が 24.4 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも子供の方が「あてはまる」と回答した割合が高く、保護者の方が「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合が高い。

図表 3-7　D　保護者は私の話を聞いてくれる　＜単一回答＞

			調査数	D.保護者は私の話を聞いてくれる						
				あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答/不明	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全　体		保護者	3,347	1572	1595	128	15	37	3167	143
			100.0	47.0	47.7	3.8	0.4	1.1	94.6	4.3
		子供	3,347	2355	780	139	42	31	3135	181
			100.0	70.4	23.3	4.2	1.3	0.9	93.7	5.4
		差		−23.4	24.4	−0.4	−0.9	0.2	0.9	−1.1
学年	小3	保護者	918	445	424	37	4	8	869	41
			100.0	48.5	46.2	4.0	0.4	0.9	94.7	4.5
		子供	918	676	185	36	8	13	861	44
			100.0	73.6	20.2	3.9	0.9	1.4	93.8	4.8
		差		−25.1	26.0	0.1	−0.5	−0.5	0.9	−0.3
	小5	保護者	844	410	407	20	2	5	817	22
			100.0	48.6	48.2	2.4	0.2	0.6	96.8	2.6
		子供	844	656	152	21	8	7	808	29
			100.0	77.7	18.0	2.5	0.9	0.8	95.7	3.4
		差		−29.1	30.2	−0.1	−0.7	−0.2	1.1	−0.8
	中2	保護者	765	357	361	29	5	13	718	34
			100.0	46.7	47.2	3.8	0.7	1.7	93.9	4.4
		子供	765	505	204	38	12	6	709	50
			100.0	66.0	26.7	5.0	1.6	0.8	92.7	6.5
		差		−19.3	20.5	−1.2	−0.9	0.9	1.2	−2.1
	17歳	保護者	820	360	403	42	4	11	763	46
			100.0	43.9	49.1	5.1	0.5	1.3	93.0	5.6
		子供	820	518	239	44	14	5	757	58
			100.0	63.2	29.1	5.4	1.7	0.6	92.3	7.1
		差		−19.3	20.0	−0.3	−1.2	0.7	0.7	−1.5

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 36. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。
インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

（保護者：共通）問 34. お子様は過去1年以内に次のような経験をしたことがありますか。（いくつでも）

【全体】

「特に嫌な経験はしていない」は、保護者の方が子供より 13.5 ポイント高い。

【学年別】

「いじめを受けた」は、小3と小5で、子供の方が保護者より、それぞれ 7.5 ポイントと 5.0 ポイント高い。

図表 3-8 過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）＜複数回答＞

			調査数	過去1年以内の嫌な経験（インターネット上の経験を除く）								
				暴言や傷つくことを言われた（子供のみ）	無視をされた（子供のみ）	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	暴力を受けた（子供のみ）	その他の嫌な経験	特に嫌な経験はしていない	無回答／不明
全　体		保護者	3,347			160	9	9		441	2695	65
			100.0			4.8	0.3	0.3		13.2	80.5	1.9
		子供	3,347	758	428	254	67	11	278	90	2242	65
			100.0	22.6	12.8	7.6	2.0	0.3	8.3	2.7	67.0	1.9
		差				−2.8	−1.7	0.0		10.5	13.5	0.0
学年	小3	保護者	918			54	2	3		149	698	22
			100.0			5.9	0.2	0.3		16.2	76.0	2.4
		子供	918	241	161	123	29	0	121	29	547	19
			100.0	26.3	17.5	13.4	3.2	−	13.2	3.2	59.6	2.1
		差				−7.5	−3.0	0.3		13.0	16.4	0.3
	小5	保護者	844			44	4	1		116	674	11
			100.0			5.2	0.5	0.1		13.7	79.9	1.3
		子供	844	230	134	86	19	0	90	23	509	20
			100.0	27.3	15.9	10.2	2.3	−	10.7	2.7	60.3	2.4
		差				−5.0	−1.8	0.1		11.0	19.6	−1.1
	中2	保護者	765			38	1	1		103	609	20
			100.0			5.0	0.1	0.1		13.5	79.6	2.6
		子供	765	163	75	30	14	6	49	20	550	10
			100.0	21.3	9.8	3.9	1.8	0.8	6.4	2.6	71.9	1.3
		差				1.1	−1.7	−0.7		10.9	7.7	1.3
	17歳	保護者	820			24	2	4		73	714	12
			100.0			2.9	0.2	0.5		8.9	87.1	1.5
		子供	820	124	58	15	5	5	18	18	636	16
			100.0	15.1	7.1	1.8	0.6	0.6	2.2	2.2	77.6	2.0
		差				1.1	−0.4	−0.1		6.7	9.5	−0.5

【男女の差】

男性と女性の認識の差について、特徴的なものについて触れている。

（子供：共通）問 11. あなたが、20 年後に一番叶えたいことは何ですか。（1つだけ）

いずれの学年でも男女とも、「好きな仕事をしている」が最も高い。「子供を育てている」は、男性より女性が、小3では 10.4 ポイント、小5では 5.1 ポイント高い。「経済的に豊かな暮らし（十分なお金があって豊かな暮らし）をしている」は、女性より男性が、小3では 10.1 ポイント、小5では、7.1 ポイント高い。中2の男性は「趣味や余暇（自由に使える時間）を楽しんでいる」が 26.6％で、女性より 8.5 ポイント高い。

図表 3-9 【性別】20年後に一番叶えたいこと＜単一回答＞

（子供：共通）問 12.【問 11 で「好きな仕事をしている」～「趣味や余暇を楽しんでいる」「その他」と答えた方にお聞きします。】
問 11 の答えについて、それが将来的に叶えられていると思いますか。（1つだけ）

小3では、男女とも「そう思う」が最も高く、他の学年では、男女とも「どちらかといえばそう思う」が最も高い。小3の女性は「そう思う」が 49.0％で、男性より 5.2 ポイント高いが、中2の男性では「そう思う」が 38.9％で、女性より 6.4 ポイント高い。また 17 歳の男性では「そう思う」が 34.0％で、女性より 5.9 ポイント高い。

図表 3-10 【性別】将来的に叶えられているか＜単一回答＞

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：17 歳、中2）問 13. あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。（1つだけ）

中2、17 歳ともに、男女とも「まだ分からない」が最も高く、中2では男性が 49.5%、女性が 40.7%と、男性が女性より 8.8 ポイント高い。「子供を育てたいとは思わない」は、中2の女性では 13.9%で男性より 3.6 ポイント高く、17 歳の女性では 19.1%で、男性よりも 8.1 ポイント高い。

図表 3-11 【性別】将来、子供を育てたいか ＜単一回答＞

（子供：17 歳、中2）問 14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。
（1つだけ）

中2、17 歳ともに、男性は「まだ分からない」が、女性は「子供を2人育てたい」が最も高い。17 歳の女性は「子供を育てたいとは思わない」が 14.5％で、男性より 7.1 ポイント高い。

図表 3-12【性別】将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を育てたいか ＜単一回答＞

（子供：共通）問 17. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。（1つだけ）

いずれの学年でも男女とも「大学卒業後」が最も高い。小5の男性では「高校卒業後」が 14.7%で、女性より 6.5 ポイント高い。「短大・専門学校卒業後」は、小5では 5.2 ポイント、中2では 6.9 ポイント、17 歳では 5.9 ポイント女性が男性より高い。

図表 3-13 【性別】社会に出て働くタイミング ＜単一回答＞

（子供：共通）問 18. 自分の描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。
（いくつでも）

小3では、男女とも「まだ分からない」が最も高く、女性が男性より 5.7 ポイント高い。「自分の健康上の問題」は、男性が女性より 6.5 ポイント高い。

中2では女性が男性より、「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」で 5.9 ポイント、「希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない」で 5.3 ポイント、「自分の努力不足」で 6.6 ポイント、それぞれ高い。

17 歳では「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」で、男性が 21.7%、女性が 30.9%と、女性が男性より 9.2 ポイント高い。

図表 3-14 【性別】将来像や進路を難しくしている問題 ＜複数回答＞

(%)

			n	進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）	希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない	保護者の理解が得られない、考え方の違い	自分の健康上の問題	自分の努力不足	その他	まだ分からない	特に問題はない	無回答/不明	将来像や進路に問題がある（計）
全　体			3,804	23.6	28.5	5.7	8.7	37.1	1.1	26.1	11.4	0.9	61.7
学年	小3	男性	496	22.2	20.2	4.2	12.9	20.0	1.0	34.3	17.3	2.0	46.4
		女性	502	18.1	18.1	3.4	6.4	16.5	0.4	40.0	18.5	1.4	40.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10	10.0	30.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	30.0	－	50.0
		無回答/不明	10	10.0	10.0	10.0	10.0	－	－	70.0	－	－	30.0
	小5	男性	441	24.0	21.3	5.7	9.5	27.9	1.1	32.7	13.8	0.7	52.8
		女性	490	28.2	22.7	3.7	11.8	31.2	0.8	30.6	13.9	－	55.5
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	9	22.2	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	44.4	11.1	－	44.4
		無回答/不明	2	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	中2	男性	428	18.7	32.7	6.1	6.8	45.8	0.2	24.3	6.8	0.9	68.0
		女性	403	24.6	38.0	6.5	5.7	52.4	1.5	20.8	6.0	0.2	73.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	15	26.7	40.0	26.7	6.7	46.7	－	6.7	20.0	6.7	66.7
		無回答/不明	3	－	－	33.3	－	33.3	－	33.3	33.3	－	33.3
	17歳	男性	471	21.7	37.2	8.3	8.1	52.2	1.5	14.2	7.0	0.6	78.1
		女性	502	30.9	39.8	6.6	7.8	55.0	2.2	10.4	6.2	0.6	82.9
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	17	47.1	47.1	11.8	11.8	52.9	－	5.9	5.9	－	88.2
		無回答/不明	5	20.0	20.0	20.0	20.0	60.0	－	20.0	－	20.0	60.0

※将来像や進路に問題がある（計）は、「進学費用が足りないなどの経済的な問題」～「自分の努力不足」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（A　家事）

中2、17 歳ともに、男女とも「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 8.4 ポイント、17 歳では 13.3 ポイントの差で、男性より女性が高い。「主に女性が担うべき」は中2では 5.0 ポイント、17 歳では 5.5 ポイントの差で、女性より男性が高い。また、17 歳は「分からない」が女性より男性が 6.2 ポイント高い。

図表 3-15 【性別】家庭における男女の役割・家事＜単一回答＞

（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（B　育児）

中2、17 歳ともに、男女とも「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 13.2 ポイント、17 歳では 13.3 ポイントの差で、男性より女性が高い。「分からない」は、中2では 7.5 ポイント、17 歳では 8.5 ポイントの差で、女性より男性が高い。

図表 3-16 【性別】家庭における男女の役割・育児＜単一回答＞

（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（C　仕事）

中2、17 歳ともに、男女とも「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 14.7 ポイント、17 歳では 17.7 ポイントの差で、男性より女性が高い。「主に男性が担うべき」は中2では 10.8 ポイント、17 歳では 9.5 ポイントの差で、女性より男性が高い。また、17 歳は「分からない」が女性より男性が 6.3 ポイント高い。

図表 3-17 【性別】家庭における男女の役割・仕事＜単一回答＞

（子供：17 歳、中2）問 28. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（D　介護）

中2、17 歳ともに、男女とも「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 10.1 ポイント、17 歳では 10.5 ポイントの差で、男性より女性が高い。「分からない」は中2では 6.3 ポイント、17 歳では 6.1 ポイントの差で、女性より男性が高い。

図表 3-18 【性別】家庭における男女の役割・介護　＜単一回答＞

（2）テーマ別

意見表明、学校生活、居場所・遊びなど、今後の子供政策の検討に資すると考えられるテーマごとに、設問間の個別クロス集計を実施した。

【子供の意見表明】

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（B　自分の意見が言える）

自分の考えを他の人にしっかりと言える（「そう思う」）子供の 92.3%は、学校や職場で自分の意見が言える（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答している。自分の考えを他の人にしっかりと言えない（「そう思わない」）子供では、学校や職場で自分の意見が言える（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）が 44.4%である。

図表 3-19　自分の考えを他の人にしっかりと言える × 学校や職場で自分の意見が言える

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（C　自分の意見が採用される）

自分の考えを他の人にしっかりと言える（「そう思う」）子供の 85.3％は、学校や職場で自分の意見が採用される（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答している。自分の考えを他の人にしっかりと言えない（「そう思わない」）子供では、学校や職場で自分の意見が採用される（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）が 42.3％である。

図表 3-20　自分の考えを他の人にしっかりと言える　×　学校や職場で自分の意見が採用される

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

※本調査では、子供問 26「D　今の自分が好きだ」を「自己肯定感」と定義している。

自分の考えを他の人にしっかりと言える（「そう思う」）子供では、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）が 44.8％で、平均値は 7.90 である。自分の考えを他の人にしっかりと言えない（「そう思わない」）子供の自己肯定感は「10」（とてもあてはまる）が 21.4％で、平均値は 5.06 である。

図表 3-21　自分の考えを他の人にしっかりと言える　×　今の自分が好きだ

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【安全安心】

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　今の自分は幸せだ）

（子供：共通）問 35. あなたは今、悩んでいることはありますか。（いくつでも）

幸福度が低いほど悩みの数が多くなる傾向があり、幸福度【高】（8～10）の子供では「悩みはない」が 34.6％で最も高いが、幸福度【低】（0～3）の子供では「4つ」が 16.1％で最も高く、「10 個以上」も 9.2％である。

図表 3-22　今の自分は幸せだ　×　今、悩んでいること

（子供：共通）問 35. あなたは今、悩んでいることはありますか。（いくつでも）

（子供：共通）問 36. あなたは過去1年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

「悩みはない」と回答した子供では、過去1年以内に「嫌な経験をしたことがある（計）」は 19.5％である。何らか「悩んでいることがある（計）」子供では、過去1年以内に「嫌な経験をしたことがある（計）」は 36．5％である。

図表 3-23　今、悩んでいること　×　過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）

※「嫌な経験をしたことがある（計）」は子供問 36 の「暴言や傷つくことを言われた」～「暴力を受けた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：共通）問 36. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

（子供：共通）問 35. あなたは今、悩んでいることはありますか。（いくつでも）

「特に嫌な経験はしていない」と回答した子供では「悩みはない」は 34.1％である。「嫌な経験をしたことがある（計）」と回答した子供では、「悩みはない」は 17.7％で、「悩んだことがある（計）」は 82.0％である。

図表 3-24 過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く） × 今、悩んでいること

※「悩んでいることがある（計）」は子供問 35 の「勉強に関すること」～「（戦争や事件などの）ニュースに関すること」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：共通）問 36. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

（子供：共通）問 26. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

「特に嫌な経験はしていない」と回答した子供では、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）は 33.0％で、平均値は 7.30 である。何らかの「嫌な経験をしたことがある（計）」と回答した子供の自己肯定感は「10」（とてもあてはまる）が 26.5％で、平均値は 6.51 である。

図表 3-25　過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）　×　今の自分が好きだ

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【学校生活】

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（A　自分にとって居心地が良い）

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（B　自分の意見が言える）

学校や職場が自分にとって居心地が良い（「あてはまる」）子供の 93.6%は、学校や職場で自分の意見が言える（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答している。学校や職場が自分にとって居心地が良くない（「あてはまらない」）子供では、学校や職場で自分の意見が言える（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）が 35.1%である。

図表 3-26　学校や職場は自分にとって居心地が良い　×　学校や職場で自分の意見が言える

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（A　自分にとって居心地が良い）

（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（C　学ぶことが楽しい）

学校や職場が自分にとって居心地が良い（「あてはまる」）子供の 82.5%は、学ぶことが楽しい（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）と回答している。学校や職場が自分にとって居心地が良くない（「あてはまらない」）子供では、学ぶことが楽しい（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）が 38.7%である。

図表 3-27　学校や職場は自分にとって居心地が良い　×　学ぶことが楽しい

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：共通）問 22.【問 20 で「学校に所属している」と答えた方にお聞きします。】
学校について、不満に感じることはありますか。（いくつでも）

（子供：共通）問 25.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（A　自分にとって居心地が良い）

学校について不満に感じることが「特にない」子供の 95.7%は、学校や職場は自分にとって居心地が良い（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）と回答している。「学校への不満がある（計）」と回答した子供では、学校や職場は自分にとって居心地が良い（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）が 76.9%である。

図表 3-28　学校について不満に感じること　×　学校や職場は自分にとって居心地が良い

※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 36. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

（子供：共通）問 21.【問 20 で「1　学校に所属している」「2　就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたは学校または職場が好きですか。（1つだけ）

「特に嫌な経験はしていない」と回答した子供では、学校または職場が好き（「とても好き」と「好き」の割合）な子供が 77.0％で、何らか「嫌な経験をしたことがある（計）」と回答した子供では 64.1％である。

図表 3-29　過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）　×　学校または職場が好きか

※好き（計）は「とても好き」及び「好き」の割合。
　嫌い（計）は「とても嫌い」及び「嫌い」の割合。

【学び・成長】

（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（C　学ぶことが楽しい）

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（F　自分の行動で社会を変えられると思う）

学ぶことが楽しい（「そう思う」）子供の 68.8％は、自分の行動で社会を変えられると思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）と回答し、学ぶことが楽しいと思わない（「そう思わない」）子供では 23.6％である。

図表 3-30　学ぶことが楽しい　×　自分の行動で社会を変えられると思う

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：共通）問 16. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（C　学ぶことが楽しい）

（子供：共通）問 26. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H　自分には、夢や目標がある）

学ぶことが楽しい（「そう思う」）子供では、「自分には、夢や目標がある」に「10」（とてもあてはまる）は 65.7％で、平均値は 8.71 である。学ぶことが楽しいと思わない（「そう思わない」）子供では、「自分には、夢や目標がある」に「10」（とてもあてはまる）は 34.2％で、平均値は 6.16である。

図表 3-31　学ぶことが楽しい　×　自分には、夢や目標がある

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【居場所・遊び】

（子供：共通）問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

（子供：共通）問 26. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

自宅以外にも居場所がある子供は、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）が 32.6％で、平均値は 7.16 である。自宅のみが居場所である子供の自己肯定感は「10」（とてもあてはまる）が 22.6％で、平均値は 6.59 である。

図表 3-32　居場所（自宅以外と自宅のみ）　×　今の自分が好きだ

※「自宅以外にも居場所がある」は子供問 33 で「祖父母・親戚の家」～「飲食店・商業施設」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

「自宅のみが居場所」は子供問 33 で「自分の部屋」「自分の部屋以外の家の中」だけを選択した子供の割合。

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（子供：共通）問 33. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

（子供：共通）問 37. あなたは過去１年以内に、インターネット上で次のような経験をしたことがありますか。
（いくつでも）

インターネット空間を居場所としていない子供は、92.8％が過去 1 年以内にインターネット上で「特に嫌な経験はしていない」と回答している。インターネット空間を居場所としている子供の 12.5％は、何らか「嫌な経験をしたことがある（計）」と回答している。

図表 3-33　居場所（インターネット空間の有無）　×　過去１年以内のインターネット上での嫌な経験

※「インターネット空間に居場所あり」は子供問 33 で「インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）」を選択した子供の割合。
「インターネット空間に居場所なし」は子供問 33 で「インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）」を選択しなかった子供の割合。

（子供：共通）問7. あなたは、週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。なお、部活動は含みますが、学校の授業は含みません。（1つだけ）

（子供：共通）問 41. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日が「毎日」と回答した子供では、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間は「1時間未満」が 18.8％で、「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」と回答した子供では 6.5％である。「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」と回答した子供は、「8時間以上」が 11.3％である。

図表 3-34　週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日　×　テレビやスマホなどの画面を見ている時間

（子供：共通）問6．あなたは普段、誰と遊びますか。もっともよく遊ぶ人を選んでください。（1つだけ）

（子供：共通）問 26．あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　自分は他人から必要とされている）

※本調査では、（子供）問 26「F　自分は他人から必要とされている」を「自己有用感」と定義している。

普段、「学校・職場の友達」と遊ぶ子供は、「自分は他人から必要とされている」に「10」（とてもあてはまる）が 25.8％で、平均値は 7.06 である。「誰とも遊ばない（ひとりで遊ぶ）」子供の自己有用感は、「0」（全くあてはまらない）が 14.6％で、平均値は 4.77 である。

図表 3-35　もっともよく遊ぶ人　×　自分は他人から必要とされている

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【地域社会】

（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　子育てに良い場所である）

（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　地域の人との関係は良好である）

自身の住む地域が子育てに良い場所であると思う（「そう思う」）保護者の子供は、「地域の人との関係は良好である」に「10」（とてもあてはまる）が 26.9％で最も高く、平均値は 7.02 である。子育てに良い場所であると思わない（「そう思わない」）保護者の子供では、「地域の人との関係は良好である」に「0」（まったくあてはまらない）が 18.2％で最も高く、平均値は 5.09 である。

図表 3-36 （保護者）子育てに良い場所である × （子供）地域の人との関係は良好である

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　進んで周りの人達を助けようとする）

（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　地域の人との関係は良好である）

自身の住む地域は進んで周りの人達を助けようとすると思う（「そう思う」）保護者の子供は、「地域の人との関係は良好である」に「10」（とてもあてはまる）が 35.5％で、平均 7.56 である。自身の住む地域は進んで周りの人達を助けようとすると思わない（「そう思わない」）保護者の子供では、「地域の人との関係は良好である」に「10」（とてもあてはまる）が 15.7％で、平均 5.36 である。

図表 3-37 （保護者）進んで周りの人達を助けようとする × （子供）地域の人との関係は良好である

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（子供：共通）問 32. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　地域の人との関係は良好である）

（子供：共通）問 15. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（C　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある）

社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある子供の割合は、地域の人との関係が良好であるほど高い傾向があり、地域の人との関係が良好であるに「10」（とてもあてはまる）と回答した子供の 77.4%が社会課題について関心がある（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）と回答している。

図表 3-38　地域の人との関係は良好である　×　社会課題について関心がある

※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子育て】

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G　子育てと仕事や家事の両立）

（保護者：共通）問 38. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）に友達や親戚はいますか。
（1つだけ）

子育てと仕事や家事の両立に悩んでいる（「そう思う」）保護者の 36.0%が、友達や親戚が「自分の住む地域にはいない」と回答し、子育てと仕事や家事の両立に悩んでいない（「そう思わない」）保護者の 28.8%より 7.2 ポイント高い。

図表 3-39 「子育てと仕事や家事の両立」の悩み × 住む地域に友達や親戚はいますか

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G　子育てと仕事や家事の両立）

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H　子育てを楽しんでいる）

子育てと仕事や家事の両立に悩んでいる（「そう思う」）保護者は、「子育てを楽しんでいる」に「10」（とてもあてはまる）が 20.0％で、平均値は 6.88 であるが、子育てと仕事や家事の両立に悩んでいない（「そう思わない」）保護者は、「子育てを楽しんでいる」に「10」（とてもあてはまる）が 37.8％で、平均値は 8.04 である。

図表 3-40 「子育てと仕事や家事の両立」の悩み × 子育てを楽しんでいる

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H　子育てを楽しんでいる）

（子供：共通）問 13. あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。（1つだけ）

子育てを楽しんでいる保護者ほど、「子供を育てたいと思わない」子供の割合は低い傾向があり、「子育てを楽しんでいる」に「10」（とてもあてはまる）と回答している保護者の子供では、「子供を育てたいとは思わない」が 11.7％である。

図表 3-41 （保護者）子育てを楽しんでいる × （子供）将来、子供を育てたいか

※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（3）他調査比較

他調査と比較可能な設問について比較を行った。

① CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020

（調査概要）

・調査時期 ： 2016 年～2019 年

・対 象 者 ： 35 か国の8歳、10 歳、12 歳

・回 答 数 ： 8歳（32,608 人）、10 歳（49,427 人）、12 歳（46,149 人）。合計 128,184 人

・調査方法 ： 学校に調査員が訪問し、紙で回答（電子での回答を実施、または併用した国もある）

＜地域とのつながり＞

【CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020】

How much do you agree with each of these sentences about your local area? （10 歳）

（あなたの住む地域について、それぞれの文章はどのくらいあてはまりますか）

- In my area there are enough places to play and have a good time
  （私の住んでいる地域には、楽しく遊べる場所がたくさんある）
- If I have a problem, there are people in my local area who will help me
  （困った時に地域に助けてくれる人がいる）
- Adults in my local area are kind to children
  （地域の大人は子供に優しい）
- Adults in my area listen to children and take them seriously
  （地域の大人は子供の話をよく聞き、真剣に受け止めてくれる）

【とうきょう こども アンケート】

問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）（小5）

A あなたが遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある

B あなたが困っていたら近所の人が助けてくれる

C 近所の大人たちはあなたにやさしい

D 大人たちがあなたの話をきちんと聞いてくれる

「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」における各国と本調査を比較すると、「Adults listen」については本調査では 56％で2位相当である。「Place to play」は 63％で7位相当、「Adults kind」は 56％で9位相当である。「Adults support」は 38％で全体平均を下回っている。

図表 3-42 地域とのつながり

Places to play 遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある			Adults support 困っていたら近所の人が助けてくれる			Adults kind 近所の大人たちはやさしい			Adults listen 大人たちが話をきちんと聞いてくれる		
1位	エストニア	70%	1位	スリランカ	59%	1位	クロアチア	64%	1位	スリランカ	57%
2位	スイス	70%	2位	スイス	57%	2位	スリランカ	63%		**東京（本調査）**	**56%**
3位	チリ	67%	3位	アルバニア	57%	3位	アルバニア	62%	2位	チリ	52%
4位	スリランカ	66%	4位	チリ	57%	4位	フィンランド	62%	3位	台湾	51%
5位	クロアチア	65%	5位	ネパール	52%	5位	スイス	61%	4位	スイス	50%
6位	ハンガリー	65%	6位	台湾	51%	6位	チリ	60%	5位	マルタ	46%
	東京（本調査）	**63%**	7位	ベトナム	51%	7位	ベルギー （フランドル）	59%	6位	南アフリカ	45%
7位	ポーランド	63%	8位	フランス	50%	8位	マルタ	58%	7位	ネパール	44%
8位	イスラエル	61%	9位	クロアチア	49%		**東京（本調査）**	**56%**	8位	ハンガリー	43%
9位	ギリシャ	60%	10位	アルジェリア	48%	9位	台湾	56%	9位	インドネシア	43%
10位	アルバニア	60%				10位	アルジェリア	56%	10位	英国 （イングランド）	43%
…			…			…			…		
				東京（本調査）	**38%**						
平均	54%		平均	46%		平均	52%		平均	40%	

※令和5年調査の東京の結果

遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある			困っていたら近所の人が助けてくれる			近所の大人たちはやさしい			大人たちが話をきちんと聞いてくれる		
	東京（R5調査）	56%		**東京（R5調査）**	34%		**東京（R5調査）**	48%		**東京（R5調査）**	48%

※平均は「CHILDREN’S WORLDS REPORT 2020」の Table 7.2 の平均であり、本調査の結果は含まれていない。

※「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」では「totally agree」～「not agree」の5段階評価、本調査は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階評価であり、「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」における「totally agree」の割合と本調査における「そう思う」の割合で比較を行っている。

＜家庭内の関係性＞

【CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020】

How much do you agree with each of these sentences?（10 歳）

（それぞれの文章はあなたにどのくらいあてはまりますか）

・We have a good time together in my family

（家族で一緒に楽しい時間を過ごしている）

・I feel safe at home

（家にいると安心する）

・My parent/s listen to me and take what I say into account

（両親は私の言うことをよく聞き、私が言うことを考慮してくれる）

・My parent/s and I make decisions about my life together

（私の人生について両親と一緒に決めている）

【とうきょう こども アンケート】

問 30　あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）（小5）

Ａ　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている

Ｂ　家では安心して過ごしている

Ｃ　私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている

Ｄ　保護者は私の話を聞いてくれる

「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」における各国と本調査を比較すると、「Parents listen」については、本調査では 78％で1位相当である。「Feel safe」は、本調査では 84％で5位相当である。「Have a good time」は全体平均を上回り、「Parents joint decisions」については、全体平均を下回っている。

図表 3-43 家庭内の関係性 ＜単一回答＞

Have a good time 一緒に心地よい時間を過ごしている			Feel safe 家では安心して過ごしている			Parents joint decisions 私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている			Parents listen 保護者は私の話を聞いてくれる		
1位	エストニア	81%	1位	ポーランド	90%	1位	スリランカ	78%		**東京（本調査）**	**78%**
2位	スリランカ	81%	2位	エストニア	88%	2位	アルバニア	68%	1位	スリランカ	78%
3位	アルバニア	80%	3位	ハンガリー	87%	3位	ルーマニア	67%	2位	インド	68%
4位	ハンガリー	76%	4位	アルバニア	85%	4位	エストニア	66%	3位	イスラエル	68%
5位	ノルウェー	75%		**東京（本調査）**	**84%**	5位	アルジェリア	65%	4位	ハンガリー	67%
6位	アルジェリア	75%	5位	ノルウェー	84%	6位	ノルウェー	65%	5位	ノルウェー	67%
7位	クロアチア	74%	6位	スイス	83%	7位	ポーランド	65%	6位	アルジェリア	65%
8位	ポーランド	73%	7位	クロアチア	83%	8位	ナミビア	64%	7位	フィンランド	62%
9位	ギリシャ	73%	8位	ギリシャ	83%	9位	イスラエル	64%	8位	チリ	62%
10位	マルタ	73%	9位	フィンランド	83%	10位	マレーシア	64%	9位	エストニア	60%
			10位	スリランカ	83%				10位	スイス	60%
…			…			…			…		
	東京（本調査）	**72%**					**東京（本調査）**	**50%**			
平均	66%		平均	76%		平均	55%		平均	56%	

※令和5年の東京の結果

一緒に心地よい時間を過ごしている			家では安心して過ごしている			私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている			保護者は私の話を聞いてくれる		
	東京（R5調査）	70%		**東京（R5調査）**	78%		**東京（R5調査）**	50%		**東京（R5調査）**	70%

※平均は「CHILDREN’S WORLDS REPORT 2020」の Table 4.2 の平均であり、本調査の結果は含まれていない。

※「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」では「totally agree」～「not agree」の5段階評価、本調査は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階評価であり、「CHILDREN‘S WORLDS REPORT 2020」における「totally agree」の割合と本調査における「そう思う」の割合で比較を行っている。

② 日本財団「18 歳意識調査『第 62 回−国や社会に対する意識（6カ国調査）−』」

（調査概要）

・調査時期 ： 2024 年2月 22 日（木）～3月5日（火）

・対 象 者 ： 日本・米国・英国・中国・韓国・インドの 17 歳～19 歳男女

・回 答 数 ： 各国 1,000 人

・調査方法 ： インターネット

＜社会貢献意欲＞

【日本財団「18 歳意識調査『第 62 回−国や社会に対する意識（6カ国調査）−』」
自国について・自身と社会の関わりについて（17 歳～19 歳）
以下の項目に同意しますか。
・ボランティア活動に参加したい
・政治や選挙、社会問題について、関心がある
・政治選挙社会問題について家族や友人と議論することがある
・自分の行動で、国や社会を変えられると思う
・機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う

【とうきょう こども アンケート】
問 15 あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）（17 歳）
B ボランティアをしたいと思う
C 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある
D 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友人と積極的に議論している
F 自分の行動で社会を変えられると思う
G 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う

「社会課題について関心がある」については、本調査では 68.3％であり、「18 歳意識調査『第 62 回−国や社会に対する意識（6カ国調査）−』」における「日本」（56.5％）よりも 11.8 ポイント高い。

「社会課題について家族や友人と積極的に議論している」は、本調査では 41.0％であり、「18 歳意識調査『第 62 回−国や社会に対する意識（6カ国調査）−』」における「日本」（50.5％）よりも 9.5 ポイント低い。

図表 3-44 社会貢献意欲（単一回答）

（%）

	ボランティア活動に参加したい ボランティアをしたいと思う	政治や選挙、社会問題について、関心がある 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある	政治選挙社会問題について家族や友人と議論することがある 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友人と積極的に議論している	自分の行動で、国や社会を変えられると思う 自分の行動で社会を変えられると思う	機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う
日本	60.4 (49.7)	56.5 (50.0)	50.5 (34.2)	45.8 (26.9)	52.8 (41.7)
東京都（本調査）	**57.5** (55.6)	**68.3** (69.3)	**41.0** (39.5)	**45.7** (47.8)	**58.4** (60.2)
アメリカ	76.3	61.7	67.3	65.6	71.5
イギリス	68.6	57.8	66.3	56.1	76.7
中国	89.8	81.5	79.8	83.7	72.6
韓国	70.5	65.0	62.6	60.8	79.3
インド	79.2	62.8	74.9	80.6	76.1

※選択肢の上段は「18 歳意識調査」の選択肢。下段は本調査の選択肢。

※「18 歳意識調査『第 62 回-国や社会に対する意識（6カ国調査）-』」で「同意」及び「どちらかといえば同意」と回答した割合と、本調査で「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した割合で比較している。

※日本の下段カッコ書き数値は、2022 年実施の「18 歳意識調査」の数値。

※東京都の下段カッコ書き数値は、令和5年調査の数値。

③ PISA 2022

（調査概要）

・調査時期 ： 2022 年6月から8月
（新型コロナウイルス感染症の影響で、2021 年に予定されていた調査を 2022 年に延期して実施）

・対 象 者 ： 81 か国・地域（OECD 加盟 37 か国、非加盟 44 か国・地域）の 15 歳、約 69 万人

・回 答 数 ： 日本では、全国の高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校の 1 年生のうち、
国際的な規定に基づき抽出された 183 校（学科）、約 6,000 人が調査に参加

・調査方法 ： 学校のパソコンを使用したコンピュータ使用型調査

＜生活への満足度＞

【PISA 2022 Results – Volume II　Students' life satisfaction】
ST016　Overall, how satisfied are you with your life as a whole these days?（15 歳）
（全体として、あなたはあなたの最近の生活全般に、どのくらい満足していますか。）

【とうきょう こども アンケート】
問 26　あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）（中2・17 歳）
（C 今の自分の生活に満足している）

生活への満足度については、本調査の中2は 67.5％、17 歳は 60.1％である。「PISA 2022」の「Satisfied with their lives」における「Japan」（15 歳）は 60.8％であり、本調査の方が中2では 6.7 ポイント高い。また、「OECD average」（15 歳）での満足度は 61.4％であり、本調査の方が中2で 6.1 ポイント高い。

図表 3-45　生活への満足度　＜単一回答＞

	本調査		PISA2022（Japan）	PISA2022（OECD average）
	中2	17歳	15歳	15歳
生活への満足度	67.5％ （69.2％）	60.1％ （56.3％）	60.8％ （50.0％）	61.4％ （67.0％）

※「PISA 2022」、本調査ともに「0」～「10」の 11 段階評価であり、ともに「7」～「10」と回答した割合で比較を行っている。

※本調査の下段カッコ書き数値は、令和5年調査の数値。

※PISA2022 の下段カッコ書き数値は、PISA2018 の数値。

④ 内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」

（調査概要）

・調査時期 ： 令和4年（2022 年）11 月 10 日（木）～25 日（金）

・対 象 者 ： 令和4年4月1日現在、10 歳～39 歳の男女 20,000 人

・回 答 数 ： 10 歳～39 歳：8,555 人（うち・10 歳～14 歳：1,520 人、15 歳～39 歳：7,035 人）

・調査方法 ： 郵送法（オンライン回答併用）

＜社会貢献意欲＞

【内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」】
問 10 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。（1つだけ）（11 歳・14 歳）

【とうきょう こども アンケート】
問 15 あなたは次のことについてどう思いますか。（小5・中2）
（A 将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う）

「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」の 11 歳では「そう思う」が 46.3％で、本調査の小5（53.1％）が 6.8 ポイント高い。また、「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」の 14 歳では「そう思う」が 42.5％で、本調査の中2では 40.9％である。

図表 3-46 社会貢献意欲（単一回答）

内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」	社会のために役立つことをしたい	
	11歳	46.3%
	14歳	42.5%
本調査	将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う	
	小5	53.1% （49.5%）
	中2	40.9% （42.4%）

※本調査の下段カッコ書き数値は、令和5年調査の数値。

※「こども・若者の意識と生活に関する調査」、本調査ともに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階評価であり、ともに「そう思う」と回答した割合で比較している。

⑤ 21 世紀出生児縦断調査

比較に使用した縦断調査は以下のとおり。

○ 第 17 回(平成 30 年)21 世紀出生児縦断調査(平成 13 年出生児)

(調査概要)

・調査時期 ： ①平成 30 年1月7日から2月 10 日の間(1月生)
②平成 30 年7月7日から8月 10 日の間(7月生)

・対 象 者 ： 全国の 2001 年(平成 13 年)に出生した子供のうち、1月 10 日～17 日の間に出生した子供及び 7月 10 日～17 日の間に出生した子供(1月生:15,423 人、7月生:15,357 人)
※調査時点 17 歳(高校2年生等)

・回 答 数 ： 24,886 人

・調査方法 ： 郵送法

○ 第9回(令和元年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)

(調査概要)

・調査時期 ： 令和元年5月 25 日

・対 象 者 ： 全国の平成 22 年(2010 年)5月 10 日から同月 24 日の間に出生した9歳(小学3年生) 27,397 人

・回 答 数 ： 24,204 人

・調査方法 ： 郵送法

○ 第 10 回(令和2年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)

(調査概要)

・調査時期 ： 令和2年5月 25 日

・対 象 者 ： 全国の平成 22 年(2010 年)5月 10 日から同月 24 日の間に出生した 10 歳(小学4年生) 26,141 人

・回 答 数 ： 24,041 人

・調査方法 ： 郵送法(オンライン回答併用)

○ 第 11 回(令和3年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)

(調査概要)

・調査時期 ： 令和3年5月 25 日

・対 象 者 ： 全国の平成 22 年(2010 年)5月 10 日から同月 24 日の間に出生した 11 歳(小学5年生) 25,362 人

・回 答 数 ： 23,216 人

・調査方法 ： 郵送法(オンライン回答併用)

○ 第 13 回(令和5年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)

(調査概要)

・調査時期 ： 令和5年5月 25 日

・対 象 者 ： 全国の平成 22 年(2010 年)5月 10 日から同 24 日の間に出生した 13 歳(中学1年生) 24,755 人

・回 答 数 ： 20,830 人

・調査方法 ： 郵送法(オンライン回答併用)

＜学校で勉強したことが役立つか＞

【第 13 回（令和 5 年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】
問 10　あなたは、学校生活に満足していますか。（13 歳）
①～⑥の各項目について、それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。
（⑤学校の勉強は将来役に立つと思う）

【とうきょう こども アンケート】
問 16　あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）（中2）
（A　学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ）

「第 13 回（令和5年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）では、「学校の勉強は将来役に立つと思う」が 83.6％である。本調査の中2では、「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」が 85.0％である。

図表 3-47　学校で勉強したことが役立つか（単一回答）

第13回（令和5年）21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）（13歳）	学校の勉強は将来役に立つと思う
	83.6%
本調査（中2）	学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ
	85.0% （82.9%）

※「第 13 回（令和5年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」では「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の4段階評価、本調査では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階評価であり、21 世紀出生児縦断調査の「とてもそう思う」及び「まあそう思う」と回答した割合と、本調査で「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した割合で比較している。
※本調査の下段カッコ書き数値は、令和5年調査の数値。

＜希望する進路＞

【第 13 回（令和 5 年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】

問 13　あなたは現在、将来について考えていますか。「進路」「結婚」「最初の子どもを持つ時期」それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。（13 歳）

（進路）

・中学卒業後に働くことを考えている

・中学卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている

・高校卒業後に働くことを考えている

・高校卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている

・大学卒業後に働くことを考えている

・具体的にはまだ考えていない

【とうきょう こども アンケート】

問 17　あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。（１つだけ）（中２）

・中学卒業後

・高校卒業後

・短大・専門学校卒業後

・大学卒業後

・大学院（大学よりも上の学校）卒業後

・その他

・まだ分からない

「第 13 回（令和5年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」では、「具体的にはまだ考えていない」が男児は 40.9％、女児は 38.1％であり、それぞれ本調査より 21.0 ポイント、20.7 ポイント高い。

本調査では、「大学卒業後」が男性は 58.2％、女性は 58.3％で男女とも最も高く、「第 13 回（令和5年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」と比べて、男性は 17.3 ポイント、女性は 20.2 ポイント高い。

図表 3-48 希望する進路（単一回答）

※本調査では、「男性」「女性」「その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」の3区分であるが、「第 13 回（令和5年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」では「男児」「女児」の2区分のため、「男性」「女性」についての比較のみ行う。

＜スマートフォン所有状況＞

【第 10 回（令和2年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】

問 11　平成 22 年5月生まれのお子さんに携帯電話（スマートフォンを含む）を持たせていますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。（10 歳）

【第 13 回（令和5年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】

問 15　あなたは、携帯電話（スマートフォンを含む）を持っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

（13 歳）

【とうきょう こども アンケート】

問 29　以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。

（それぞれ 1 つ）（小3・小5・中2）

（B　スマートフォン）

・自由に使える

・制限はあるが使える

・自宅にあるが使えない

・自宅にあるが使うことがない

・自宅にない

「第 10 回（令和2年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」（10 歳）において、「携帯電話を持たせている」と回答した割合は 32.8％である。また、「第 13 回（令和5年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」（13 歳）において、携帯電話を「持っている」と回答した割合は 75.8％である。本調査でスマートフォンを「自由に使える」または「制限はあるが使える」と回答した割合は、小3が 56.3％、小5が 62.1％、中2で 93.4％ある。

図表 3-49　スマートフォン保有状況　＜単一回答＞

第10回（令和2年）21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）	携帯電話を持たせている	
	10歳	32.8%
第13回（令和5年）21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）	携帯電話を持っている	
	13歳	75.8%

本調査	自由に使える／制限はあるが使える	
	小3	56.3% （51.3%）
	小5	62.1% （63.5%）
	中2	93.4% （89.9%）

＜起きる時間・寝る時間＞

【第9回（令和元年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】

問4 平成 22 年5月生まれのお子さんの朝起きる時間と夜寝る時間について、登校日と土・日曜日別にそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。（9 歳）

【第 11 回（令和3年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】

問 15 あなたの朝起きる時間と夜寝る時間は何時ごろですか。
登校日と土・日曜日別にそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。（11 歳）

【第 13 回（令和5年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）】

問3 あなたの起きる時間、寝る時間は何時頃ですか。あてはまる番号に○をつけてください。（13 歳）
※平日は曜日によって、起きる時間、寝る時間が異なる場合は、最も多い時間帯としてください。

＜登校日の朝起きる時間＞
- 午前5時前（第 13 回のみ）
- 午前5時 30 分～5時 59 分（第 13 回のみ）
- 午前6時前（第9回、第 11 回のみ）
- 午前6時～6時 29 分
- 午前6時 30 分～6時 59 分
- 午前7時～7時 29 分
- 午前7時 30 分～7時 59 分
- 午前8時～8時 29 分
- 午前8時 30 分～8時 59 分
- 午前9時以降
- 起きる時間は決まっていない
（第9回：寝る時間は不規則である）

＜登校日の夜寝る時間＞
- 午後9時前
- 午後9時～9時 29 分
- 午後9時～9時 29 分
- 午後9時 30 分～9時 59 分
- 午後 10 時～10 時 29 分
- 午後 10 時 30 分～10 時 59 分
- 午後 11 時～11 時 29 分
- 午後 11 時 30 分～11 時 59 分
- 午前0時以降（第9回、第 11 回のみ）
- 午前0時～0時 29 分（第 13 回のみ）
- 午前0時 30 分～0時 59 分（第 13 回のみ）
- 午前1時以降（第 13 回のみ）
- 寝る時間は決まっていない
（第9回：寝る時間は不規則である）

【とうきょう こども アンケート】

問 39 あなたは、平日（学校がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ） （小3・小5・中2）

A 起きる時間
- 午前0時～4時 59 分
- 午前5時～5時 29 分
- 午前5時 30 分～5時 59 分
- 午前6時～6時 29 分
- 午前6時 30 分～6時 59 分
- 午前7時～7時 29 分
- 午前7時 30 分～7時 59 分
- 午前8時～8時 29 分
- 午前8時 30 分～8時 59 分
- 午前9時～午前 11 時 59 分
- 午後0時(正午)～午後 11 時 59 分
- 起きる時間は決まっていない

B 寝る時間
- 午後0時(正午)～午後8時 59 分
- 午後9時～9時 29 分
- 午後9時 30 分～9時 59 分
- 午後 10 時～10 時 29 分
- 午後 10 時 30 分～10 時 59 分
- 午後 11 時～11 時 29 分
- 午後 11 時 30 分～11 時 59 分
- 午前0時～午前0時 29 分
- 午前0時 30 分～0時 59 分
- 午前1時～午前 11 時 59 分
- 寝る時間は決まっていない

「起きる時間」は、「21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」においては、いずれの年代も「午前6時 30 分～6時 59 分」が最も高い。本調査では、小3・小5・中2のいずれも「午前7時～7時 29 分」が最も高い。

「寝る時間」は、「21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」においては、9歳では「午後9時～9時 29 分」が、11 歳では「午後9時 30 分～9時 59 分」が、13 歳では「午後 10 時～10 時 29 分」の割合がそれぞれ最も高い。本調査においては、小3では「午後9時～9時 29 分」が、小5では「午後9時 30 分～9時 59 分」が、中2では「午後 11 時～11 時 29 分」の割合が、それぞれ最も高い。

図表 3-50 起きる時間 ＜単一回答＞

図表 3-51 寝る時間 ＜単一回答＞

＜最近2週間の精神状態＞

【第 17 回（平成 30 年）21 世紀出生児縦断調査(平成 13 年出生児)】

問9 ここ最近のあなたの心の状態について教えてください。以下のことはあなたにどのくらいあてはまりますか。順番に読んで、それぞれ一番あてはまる数字に◯をつけてください。（17 歳）

最近2週間、私は･･･

①明るく、楽しい気分で過ごした

②落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

③意欲的で、活動的に過ごした

④ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた

⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

【とうきょう こども アンケート】

問 34 最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）（17 歳）

A 明るく、楽しい気分で過ごした

B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

C 意欲的で、活動的に過ごした

D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた

E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

「第 17 回（平成 30 年）21 世紀出生児縦断調査（平成 13 年出生児）」と本調査を比較すると、「明るく、楽しい気分で過ごした」「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」「意欲的で、活動的に過ごした」「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」のいずれも、本調査の方が「いつも」「ほとんどいつも」と回答した割合が高く、「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」は 14.4 ポイント、「意欲的で、活動的に過ごした」では 13.8 ポイントの差がみられる。

図表 3-52 最近 2 週間の精神状態 ＜単一回答＞

	第17回（平成30年）21世紀出生児縦断調査(平成13年出生児)（17歳）	本調査（17歳）
明るく、楽しい気分で過ごした	39.2%	52.2% (48.4%)
落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	33.1%	47.5% (39.3%)
意欲的で、活動的に過ごした	31.9%	45.7% (40.1%)
ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	24.5%	31.1% (29.1%)
日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	26.0%	41.7% (38.2%)

※「第 17 回（平成 30 年）21 世紀出生児縦断調査(平成 13 年出生児)」、本調査ともに「いつも」「ほとんどいつも」「半分以上の期間を」「半分以下の期間を」「ほんのたまに」「全くない」の6段階評価であり、ともに「いつも」及び「ほとんどいつも」と回答した割合で比較を行っている。

※本調査の下段カッコ書き数値は、令和5年調査の数値。

⑥ スポーツ庁「令和 5 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

調査概要

・調査時期 ： 令和5年4月～7月

・対 象 者 ：

①小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員 1,003,155 人

②中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校及び特別支援学校中学部の2年生全員 962,917 人

・回 答 数 ： ①990,165 人

②923,980 人

・調査方法 ： 質問紙調査

＜スクリーンタイム＞

【スポーツ庁「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」】

質問8平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1 日にどのくらいの時間、テレビや DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。（小学生（5年生）・中学生（2年生））

・5時間以上

・4時間以上5時間未満

・3 時間以上4時間未満

・2時間以上3時間未満

・1時間以上2時間未満

・1時間未満

・まったく見ない

【とうきょう こども アンケート】

問 40 あなたが平日（学校がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。 学校の授業で見る時間は除きます。（1つだけ）（小5・中2）

・全く見ない・利用しない

・1時間未満

・1時間～2時間未満

・2時間～3時間未満

・3時間～4時間未満

・4時間～5時間未満

・5時間～6時間未満

・6時間～7時間未満

・7時間～8時間未満

・8時間以上

平日にテレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間は、「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、小学生（5年生）は男女とも「1時間以上2時間未満」の割合が最も高く、中学生（2年生）は、男女とも「2時間以上3時間未満」の割合が最も高い。本調査の小5では、男女とも「1時間～2時間未満」の割合が、中2では「2時間～3時間未満」の割合が最も高い。

図表 3-53 スクリーンタイム（小学生） ＜単一回答＞

※本調査では、「男性」「女性」「その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」の3区分であるが、「スポーツ庁「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では「男性」「女性」の2区分のため、「男性」「女性」についての比較のみ行う。

図表 3-54 スクリーンタイム（中学生） ＜単一回答＞

※本調査では、「男性」「女性」「その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」の3区分であるが、「スポーツ庁「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では「男性」「女性」の2区分のため、「男性」「女性」についての比較のみ行う。

（4）重回帰分析

子供の幸福度の重回帰分析

子供の幸福度への影響を確認するために、各学年の子供の設問から選定した 16 項目を説明変数として学年ごとに重回帰分析を行った。なお、選定した 16 項目は学年ごとに異なり、欠損値が含まれるものを除いて実施した。また、多重共線性の指標（VIF）は最大で 2.353 となっており、一般的に多重共線性の目安とされる 10 を超える項目はなかったため、項目の除外は行っていない。

結果を図表3-55～3-58 に示している。なお、項目は標準偏回帰係数の値が大きいものから順に並べて表示している。また、説明変数のうち、以下の項目において有意な結果（有意水準5％以下）が得られた。

【小 3】（5項目）
・Q21 学校等が好きか
・Q26G 勉強、趣味など、何か夢中になれることがある
・Q32A 友達との関係は良好である
・Q32B 家族との関係は良好である
・Q34A 明るく、楽しい気分で過ごした

【小 5】（8項目）
・Q3A 子供が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある
・Q21 学校等が好きか
・Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い
・Q26H 自分には、夢や目標がある
・Q30B 家では安心して過ごしている
・Q30D 保護者は私の話を聞いてくれる
・Q32B 家族との関係は良好である
・Q32C 学校の先生等との関係は良好である

【中2】（7項目）
・Q15C 社会課題について関心がある
・Q21 学校等が好きか
・Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い
・Q26H 自分には、夢や目標がある
・Q30B 家では安心して過ごしている
・Q32B 家族との関係は良好である
・Q32C 学校の先生等との関係は良好である

【17 歳】(5項目)

Q21 学校等が好きか

Q26H 自分には、夢や目標がある

Q32B 家族との関係は良好である

Q32C 学校の先生等との関係は良好である

Q34A 明るく、楽しい気分で過ごした

※回帰分析…ある結果(目的変数 Y)にある要素(説明変数 X)がどのくらい関連性があるのかを明らかにする統計手法。特に、要素(説明変数 X)が複数あるものを重回帰分析という。説明変数と目的変数の間には以下のモデル式が成り立つ。

$Y=\beta 0+\beta 1X1+\beta 2X2$ (説明変数が 2 個の例)

・自由度調整済み決定係数(自由度調整済み R2 乗)…データに対するモデル式の当てはまり度合いを表した「決定係数」を補正した数値。一般的には 1 に近いほどモデル式の説明力が高いとされる。

・偏回帰係数…上で示した式の βi (i=1, 2, 3…)の推定値。

・標準偏回帰係数…各変数の単位に依存しない標準化された偏回帰係数。－1から1の間の値をとり、絶対値が1に近いほど、説明変数と目的変数に関連性があることを意味する。符号は関連の向きを表す。

・多重共線性の指標(VIF)…多重共線性とは、2つ以上の説明変数が相関しており、高い線形関係にある状態を指す。この問題を排除する方法として VIF(Variance Inflation Factor)と呼ばれる指標を用いる。

【小3】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.391、F 値は***(p<0.001)であり、子供の幸福度を当該の 16 項目で 39.1%説明できていると言える。

図表 3-55 重回帰分析の結果(小3)

n=911

R	R2乗	調整済み R2乗
0.634	0.402	0.391

	偏回数係数		標準	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差	偏回帰係数			
定数	4.718	0.743		6.352	0.000	
Q32B 家族との関係は良好である	0.336	0.047	0.236	7.155	0.000 ***	1.635
Q32A 友達との関係は良好である	0.178	0.035	0.162	5.129	0.000 ***	1.494
Q26G 勉強、趣味など、何か夢中になれることがある	0.108	0.031	0.098	3.444	0.001 ***	1.209
Q3C 近所の大人たちはあなたにやさしい	0.128	0.081	0.045	1.574	0.116	1.244
Q30D 保護者は私の話を聞いてくれる	0.150	0.126	0.039	1.193	0.233	1.571
Q32D 地域の人との関係は良好である	0.024	0.025	0.031	0.950	0.342	1.543
Q33 居場所の数	−0.005	0.026	−0.005	−0.187	0.851	1.129
Q16C 学ぶことが楽しい	−0.025	0.079	−0.010	−0.311	0.756	1.457
Q30B 家では安心して過ごしている	−0.121	0.130	−0.028	−0.931	0.352	1.360
Q27B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	−0.074	0.076	−0.029	−0.975	0.330	1.340
Q7 30分以上遊んだり体を動かしたりする日	−0.053	0.048	−0.029	−1.092	0.275	1.079
Q30C 私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている	−0.108	0.071	−0.044	−1.525	0.128	1.248
Q27A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	−0.192	0.109	−0.053	−1.759	0.079	1.340
Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.156	0.091	−0.056	−1.711	0.087	1.608
Q34A 明るく、楽しい気分で過ごした	−0.303	0.073	−0.138	−4.170	0.000 ***	1.644
Q21 学校等が好きか	−0.381	0.085	−0.156	−4.485	0.000 ***	1.806

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

【小5】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.403、F 値は***(p<0.001)であり、子供の幸福度を当該の 16 項目で 40.3%説明できていると言える。

図表 3-56 重回帰分析の結果(小 5)

n=840

R	R2乗	調整済み R2乗
0.644	0.415	0.403

	偏回数係数		標準	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差	偏回帰係数			
定数	8.108	0.735		11.028	0.000 ***	
Q32B 家族との関係は良好である	0.265	0.048	0.190	5.518	0.000 ***	1.670
Q32C 学校の先生等との関係は良好である	0.088	0.034	0.090	2.626	0.009 **	1.649
Q26H 自分には、夢や目標がある	0.051	0.025	0.059	2.040	0.042 *	1.193
Q30C 私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている	0.063	0.069	0.027	0.910	0.363	1.279
Q39 困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いるか	0.034	0.049	0.021	0.707	0.479	1.188
Q3B あなたが困っていたら近所の人が助けてくれる	−0.011	0.082	−0.005	−0.140	0.889	1.659
Q27A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	−0.028	0.116	−0.008	−0.244	0.808	1.461
Q7 30分以上遊んだり体を動かしたりする日	−0.019	0.048	−0.011	−0.407	0.684	1.103
Q3C 近所の大人たちはあなたにやさしい	−0.062	0.097	−0.021	−0.640	0.522	1.579
Q27B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	−0.097	0.077	−0.040	−1.265	0.206	1.430
Q16C 学ぶことが楽しい	−0.116	0.071	−0.051	−1.637	0.102	1.345
Q21 学校等が好きか	−0.202	0.082	−0.088	−2.464	0.014 *	1.812
Q3A 子供が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある	−0.281	0.096	−0.091	−2.933	0.003 **	1.344
Q30D 保護者は私の話を聞いてくれる	−0.517	0.140	−0.126	−3.694	0.000 ***	1.626
Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.401	0.102	−0.150	−3.931	0.000 ***	2.037
Q30B 家では安心して過ごしている	−0.686	0.143	−0.153	−4.796	0.000 ***	1.434

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

【中2】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.426、F 値は***(p<0.001)であり、子供の幸福度を当該の 16 項目で 42.6%説明できていると言える。

図表 3-57 重回帰分析の結果(中2)

n=764

R	R2乗	調整済み R2乗
0.662	0.438	0.426

	偏回数係数		標準	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差	偏回帰係数			
定数	4.872	0.713		6.832	0.000	
Q32B 家族との関係は良好である	0.270	0.047	0.234	5.776	0.000 ***	2.177
Q32C 学校の先生等との関係は良好である	0.160	0.038	0.158	4.250	0.000 ***	1.835
Q26H 自分には、夢や目標がある	0.098	0.024	0.125	4.076	0.000 ***	1.253
Q15C 社会課題について関心がある	0.148	0.075	0.058	1.968	0.049	1.172
Q33 居場所の数	0.065	0.035	0.056	1.867	0.062 *	1.178
Q39 困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いるか	0.080	0.053	0.047	1.531	0.126	1.235
Q27A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	0.114	0.124	0.029	0.916	0.360	1.372
Q7 30分以上遊んだり体を動かしたりする日	0.026	0.052	0.015	0.497	0.619	1.151
Q30D 保護者は私の話を聞いてくれる	−0.006	0.146	−0.002	−0.039	0.969	2.005
Q30C 私の人生について、保護者と一緒に考えて決めている	−0.034	0.104	−0.012	−0.330	0.741	1.647
Q16C 学ぶことが楽しい	−0.050	0.079	−0.021	−0.638	0.524	1.419
Q3A 子供が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある	−0.108	0.087	−0.037	−1.233	0.218	1.212
Q27B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	−0.100	0.085	−0.039	−1.175	0.240	1.443
Q21 学校等が好きか	−0.272	0.100	−0.110	−2.707	0.007 **	2.201
Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.343	0.119	−0.117	−2.878	0.004 **	2.188
Q30B 家では安心して過ごしている	−0.530	0.157	−0.128	−3.385	0.001 ***	1.909

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

【17歳】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.529、F 値は***(p<0.001)であり、子供の幸福度を当該の 16 項目で 52.9%説明できていると言える。

図表 3-58 重回帰分析の結果(17 歳)

n=847

R	R2乗	調整済み R2乗
0.733	0.538	0.529

	偏回数係数		標準	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差	偏回帰係数			
定数	4.372	0.585		7.474	0.000	
Q32C 学校の先生等との関係は良好である	0.201	0.033	0.212	6.008	0.000 ***	2.241
Q32B 家族との関係は良好である	0.222	0.039	0.206	5.731	0.000 ***	2.316
Q26H 自分には、夢や目標がある	0.136	0.022	0.172	6.099	0.000 ***	1.425
Q15C 社会課題について関心がある	0.130	0.067	0.050	1.935	0.053	1.175
Q3B あなたが困っていたら近所の人が助けてくれる	0.113	0.068	0.043	1.665	0.096	1.205
Q39 困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いるか	0.073	0.046	0.043	1.578	0.115	1.317
Q34E 日常生活の中に興味があることがたくさんあった	0.064	0.053	0.040	1.220	0.223	1.958
Q33 居場所の数	0.019	0.035	0.014	0.546	0.586	1.174
Q16C 学ぶことが楽しい	0.027	0.071	0.011	0.382	0.703	1.388
Q7 30分以上遊んだり体を動かしたりする日	0.016	0.041	0.010	0.392	0.695	1.141
Q27A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	0.014	0.100	0.004	0.142	0.887	1.319
Q30B 家では安心して過ごしている	−0.050	0.114	−0.013	−0.437	0.662	1.626
Q27B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	−0.055	0.072	−0.021	−0.754	0.451	1.416
Q25A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.125	0.105	−0.043	−1.194	0.233	2.353
Q21 学校等が好きか	−0.394	0.092	−0.152	−4.267	0.000 ***	2.285
Q34A 明るく、楽しい気分で過ごした	−0.478	0.069	−0.247	−6.901	0.000 ***	2.307

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す